

# HP Network Node Manager iソフトウェア

Windows®およびLinuxオペレーティングシステム向け

ソフトウェアバージョン: 10.00

オンラインヘルプ: コンソールの使用

ドキュメントリリース日: 2014年5月

ソフトウェアリリース日: 2014年5月



## ご注意

### 保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

### 権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

#### Oracle Technology製プログラムに関する権利の制限

米国の国防省連邦調達規則 (DoD FAR) 補則に従い提供されるプログラムは「商用コンピューターソフトウェア」であり、該当するプログラムならびに付属ドキュメントの使用、複製、および開示には、関連するOracleライセンス契約にて規定されているライセンスの制約が適用されます。FARに従い提供されるその他のプログラムは「制限付きコンピューターソフトウェア」であり、該当するプログラムならびに付属ドキュメントの使用、複製、および開示には、FAR 52.227-19「商用コンピューターソフトウェアの制限付き権利」(1987年6月)にて規定されている制約が適用されます。Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

Oracleライセンス契約は、NNMi製品 DVDのlicense-agreementsディレクトリに全文が収録されています。

### 著作権について

© Copyright 2008–2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標について

Adobe®は、Adobe Systems の商標です。

HP 9000コンピューター上のHP-UXリリース10.20以降、および、HP-UXリリース11.00以降 (32ビットおよび64ビット両方の環境) は、すべて、オーブングループのUNIX 95商標の製品です。

Intel®は、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®およびWindows®はMicrosoft Corporationの米国内での登録商標です。

OracleおよびJavaは、Oracleならびに同社の関連会社の登録商標です。

Red Hat® Enterprise Linux Certifiedは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。

UNIX®は、オーブングループの登録商標です。

### 承認

この製品にはApache Software Foundationによって開発されたソフトウェアが含まれています。  
(<http://www.apache.org>)

この製品には、Indiana University Extreme! Lab!によって開発されたソフトウェアが含まれています。  
(<http://www.extreme.indiana.edu>)

### ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passport のログインページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

### サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。 <http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

[http://support.openview.hp.com/access\\_level.jsp](http://support.openview.hp.com/access_level.jsp)

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

## このPDF版オンラインヘルプについて

本ドキュメントはPDF版のオンラインヘルプです。このPDFは、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷したり、オンラインヘルプをPDF形式で閲覧できるようにするために提供されています。このコンテンツは本来、オンラインヘルプとしてWebブラウザで閲覧することを想定して作成されているため、トピックによっては正しいフォーマットで表示されない場合があります。また、インタラクティブトピックの一部はこのPDF版では提供されません。これらのトピックは、オンラインヘルプから正しく印刷することができます。

# 目次

目次 .....	4
第1章: NNMiコンソールについて .....	1
NNMi要求に対するMozilla Firefoxの応答方法を設定する .....	5
Mozilla Firefoxのタイムアウト間隔を設定する .....	6
NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定する .....	6
Microsoft Internet Explorerタイトルバーを設定する .....	7
第2章: Smart Plug-in (iSPI) について .....	8
第3章: コンソールのナビゲーション .....	11
ビューを表示する .....	11
オブジェクト情報にアクセスする(フォームおよび[分析] ペイン) .....	12
アクションを起動する .....	13
[ツール] メニューを使用する .....	15
ヘルプにアクセスする .....	16
ヘルプトピックを検索する .....	19
お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける .....	20
第4章: ワークスペースについて .....	21
第5章: NNMiで使用できるビュー .....	27
[ダッシュボード] ワークスペースで利用可能なビュー .....	28
[インシデントの管理] のビュー .....	34
[トポロジマップ] のビュー .....	36
[ネットワークデバイスのモニタリング] のビュー .....	42
[トラブルシューティング] のビュー .....	44
インベントリリストに含むビュー .....	46
[管理モード] のビュー .....	48
[インシデントの参照] のビュー .....	50
[パフォーマンス分析] のビュー .....	53
[Acme IPテレフォニー] のビュー .....	53
[Cisco IPテレフォニー] のビュー .....	54
[Nortel IPテレフォニー] のビュー .....	55

[Avaya IPテレフォニー] のビュー .....	56
[Microsoft IPテレフォニー] のビュー .....	57
[MPLS] のビュー .....	58
[IPマルチキャスト] のビュー .....	60
[品質保証] のビュー .....	60
[トラフィック分析] のビュー .....	62
<b>第6章: ビューを使用してデータを表示する</b> .....	<b>64</b>
複数オブジェクトを選択する .....	65
ビューをリフレッシュする .....	66
ダッシュボードビューを使用する .....	67
[ダッシュボード] ワークスペースからダッシュボードビューを起動する .....	67
オブジェクトに基づくダッシュボードビュー .....	67
オブジェクトベースのダッシュボードビューを起動する .....	68
ダッシュボードビューをカスタマイズする .....	68
グラフをカスタマイズする .....	69
ダッシュボードパネルを最小化または復元する .....	71
テーブルビューを使用する .....	72
列のサイズを変更する .....	73
列を非表示にする .....	73
非表示の列を表示する .....	74
テーブルのすべての行を選択する .....	74
列データをソートする .....	75
ビューの定期的なリフレッシュを停止する .....	76
テーブルビューをフィルタリングする .....	77
ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルタリングする .....	79
ノードグループおよびインタフェースグループについて .....	81
期間でフィルタリングする (インシデントビューのみ) .....	82
属性値でフィルタリングする .....	82
フィルター値を選択する .....	83
値を指定するためのフィルターを作成する .....	84
NULL値のフィルターを使用する .....	88

テーブルビューフィルターを変更する .....	89
フィルターを削除する .....	92
デフォルトフィルターの復元 .....	93
現在のフィルター設定を表示する .....	93
テーブルデフォルトを復元する .....	94
テーブル情報をエクスポートする .....	95
ビュー設定を制限する .....	97
マップビューを使用する .....	98
マップについて .....	99
ステータス色について .....	99
オブジェクトのステータス色 .....	100
アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 (NNMi Advanced) .....	101
ネットワーク接続のステータスの色 .....	103
マップシンボルについて .....	106
ノードグループマップオブジェクト .....	112
レイヤー2マップオブジェクト .....	113
レイヤー3マップオブジェクト .....	116
パスビューマップオブジェクト .....	117
マップを操作する .....	118
マップレイアウトを変更する .....	119
マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える .....	121
ズームの倍率を調整する .....	121
マップをパン表示する .....	123
[概要] ペインの位置を設定する .....	124
マップ内でノードを検索する .....	124
マップのノードステータスをリフレッシュする .....	125
マップのツールのヒント情報を制御する .....	126
NNMiが提供するマップにアクセスする .....	126
第7章: [分析] ペインについて .....	129
第8章: ビューツールバーの使用 .....	132
第9章: フォームツールバーの使用 .....	143

第 10 章: オブジェクトの使用 .....	145
関連オブジェクトに関する利用可能な情報のサブセットにアクセスする .....	146
関連オブジェクトに関するすべての情報にアクセスする .....	147
オブジェクト属性値の変更 .....	147
第 11 章: アクションを使用したタスクの実行 .....	150
NNM iSPI Performance for Metrics のアクション .....	154
第 12 章: NNMi に関する情報の表示 .....	155
システム情報: [製品] タブ .....	155
システム情報: [ヘルス] タブ .....	157
システム情報: [サーバー] タブ .....	158
システム情報: [グローバルネットワーク管理] タブ .....	159
システム情報: [データベース] タブ .....	160
システム情報: [ステートポラー] タブ .....	161
システム情報: [カスタムポラー] タブ .....	162
システム情報: [コアエンジン] タブ .....	162
システム情報: [拡張] タブ .....	163
システム情報: [統合] タブ .....	164
システム情報: [デバイス] タブ .....	165
システム情報: [コンポーネントバージョン] タブ .....	165
第 13 章: NNMi のバージョンおよびライセンス情報の表示 .....	167
用語集 .....	169
お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。 .....	174

# 第1章: NNMiコンソールについて

HP Network Node Manager (NNMi) コンソールは、NNMiアプリケーション用のグラフィカルユーザーインターフェイスです。コンソールの主要な機能を示したのが以下の図、および表です。

1 HP Network Node Manager i

2 Network Node Manager User Name: system NNMi Role: Administrator Sign Out

3 Dashboards Incident Management Topology Maps Monitoring Troubleshooting Inventory Management Mode Incident Browsing Performance Analysis Acme IP Telephony Cisco IP Telephony Nortel IP Telephony Avaya IP Telephony Microsoft IP Telephony MPLS IP Multicast Quality Assurance Traffic Analysis Integration Module Configuration Configuration

4 Nodes

5 NNMi's self monitoring has detected a problem (Minor). Please see Help → System Information → Health for details.

Status	Device Name	Hostname	Management Address	Tenant
✓	mimsp-sw985dc	mimsp-sw985dc2.superp	10.97.152.199	Default T
✓	mimsp-sw985dc	mimsp-sw985dc1.superp	10.97.152.198	Default T
✓	sp-ch-dcbladesv	sp-ch-dcbladesvr.superp	10.97.152.44	Default T
✓	mimcisco4k1-fr	mimcisco4k1-fr.superpolle	10.97.152.140	Default T
✓	mimsp-supv-clos	mimsp-supv-closetdist-1.s	10.97.152.202	Default T

Updated: 4/3/14 06:26:19 PM Total: 49 Selected: 1 Filter: OFF Auto refresh: 3 min

Analysis

Node Summary : mimsp-sw985dc1

Hostname mimsp-sw985dc1

System Name mimsp-sw

Status ✓ Not

Management Address 10.97.152.1

Tenant Default Ten

Security Group Default Sec

Incidents 0

Node Sensor Gauges (14)

CPU 98 % Utilization

CPU 11 % Utilization

Processor 929256 Bytes

I/O 451794 Bytes

Small Buffers 0.0 Misses/Sec

Medium Buffer 0.0 Misses/Sec

Big Buffers 0.0 Misses/Sec

Large Buffers 0.0 Misses/Sec

Huge Buffers 0.0 Misses/Sec

Small Buffers 40 Buffers

Medium Buffer 13 Buffers

Big Buffers 7.0 Buffers

NNMiコンソールを使用する際には、以下のことに注意してください。

- ブラウザーにMicrosoft Internet Explorerを使用している場合は、各ブラウザーセッションに異なるユーザー名を使用すれば、NNMiサーバー上で複数のNNMiセッションにサインインできます。
- ブラウザーにMozilla Firefoxを使用している場合は、各NNMiサーバー（たとえば、グローバルNNMiサーバーと各リージョナルNNMiサーバー）上で単一のNNMiセッションのみにサインインできます。
- NNMiコンソールのURLをブックマークできます。



- デフォルトで、NNMiでは、追加ライセンスの必要なメニュー、ビュー、およびワークスペースが表示されます。NNMiサーバーに必要なライセンスがない場合には、メニュー項目名またはビュータイトルの末尾に未ライセンスまたは評価 (インスタントオンまたは一時的ライセンスタイプの場合) という単語が追加されます。

**注:** NNMi管理者は、未ライセンスや評価の機能を非表示にするようにユーザーインターフェースを設定できます。

#### Network Node Managerコンソールの機能

機能	説明
1 タイトルバー	実行中のアプリケーションを識別するのに使用されます。右上の隅には、コンソールウィンドウを閉じたりサイズ変更したりするための標準ブラウザボタンがあります。
2 メインメニューバー	<p>メニュー構造からのコンソール内で利用できるコマンドを次に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">ファイル</a></li> <li>• <a href="#">ビュー</a> (「<a href="#">ビューをリフレッシュする</a>」(66ページ) および「<a href="#">テーブルデフォルトを復元する</a>」(94ページ)を参照)</li> <li>• <a href="#">ツール</a> (「<a href="#">[ツール] メニューを使用する</a>」(15ページ)を参照)</li> <li>• <a href="#">アクション</a> (「<a href="#">アクションを起動する</a>」(13ページ) および「<a href="#">アクションを使用したタスクの実行</a>」(150ページ)を参照)</li> <li>• <a href="#">ヘルプ</a> (「<a href="#">ヘルプにアクセスする</a>」(16ページ) および「<a href="#">ヘルプトピックを検索する</a>」(19ページ)を参照)</li> </ul> <p><b>ヒント:</b> NNMi メニューを展開するには、マウスでクリックするか、[Ctrl] - [Shift] と括弧内の文字のキーを押します。NNMiは [Ctrl] - [Shift] ([Alt] ではなく) のキー操作を使用して、ブラウザのメインメニューの動作を防止します。たとえば、NNMiでは<a href="#">[ヘルプ(H)]</a> &gt; <a href="#">[NNMiドキュメントライブラリ(N)]</a>と移動する場合に、[Ctrl] - [Shift] + [H] キーを押して [N] キーを押すという操作が可能です。NNMiメニューが思ったとおりに展開しない場合は、[Ctrl] - [Shift] + [&lt;ASCII 文字&gt;] の組み合わせのキーボード操作について、ご使用のブラウザの設定がNNMiの設定より優先されています。</p>
3 ワークスペースのナビゲーションパネル	ワークスペースおよびビューの間をナビゲートできるようにします。詳細については、 <a href="#">「ビューを表示する」</a> (11ページ) および「 <a href="#">ワークスペースについて</a> 」(21ページ)を参照してください。
4 ワークスペース	現在の関心の対象および仕事の範囲を表すコンテキストです。ワークスペースは、関連する目的またはタスクフローをグループ化する方法を提供します。ワークスペースごとに複数のビューが使用可能です。詳細については、 <a href="#">「NNMiで使用できるビュー」</a> (27ページ)を参照してください。

Network Node Managerコンソールの機能 (続き)


機能	説明
	<p>注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。</li> <li>• 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。</li> <li>• NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。</li> </ul>
5 コンソールメッセージバー	NNMi自体で発生している問題に対する警告です。
6 ユーザー、ロール、およびサインアウトボタン	現在のユーザー名とロール割り当てです。ロール割り当てによって、NNMiコンソール内に表示される項目と、コンソール内で実行できる操作が決まります。
7 階層リンクの軌跡	ワークスペースのナビゲーションパネルで選択したビューのタイトルと階層リンクの軌跡です。各ビューからオブジェクトグループへアクセスできます。オブジェクトをダブルクリックしてそのオブジェクトのフォームを表示することで、各オブジェクトの詳細が利用できます。「ビューを使用してデータを表示する」(64ページ)、「オブジェクト情報にアクセスする(フォームおよび[分析] ペイン)」(12ページ)、および「オブジェクトの使用」(145ページ)を参照してください。階層リンクの軌跡はビュータイトルバーに表示されるため、アクセスしたビューやフォームへと簡単に移動できます。
8 ビューツールバー	<p>現在のビューまたはフォームで利用可能なツールです。これらのツールを使用すると、以前に適用したデータフィルターの削除、非表示にした列の復元、およびビュー内でオブジェクトの操作を行うことができます。詳細については、「ビューツールバーの使用」(132ページ)を参照してください。</p> <p>ドロップダウンのセレクターを使用すると、表示されたデータに適用される、工場で設定されたフィルターの値を変更できます。詳細については、「テーブルビューをフィルタリングする」(77ページ)を参照してください。</p>
9 コンテンツペイン	現在選択されているビューまたはフォームが表示されます。
10 ステータスバー	<p>テーブルビューでは、ステータスバーに以下の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 合計。このテーブルの基準に一致するデータベース内の現在のオブジェクト数 (各</li> </ul>

### Network Node Managerコンソールの機能 (続き)

機能	説明
	<p>行に1つのオブジェクトに関するデータが表示されます)。</p> <p><b>注:</b> 制限値を表示することもできます。これは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)ソフトウェアが現在のビューに制限値を設定していることを示します。この数値は、現在のテーブルの基準に一致するオブジェクト数が許可された行数を超える場合に表示されます。NNM iSPIソフトウェアの詳細については、「管理者用のヘルプ」を参照してください。</p> <p><b>ヒント:</b> 表示するオブジェクトの数を減らし、関心のあるオブジェクトのみを表示するには、フィルターを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 選択済み: テーブル内で選択されている行の数を示します。</li><li>• フィルター: 現在表示されているデータが利用可能なオブジェクトのフィルタリングされたサブセットであることを示します。詳細については、「<a href="#">テーブルビューをフィルタリングする</a>」(77ページ)を参照してください。</li><li>• 自動リフレッシュ: 現在のリフレッシュ間隔を示します。詳細については、「<a href="#">ビューをリフレッシュする</a>」(66ページ)を参照してください。</li></ul> <p>マップビューでは、ステータスバーに以下の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• マップに表示できるノードの数</li><li>• 自動ステータス更新: 更新ステータスオプションの自動更新レートです。詳細については、「<a href="#">マップのノードステータスをリフレッシュする</a>」(125ページ)を参照してください。マップデータのその他の状態をリフレッシュする(ノードの配置、追加されたノード、および削除されたノードを変更するには、「<a href="#">ビューをリフレッシュする</a>」(66ページ)を参照してください。</li></ul> <p><b>注:</b> 検出の初期進行状態マップは、ステータスとトポロジの両方を更新する、自動完全最新表示のリフレッシュレートを示します。</p> <p>テーブルビューとマップビューの両方で、ステータスバーにはビューが最後に更新された時刻を示す最終更新時刻が表示されます。</p>
11 [分析] ペイン	<p>コンテンツペインで選択したオブジェクトの詳細情報が表示されます。詳細情報の例には、インシデントのソースノードおよびソースオブジェクトに関する詳細や、ノードのインターフェースおよびIPアドレスに関する情報などがあります。</p> <p><b>注:</b> このペインは、オブジェクトを選択するまで空白のままになります。</p>

## NNMi要求に対するMozilla Firefoxの応答方法を設定する

デフォルトでは、NNMiはオンラインヘルプを新しいブラウザウィンドウで開きます。

メインコンソールウィンドウでをクリックすると、現在のビューまたはフォームの複製が新しいブラウザウィンドウで開きます。

生成されるウィンドウ数を抑制するため、NNMiが現在のFirefoxウィンドウの新しいタブで要求に応答するようにMozilla Firefoxを設定できます。

**NNMiリンクに対するMozilla Firefoxの応答方法を設定するには、以下の手順を実行します。**

1. Mozilla Firefoxブラウザウィンドウを開きます。
2. URLフィールドにabout:configと入力し、[ENTER]を押します。
3. 表示されているフォームの上部にある[フィルター]フィールドでnewwindowと入力します。関連する属性のリストが表示されます。
4. **browser.link.open\_newwindow**をダブルクリックします。
5. [整数値を入力してください]ダイアログボックスで、以下のいずれかの選択を入力します。
  - 1 =現在のFirefoxウィンドウ/タブを置き換えます。
  - 2 =新しいFirefoxウィンドウを開きます。
  - 3 =現在のFirefoxウィンドウ内で新しいタブを開きます。
6. [OK]をクリックして、変更内容を保存してダイアログボックスを閉じます。
7. **browser.link.open\_newwindow.restriction**をダブルクリックします。
8. [整数値を入力してください]ダイアログボックスで、以下のいずれかの選択を入力します。
  - 0 = **browser.link.open\_newwindow**の設定を使用します。
  - 1 = **browser.link.open\_newwindow**の設定を無視します。
  - 2 = URLに他のウィンドウの指示がない限り、**browser.link.open\_newwindow**の設定を使用します。
9. [OK]をクリックして、変更内容を保存してダイアログボックスを閉じます。

### 関連トピック

[「NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定する」\(6ページ\)](#)


## Mozilla Firefoxのタイムアウト間隔を設定する

Mozilla Firefoxブラウザを使用しており、タイムアウトの問題 (たとえば、マップが表示される前に[続行]をクリックするように求められる) が起きる場合は、次のようにMozilla Firefoxのタイムアウト値をリセットします。

1. Mozilla Firefoxのアドレスバーに、about:configと入力します。
2. スクロールダウンリストから、**dom.max\_script\_run\_time**エントリを選択します。
3. 表示された値を増やします。たとえば、0 (ゼロ) を入力すると、タイムアウトの値が無限に設定されます。

## NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定する

デフォルトでは、NNMiはオンラインヘルプを新しいブラウザウィンドウで開きます。

メインコンソールウィンドウでをクリックすると、現在のフォームまたはビューの複製が新しいブラウザウィンドウで開きます。

生成されるウィンドウ数を抑制するため、NNMiが現在のExplorerウィンドウの新しいタブで要求にตอบสนองするようにMicrosoft Internet Explorerを設定できます。

**NNMi要求に対するMicrosoft Internet Explorerの応答方法を設定するには、以下の手順を実行します。**

1. Microsoft Internet Explorerブラウザから、[ツール] > [インターネット オプション] を選択します。
2. [全般] タブを選択します。
3. [タブ] セクションで、[設定] をクリックします。
4. [タブ ブラウズの設定] ダイアログで、[ポップアップの発生時] という名前のラジオボックスのグループに移動します。
5. 以下から選択を行います。
  - ポップアップを開く方法を Internet Explorer で自動的に判定する
  - 常に新しいウィンドウでポップアップを開く
  - 常に新しいタブでポップアップを開く
6. [OK] をクリックして、設定を保存してダイアログボックスを閉じます。
7. [OK] をクリックして、[インターネット オプション] ダイアログボックスを閉じて、ブラウザウィンドウに戻ります。

## 関連トピック

[「NNMi要求に対するMozilla Firefoxの応答方法を設定する」\(5ページ\)](#)

# Microsoft Internet Explorerタイトルバーを設定する

Internet Explorerを使用するときは、ブラウザーの設定により、NNMiビューやフォームの名前がタイトルバーに表示されるかどうかが決まります。

ビューやフォームのタイトルを表示するようにMicrosoft Internet Explorerを設定するには、次を行います。

1. Internet Explorerブラウザーを開き、[ツール]メニューをクリックします。
2. [インターネット オプション]を選択します。
3. [セキュリティ]タブから[信頼済みサイト]、[レベルのカスタマイズ]に移動し、[その他]セクションを見つけます。
4. [Web サイトがアドレス バーやステータス バーのないウィンドウを開くのを許可する]属性を無効にします。

## 第2章: Smart Plug-in (iSPI) について

HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs) for Performance and Advanced Network Servicesでは、NNMiのデバイスとプロトコルのサポートが拡張され、幅広いネットワークのデバイス、サービス、および設備のモニタリングと管理が可能です。これらのSmart Plug-inは技術を固有に認識するため、より幅広く詳細な情報を提供することにより、すばやく障害を特定し、ネットワーク運用チームの効率を高めます。

- 適応的ベースラインおよび動的しきい値により、正常使用パターンの識別、実装作業の加速、コスト削減機会の識別、すばやいパフォーマンス異常の検出が可能です。
- MPLS環境、IPマルチキャスト環境、およびIPテレフォニー環境の完全に統合された検出、モニタリング、およびレポートは詳細なコンテキストを提供し、そのコンテキストの中でこれらのサービスを管理できます。
- 品質保証プローブは代理トランザクションを提供し、ネットワークファブリック全体のレイテンシと可変性を測定およびレポートします。
- トラフィックフローの収集と統合により、ネットワークファブリック全体のアプリケーショントラフィックパターンを識別できます。

これらのSmart Plug-inはテクノロジーを固有に認識するため、問題をすばやく識別して平均修復時間 (MTTR) を短縮します。以下の各iSPIをインストールおよび設定できます。

- **HP Network Node Manager iSPI for IP Multicast Software:**  
NNM iSPI for IP Multicastを使用すると、以下を行うことができます。
  - あらゆるマルチキャスト環境をリアルタイムで検出および分析する。
  - ベースラインスナップショットを実行し、それらをアクティブフローと比較する。
  - 「[\[IPマルチキャスト\] のビュー](#)」(60ページ) および「[\[トラブルシューティング\] のビュー](#)」(44ページ) を活用して、近隣接続ビュー、転送パス、逆方向パスなどの要素を表示する。

詳細については、NNMiヘルプで「IPマルチキャスト」を検索してください。

- **HP Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software:**  
NNM iSPI for IP Telephonyを使用すると、以下を行うことができます。
  - 複数ベンダー環境 (Acme、Avaya、Cisco、Microsoft Lync、およびNortel) でVoice Over IP (VoIP) の障害と可用性を管理する。
  - ネットワークパフォーマンスのVoIP環境への影響を分析する。
  - このiSPIが提供するさまざまなツールを使用してトラブルシューティングを行う。

詳細については、NNMiヘルプで「IPテレフォニー」を検索してください。

- [HP Network Node Manager iSPI for MPLS Software:](#)

NNM iSPI for MPLSは、サービスプロバイダのチームが確実に顧客義務を果たすのに役立ちます。

- ネットワークアクセスを提供するプロバイダ機器 (PE) およびカスタマーエッジ (CE) のマルチプロトコルラベルスイッチング (MPLS) デバイスをアクティブにモニタリングする。[「\[MPLS\] のビュー」\(58ページ\)](#)
- インタフェース可用性の影響およびサイトの影響をモニタリングする。詳細については、[「\[MPLS\] のビュー」\(58ページ\)](#)を参照してください。
- コアMPLS仮想プライベートネットワーク (VPN) の可用性を分析する。
- 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) の近隣接続 (リモートプロバイダ機器 (PEルーター) も含む) の検出を自動化する。
- ラベルスイッチパス (LSP) のパフォーマンスレポートおよびトラフィックエンジニアリングトンネルの問題の根本原因分析 (RCA for TE Tunnel) を生成する。

詳細については、NNMiヘルプで「iSPI for MPLS」を検索してください。

- [HP Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset Software:](#)

NNM iSPI NETは、自動化された診断フローおよびネットワークの難問のトラブルシューティングのためのツールを提供します。NNM iSPI NETを使用すると、オペレーターはネットワークの問題を診断したりトラップストームを分析する時間と作業を大幅に削減できます。結果は、[\[ノード\] フォーム: \[診断\] タブ](#)および[\[インシデント\] フォーム: \[診断\] タブ](#)で提供されます。

詳細については、NNMiヘルプで「iSPI NET」を検索してください。

- [HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software:](#)

NNM iSPI Performance for Metricsは、ノードセンサーおよび物理センサーのしきい値を使用して収集された幅広い種類のネットワークパフォーマンスメトリックスの収集、アラーム、レポートのための完全な環境を提供します。レポートには、複数ベンダーの機器の傾向と運用分析統計情報が含まれています。

詳細については、NNMiヘルプで「Performance for Metrics」を検索してください。

- [HP Network Node Manager iSPI Performance for Quality Assurance Software:](#)

NNM iSPI Performance for Quality Assuranceを使用すると、以下を行うことができます。

- ネットワーク内のサービスレベルの品質をモニタリングする。詳細については、[「\[品質保証\] のビュー」\(60ページ\)](#)を参照してください。
- 事前設定されたサービスレベルアグリーメント (SLA) プローブを検出し、プローブのパフォーマンスメトリックスを収集する。
- 自動生成されたNNMiインシデントを通じてSLAの例外および違反を特定する。



詳細については、NNMiヘルプで「Quality Assurance」を検索してください。

- **HP Network Node Manager iSPI Performance for Traffic Software:**

NNM iSPI Performance for Trafficは、ミッションクリティカルなアプリケーションが十分な帯域幅を使用できるかどうかを検証する包括的なレポートソリューションです。詳細については、「[\[トラフィック分析\]のビュー](#)」(62ページ)を参照してください。NNM iSPI Performance for Trafficは次の処理を行います。

- すべての共通診断フロータイプをサポートする。
- 集中分析を実行する。
- 幅広いレポートを提供する。

詳細については、NNMiヘルプで「Performance for Traffic」を検索してください。

**詳細情報:**

## 第3章: コンソールのナビゲーション

コンソールのメインウィンドウは、ナビゲーションの開始地点となります。

ビューは、テーブルまたはマップで表現される関連オブジェクトの集まりです。フォームは、選択したオブジェクトに関する既知の詳細すべてを提供します。

メインウィンドウからは、次のタスクを実行できます。

- [「ビューを表示する」\(11ページ\)](#)
- [「オブジェクト情報にアクセスする\(フォームおよび\[分析\]ペイン\)」\(12ページ\)](#)
- [「アクションを起動する」\(13ページ\)](#)
- [「\[ツール\]メニューを使用する」\(15ページ\)](#)
- [「ヘルプにアクセスする」\(16ページ\)](#)
- [「ヘルプトピックを検索する」\(19ページ\)](#)
- [「お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける」\(20ページ\)](#)

### ビューを表示する

ビューには、ネットワーク内のオブジェクトに関する情報が含まれます。ビューは、テーブル(オブジェクトのリスト)またはアイコンが備わったマップです。たとえば、インシデントの管理を支援するため、NNMiには、[重要な未解決インシデント]と[自分の未解決インシデント]のテーブルビューが用意されています。


ビューを表示するには、次の操作を行います。

1. ワークスペースのナビゲーションパネルでワークスペース名をクリックし、ビューのグループを表示します。NNMiで提供されるワークスペースを以下に示します。



2. 必要なビューを選択します。「[ビューを使用してデータを表示する](#)」(64ページ)を参照してください。

ワークスペースのナビゲーションパネルで別のビューを選択すると、選択したビューによって現在のビューが置換されます。

ビューのツールバーで  [新しいウィンドウでビューを表示] アイコンをクリックすると、そのビューを新しいウィンドウで開くことができます。詳細については、「[ビューツールバーの使用](#)」(132ページ)を参照してください。

ビューに複数の情報ページがある場合は、スクロールバーまたはページコントロールを使用してビューの各ページをナビゲートします。ページコントロールの使用の詳細については、「[ビューツールバーの使用](#)」(132ページ)を参照してください。

コンソールの [アクション] メニューからアクセスできるビューの詳細については、「[アクションを使用したタスクの実行](#)」(150ページ)を参照してください。


ヒント: テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション] メニューで使用可能な項目にアクセスできます。


## オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび [分析] ペイン)

どのオブジェクトの詳細にもアクセスできます。たとえば、現在のビューで、問題があると報告されたノードまたはインターフェースの詳細を知ることができます。ノードフォームまたはインターフェースフォームから、関連するインシデントにアクセスできます。

すべてのオブジェクト属性および関連オブジェクトにアクセスするには、フォームを表示します。

ヒント: フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク (\*) が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

- [ツール] > [ノードの検索] を使用してフォームを開くには  
詳細については、「[ツール] メニューを使用する」(15ページ)を参照してください。
- テーブルビューでフォームを開くには  
オブジェクトを表す行をダブルクリックします。  
  
オブジェクトの詳細を含むフォームが表示されます。詳細については、「オブジェクトの使用」(145ページ)を参照してください。
- マップビューでフォームを開くには  
以下のいずれかを行います。
  - マップオブジェクトを選択します。次に、ツールバーの  [開く] アイコンをクリックします。
  - マップオブジェクトをダブルクリックします。

**注:** マップオブジェクトが子ノードグループである場合、子ノードグループのオブジェクトをダブルクリックすると、現在のマップが子ノードグループの各ノードを含むマップで置換されます。子ノードグループフォームにアクセスするには、ツールバーの  [開く] アイコンを使用します。

- オブジェクトの詳細を含むフォームが表示されます。詳細については、「オブジェクトの使用」(145ページ)を参照してください。

[分析] ペインを使用してオブジェクトに関する詳細にアクセスする: 「[分析] ペインについて」(129ページ)

## アクションを起動する

使用できるアクションは、NNMiユーザーロールと選択したオブジェクトによって決まります。特定のオブジェクト向けに利用可能なアクションがない場合は、アクションメニューは空です。

アクションを実行するには、オブジェクトを選択してから [アクション] メニューのアクションを選択します。[アクション] メニューは、NNMiコンソールのメインメニューツールバー、および新規のウィンドウに開かれた任意のビューまたはフォームのメニューツールバーからアクセスできます。

**ヒント:** NNMi メニューを展開するには、マウスでクリックするか、[Ctrl] - [Shift] と括弧内の文字のキーを押します。NNMiは [Ctrl] - [Shift] ([Alt] ではなく) のキー操作を使用して、ブラウザのメインメニューの動作を防止します。たとえば、NNMiでは[ヘルプ(H)] > [NNMiドキュメントライブラリ(N)]と移動する場合に、[Ctrl] - [Shift] + [H] キーを押して [N] キーを押すという操作が可能です。NNMiメニューが思ったとおりに展開しない場合は、[Ctrl] - [Shift] + [<ASCII文字>] の組み合わせのキーボード操作について、ご使用のブラウザの設定がNNMiの設定より優先されています。

- **テーブルビューまたはマップビューからアクションを起動するには、以下の手順を実行します。**
  - a. ビューを表示させていない場合は、ワークスペースのナビゲーションパネルでビューを選択します。
  - b. 以下のいずれかを行います。
    - テーブルビューで、行を1回クリックします。
    - マップビューでは、目的のオブジェクトを1回クリックします。

**ヒント:** 複数選択する場合は、[Ctrl] キーを押しながらクリックします。

- c. メニューツールバーの **[アクション]** メニューを選択します。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、**[アクション]** メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

- d. 利用可能なアクションのリストから実行するアクションを選択します。
- **フォームからアクションを起動するには、以下の手順を実行します。**
    - a. フォームをオープンしていない場合は、ワークスペースのナビゲーションパネルでアクセスするテーブルビューを選択します。
    - b. テーブルビューから、更新するオブジェクトインスタンス (たとえば、ノード) が示されている行をダブルクリックします。
    - c. メニューツールバーから **[アクション]** を選択して、目的のアクションを選択します。たとえば、**[アクション] > [ライフサイクルの変更] > [進行中]** を選択して、選択したインシデントのライフサイクル状態を **[進行中]** に変更します。

アクションを起動するには、以下のことに注意してください。

- フォーム上で属性を変更するアクションを実行する場合は、そのアクションは即時に効果を及ぼします。📁 [保存] を選択する必要はありません。
- アクションの中には、新しいウィンドウを開くものがあります。
- 管理者は、**[アクション]** メニューでメニューの選択肢を追加できます。これらのアクション項目は、NNMiヘルプには記載されていません。

#### 関連トピック

[「アクションを使用したタスクの実行」\(150ページ\)](#)

## [ツール] メニューを使用する

いくつかのツールは、[ツール] メニューの下に用意されています。利用可能なツールは、ユーザーの割り当てられたロールに応じて変化します。以下の表にリストされているツールは、レベル2のオペレーターが利用可能です。

**ヒント:** NNMi メニューを展開するには、マウスでクリックするか、[Ctrl] - [Shift] と括弧内の文字のキーを押します。NNMiは [Ctrl] - [Shift] ([Alt] ではなく) のキー操作を使用して、ブラウザーのメインメニューの動作を防止します。たとえば、NNMiでは[ヘルプ(H)] > [NNMiドキュメントライブラリ(N)]と移動する場合に、[Ctrl] - [Shift] + [H] キーを押して [N] キーを押すという操作が可能です。NNMiメニューが思ったとおりに展開しない場合は、[Ctrl] - [Shift] + [<ASCII 文字>] の組み合わせのキーボード操作について、ご使用のブラウザーの設定がNNMiの設定より優先されています。

### NNMiツールメニューオプション

ツール	説明
ノードの検索...	ユーザーが指定した文字列 (大文字と小文字を区別する) でNNMiデータベースを検索します。NNMiは関連付けられたノードを検出します。検索にマッチするノードが複数あった場合、NNMiでは最初にマッチしたノードのフォームが表示されます。NNMiは、照合のために以下の属性をチェックします。 <ul style="list-style-type: none"><li>名前</li><li>ホスト名 (完全修飾)</li><li>IPアドレス</li><li>MIB-II sysName</li></ul>
接続されているスイッチポートの検索...	選択したノードの接続先のスイッチポートを識別します。
MIBブラウザ	ネットワーク環境内の特定のノードに対して発行された、NNMiのSNMP要求に対する応答を、インターネットMIB (管理情報ベース) 構造内のMIB OID (オブジェクト識別子) から順番に表示します。
NNMiステータス	NNMiの各プロセスおよびサービスの状態を表すリストを表示します。NNMiが適切に機能している場合は、各プロセスおよびサービスが実行中である必要があります。実行していないものがある場合は、NNMi管理者に連絡してください。
ステータス分布グラフ	ノード、インタフェース、IPアドレスのステータス分布情報を時間の経過と共に表示する積み上げ面グラフを設定することにより、ネットワーク全体のヘルスを表示します。
NNMiセルフ	NNMiコンポーネントおよびその使用に関する情報を表示します。

### NNMiツールメニューオプション (続き)

ツール	説明
モニタリングのグラフ	<ul style="list-style-type: none"><li>• SNMPトラップパイプラインレート</li><li>• SNMPトラップ転送レート</li><li>• 検出の進行状況</li><li>• SNMP要求</li></ul>
トラップ分析	<p>HP Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset Software (NNM iSPI NET) が必要です。 <a href="#">詳細については、ここをクリックしてください。</a></p> <p>NNMiは、受信SNMPトラップ率を測定します。NNMi管理者は、ネットワーク内のトラップ容量のしきい値を設定します。<a href="#">トラップ分析レポート</a>にアクセスするには、このメニューを使用します。</p>
Visioエクスポート	<p>HP Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset Software (NNM iSPI NET) が必要です。 <a href="#">詳細については、ここをクリックしてください。</a></p> <p>後で使用するために、NNMiに表示されているトポロジマップをVisioドキュメントにエクスポートします。</p>
サインイン済みユーザー	現在NNMiにサインインしているNNMiユーザーのリストを表示します。
インシデントアクションログ	最近のインシデントアクションのログ (特定のインシデントがNNMiで受信/生成されたときに発生するようにNNMi管理者が設定) を表示します。
セキュリティレポート	(NNMi管理者のみ) 可能なセキュリティ設定の問題のレポートを生成します。

## ヘルプにアクセスする

ゲストユーザーロールを持っている場合は、[ヘルプ] > [コンソールの使用] にあるトピックから開始します。各ビューに関する詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] からアクセスできます。フォームに関する詳細を参照する必要がある場合は、フォーム内の [ヘルプ] > [<名前>フォームの使用法] を使用してください。

オペレーターの場合、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] にタスク情報が提供されています。管理者の場合、[下の表](#)で説明しているすべてのリソースが利用可能です。

**ヒント:** NNMi メニューを展開するには、マウスでクリックするか、[Ctrl] - [Shift] と括弧内の文字の

キーを押します。NNMiは [Ctrl] - [Shift] ([Alt] ではなく) のキー操作を使用して、ブラウザーのメインメニューの動作を防止します。たとえば、NNMiでは[ヘルプ(H)] > [NNMiドキュメントライブラリ(N)]と移動する場合に、[Ctrl] - [Shift] + [H] キーを押して [N] キーを押すという操作が可能です。NNMiメニューが思ったとおりに展開しない場合は、[Ctrl] - [Shift] + [<ASCII 文字>] の組み合わせのキーボード操作について、ご使用のブラウザーの設定がNNMiの設定より優先されています。

ヘルプにアクセスするには、次の操作を行います。

1. NNMiコンソールのメインメニューから [ヘルプ] を選択します。

**注:** NNMiユーザーインターフェースでは、[F1] キーを押すことではコンテキストヘルプにアクセスしません。

















2. ヘルプから、以下の表で説明しているすべての情報にアクセスできます。

#### [ヘルプ] > [リンク]

ヘルプリンク	説明
<名前> フォームの使用法	現在のフォームのコンテキストヘルプです。
NNMi入門ツアー	一部のNNMiキーパリティを説明する効果的なツアーへのリンクです。
NNMiコンソールの使用	NNMiコンソールの使い方について説明します。コンソール内部での移動法、NNMiに備わっているフォームとビューのアクセス法および使い方などです。
オペレーター用のヘルプ	ネットワークのモニタリングとトラブルシューティングに役立つ、ビュー、フォーム、追加のNNMi機能の使い方について説明します。
管理者用のヘルプ	NNMiの仕組み、およびニーズに合うようにNNMiを設定する方法について説明します。NNMi向けのさまざまなオブジェクトと設定を調整できる、[設定] ワークスペースの使い方について説明します。
NNMi iSPI用のヘルプ	NNMiサーバーに現在インストールされているHP NNM iSPIソフトウェアに関する詳細にアクセスします。NNMi管理者は、ヘルプエントリが表示される前に、これらのプログラムをインストールしておく必要があります。



[ヘルプ] > [リンク] (続き)

ヘルプリンク	説明
	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>ヘルプ(H)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NNMiの使用</li> <li> NNMiコンソールの使用</li> <li> オペレーター用のヘルプ</li> <li> 管理者用のヘルプ</li> <li>NNM iSPIヘルプ ▶  IPテレフォニーオンラインヘルプ</li> <li>NNMiドキュメントライブラリ ▶  iSPI for MPLSヘルプ</li> <li>NNM iSPIドキュメントライブラリ ▶  iSPI for MPLSシステム情報</li> <li>HPソフトウェアサポートウェブサイト  iSPI for MPLSシステムヘルプ</li> <li> システム情報  iSPI for IP Multicastヘルプ</li> <li>新機能  iSPI for IP Multicastシステム情報</li> <li>HP Network Node Manager i Softwareについて  iSPI for IP Multicastシステムヘルプ</li> <li> iSPI performance for QAオペレーター用のヘルプ</li> <li> iSPI performance for QA管理者用のヘルプ</li> <li> iSPI performance for QAシステム情報</li> <li> QAアプリケーションヘルプ</li> <li> NNM iSPI performance for Traffic管理者用のヘルプ</li> </ul> </div>
NNMiドキュメントライブラリ	リファレンスページ (コマンドラインツールの情報) やリリースノートなどへのアクセスを提供します。
HPソフトウェアサポートWebサイト	HPソフトウェアサポートのWebサイトにアクセスします。
システム情報	NNMiに関するヘルス情報です。詳細については、「 <a href="#">NNMiに関する情報の表示</a> 」(155ページ)を参照してください。
新機能	最新のリリースで提供されるNNMi機能について説明します。
HP Network Node Manager i Softwareについて	現在のNNMiライセンス情報です (合計ライセンス容量の制限値と現在管理対象のノード数の対比)。詳細については、「 <a href="#">NNMiのバージョンおよびライセンス情報の表示</a> 」(167ページ)を参照してください。

関連トピック

[「ヘルプトピックを検索する」](#)(19ページ)

[「お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける」](#)(20ページ)

## ヘルプトピックを検索する

すべてのヘルプトピックの中から特定の情報を検索するには、次の操作を行います。

1. [ヘルプ] ウィンドウのナビゲーションペインで、[検索] タブをクリックします。
2. 検索文字列を入力します (表を参照)。
3. [検索] ボタンをクリックします。トピックの結果リストの順序は、ランキングの順序に基づいており、最も高いランキングのトピックがリストの最上位に表示されます。

### 検索用変数

説明	変数	例
1つ以上の単語を検索します。検索フィールドに複数の単語を入力した場合、OR演算子が仮定されます。		ノードインタフェース
フレーズを検索します。	" " (テキスト文字列を引用符で囲む)	"ナビゲーションペイン"
特定の文字列の「いずれか」を検索します。	OR (大文字と小文字の区別なし)  (パイプ記号)	ノード or インタフェース or アドレス "ノード名"  "インタフェースステータス"
2つ以上の特定の文字列を検索します。	AND (大文字と小文字の区別なし) + (プラス記号) & (アンパサンド)	ノード And インタフェース And アドレス "ノード名"+アドレス "ノード名"&"インタフェース"
指定した内容を含まないすべてのトピックを検索します。	NOT (大文字と小文字の区別なし) !(感嘆符)	not ノード !ノード
ある文字列を含み、別の文字列を含まないすべてのトピックを検索します。	^ (caret 記号)	ノード ^ インタフェース
上記の組み合わせです。	() 丸括弧	ノード and (名前 or ステータス) ノード or vlan (!アドレス)

**注:** 返される結果では、大文字と小文字が区別されません。ただし、結果ランキングでは大文字と小文字が区別され、大文字または小文字が一致したほうに、より高いスコアが割り当てられます。そのため、「templates」の検索とそれに続く「Templates」の検索は、同じ数のヘルプトピックを返しますが、トピックがリストされる順序は異なります。

## お気に入りのヘルプトピックにマークを付ける

ヘルプシステムの中の [お気に入り] タブを開き、よく使用するヘルプトピックのお気に入りを設定します。

この機能を使用する際には、以下のことに注意してください。

- この機能は、ご使用のWebブラウザのお気に入りのオプションとは関係ありません。
- Webブラウザのcookieを削除すると、ヘルプトピックのお気に入りリストは削除されます。

## 第4章：ワークスペースについて

ワークスペースとは、関心の対象および仕事の範囲を表すビューの集まりのことです。ワークスペースは、関連する目的またはタスクフローをグループ化します。

ワークスペース名をクリックすると、ワークスペースに関連するビューがワークスペースのナビゲーションパネルの中のワークスペースの下に表示されます。ビューを選択すると、ビュー表示パネルに要求したデータが表示されます。ワークスペースのナビゲーションパネルおよびビュー表示パネルの詳細については、「[NNMiコンソールについて](#)」(1ページ)および「[ビューを表示する](#)」(11ページ)を参照してください。




ワークスペース内のビューでは、表示されたオブジェクトタイプごとに関連する情報に簡単にアクセスできます。ビューに指定されたフィルターの基準に合う任意のタイプのオブジェクトをすべて表示します。

**注：**説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。












- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

NNMiには以下のワークスペースがあります。








### NNMiのワークスペース

ワークスペース名	説明:
 <b>ダッシュボード</b> 	 <b>[ダッシュボード]</b> ワークスペースを使用すると、ネットワークの情報を一目で理解できる形で確認できます。ダッシュボードビューを使用すると、ネットワークの管理に必要な情報を容易に比較し、素早く特定できます。詳細については、「 <a href="#">ダッシュボードビューを使用する</a> 」(67ページ)を参照してください。  <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f9f9f9;"><p>HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance Server (NPS) をインストールします。<a href="#">詳細については、ここをクリックしてください。</a></p></div>

NNMiのワークスペース (続き)

ワークスペース名	説明:
 <b>インシデントの管理</b>	<p> <b>[インシデントの管理]</b> ワークスペースを使用すると、ネットワークオペレーターにとって最も重要であり、より迅速なアクションが必要とされることが多々あるインシデント (ライフサイクル状態が  [登録済み]、 [進行中]、または  [完了] のインシデント) にアクセスします。</p> <p>詳細については、「<a href="#">[インシデントの管理] のビュー</a>」(34ページ) を参照してください。</p>
 <b>トポロジマップ</b>	<p> <b>[トポロジマップ]</b> ワークスペースには、複数のマップビューがあります。</p> <p>詳細については、「<a href="#">[トポロジマップ] のビュー</a>」(36ページ) を参照してください。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; background-color: #f9f9f9;"> <p><b>ヒント:</b> 以下に示す変更内容は、<b>[トポロジマップ]</b> ワークスペースフォルダーで自動的に表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1つ以上のノードグループの追加</li> <li>• 1つ以上のノードグループの削除</li> <li>• ノードグループ階層の変更</li> </ul> <p>これらの変更内容を表示するには、ワークスペースの右上隅にある <b>[リフレッシュ]</b>  をクリックします。<b>[リフレッシュ]</b>  をクリックすると、ノードグループマップフォルダーが折りたたまれます。目的の各フォルダーを展開すると、更新されたノードグループマップリストが表示されます。</p> </div>
 <b>モニタリング</b>	<p> <b>[モニタリング]</b> ワークスペースには、ステータスが危険域、あるいは正常域以外のノードセンサー、物理センサー、シャーシ、カード、インタフェース、ノード、SNMPエージェント、IPアドレス、カード冗長グループ、ルーター冗長グループ、およびノードグループをチェックするためのビューが含まれます。このワークスペースには、カスタムポーリング収集の稼働状態、およびカスタムポーリングインスタンスをチェックするためのビューも用意されています。</p> <p>詳細については、「<a href="#">[ネットワークデバイスのモニタリング] のビュー</a>」(42ページ) を参照してください。</p>

NNMiのワークスペース (続き)

ワークスペース名	説明:
 <b>トラブルシューティング</b>	<p> <b>[トラブルシューティング]</b> ワークスペース内では、さまざまなマップビューにアクセスできます。</p> <p>[レイヤー2の近隣接続ビュー] マップには、レイヤー2ネットワーク接続が表示されます。[レイヤー3の近隣接続ビュー] マップには、レイヤー3ネットワーク接続が表示されます。[パスビュー] マップは、ソースノードと destinations ノード間のパス内のアクティブなIPv4アドレスを表示します。[パスビュー] マップは、データフロー問題のトラブルシューティングに役立ちます。[ノードグループマップ] ビューは、指定したグループ内のすべてのノードを表示します。</p> <p>詳細については、「<a href="#">[トラブルシューティング] のビュー (44ページ)</a>」を参照してください。</p>
 <b>インベントリ</b>	<p> <b>[インベントリ]</b> ワークスペースの各ビューには、一覧表示されているオブジェクトに関連する情報が含まれます。たとえば、[ノード] ビューには、ノードオブジェクトに関する情報が含まれています。[インタフェース] ビューには、インタフェースオブジェクトに関する情報が含まれています。[IPサブネット] ビューには、IPサブネットオブジェクトに関する情報が含まれています。</p> <p>詳細については、「<a href="#">インベントリリストに含むビュー (46ページ)</a>」を参照してください。</p>
 <b>管理モード</b>	<p> <b>[管理モード]</b> ワークスペースには、NNMi () によって現在管理されていない検出済みネットワーク要素のビューが含まれます。</p> <p>詳細については、「<a href="#">[管理モード] のビュー (48ページ)</a>」を参照してください。</p>
 <b>インシデントの参照</b>	<p> <b>[インシデントの参照]</b> ワークスペースには、インシデントのライフサイクルでフィルタリングされた<b>キーインシデント</b>のビューが含まれます。たとえば、[重要な未解決インシデント] ビューには、<b>ライフサイクル状態</b>の値が<b>[解決済み]</b>以外の値になっている重要なインシデントがすべて表示されます。[解決済みの重要なインシデント] ビューには、ライフサイクル状態の値が<b>解決済み</b>となっているインシデントがすべて表示されます。</p> <p>このワークスペースには、相関特性に基づいたインシデントのビューも含まれます。たとえば、[未解決の根本原因インシデント] や[サービスインパクトインシデント]</p>

NNMiのワークスペース (続き)

ワークスペース名	説明:
	<p>ト] です。</p> <p>このワークスペースを使用すれば、すべてのインシデントを表示することもできます。</p> <p>NNMiには、インシデントで利用可能なすべての属性を含む、[カスタムインシデント] ビューと[カスタム未解決 インシデント] ビューが用意されています。これらのビューは、インシデントビューをカスタマイズして、関心のあるインシデント属性のみを含めることができるようにすることが目的です。</p> <p>このワークスペースには、NNMi SyslogメッセージおよびSNMPトラップから生成されたインシデントのビューも含まれます。</p> <p>詳細については、「<a href="#">[インシデントの参照] のビュー</a>」(50ページ)を参照してください。</p>
<p> パフォーマンス分析 </p>	<p>HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance Server (NPS) をインストールします。詳細については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> <p>「<a href="#">[パフォーマンス分析] のビュー</a>」(53ページ)も参照してください。</p>
<p> Acme IP テレフォニー </p> <p> Cisco IP テレフォニー </p> <p> Nortel IP テレフォニー </p> <p> Avaya IP テレフォニー </p> <p> Microsoft IP テレフォニー </p>	<p>HP Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。詳細については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> <p>「<a href="#">[Acme IPテレフォニー] のビュー</a>」(53ページ)も参照してください。</p> <p>「<a href="#">[Cisco IPテレフォニー] のビュー</a>」(54ページ)も参照してください。</p> <p>「<a href="#">[Nortel IPテレフォニー] のビュー</a>」(55ページ)も参照してください。</p> <p>「<a href="#">[Avaya IPテレフォニー] のビュー</a>」(56ページ)も参照</p>

NNMiのワークスペース (続き)

ワークスペース名	説明:
	<p>してください。</p> <p>「<a href="#">[Microsoft IPテレフォニー]のビュー</a>」(57ページ)も参照してください。</p>
 MPLS 	<p>HP Network Node Manager iSPI for MPLS Software (NNM iSPI for MPLS) が必要です。詳細については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> <p>「<a href="#">[MPLS]のビュー</a>」(58ページ)も参照してください。</p>
 IPマルチキャスト 	<p>HP Network Node Manager iSPI for IP Multicast Software (NNM iSPI for IP Multicast) が必要です。詳細については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> <p>「<a href="#">[IPマルチキャスト]のビュー</a>」(60ページ)も参照してください。</p>
 品質保証 	<p>HP Network Node Manager iSPI Performance for Quality Assurance Software (NNM iSPI Performance for Quality Assurance) が必要です。詳細については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> <p>「<a href="#">[品質保証]のビュー</a>」(60ページ)も参照してください。</p>
 トラフィック分析 	<p>HP Network Node Manager iSPI Performance for Traffic Software (NNM iSPI Performance for Traffic) が必要です。詳細については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> <p>「<a href="#">[トラフィック分析]のビュー</a>」(62ページ)も参照してください。</p>
 統合モジュールの設定 	<p>(NNMi管理者のみ)[統合モジュールの設定]のビューは、他のソフトウェア製品と通信するようNNMiを設定するために使用されます。詳細については、<a href="#">[ヘルプ] &gt; [管理者用のヘルプ]</a>を参照してください。</p>
 設定 	<p>(NNMi管理者のみ)[設定]のビューは、NNMiおよびiSPI用の設定内容を指定するために使用されます。詳細については、<a href="#">[ヘルプ] &gt; [管理者用のヘルプ]</a>を参照してください。</p>



### 関連トピック

[「NNMiで使用できるビュー」\(27ページ\)](#)

## 第5章：NNMiで使用できるビュー

NNMiには、ネットワークのデバイスについて豊富な情報を提供する、すぐに使用できるビューがいくつか用意されています。

**注：**説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

ワークスペースに関する以下のトピックで、各ビューについて説明します。

### NNMiのワークスペース

 ダッシュボード	「[ダッシュボード] ワークスペースで利用可能なビュー」(28ページ)
 インシデントの管理	「[インシデントの管理] のビュー」(34ページ)
 トポロジマップ	「[トポロジマップ] のビュー」(36ページ)
 モニタリング	「[ネットワークデバイスのモニタリング] のビュー」(42ページ)
 トラブルシューティング	「[トラブルシューティング] のビュー」(44ページ)
 インベントリ	「インベントリリストに含むビュー」(46ページ)
 管理モード	「[管理モード] のビュー」(48ページ)
 インシデントの参照	「[インシデントの参照] のビュー」(50ページ)
 パフォーマンス分析	「[パフォーマンス分析] のビュー」(53ページ)

### NNMiのワークスペース (続き)

 Acme IP テレフォニー	▼	「[Acme IPテレフォニー] のビュー」(53ページ)
 Cisco IP テレフォニー	▼	「[Cisco IPテレフォニー] のビュー」(54ページ)
 Nortel IP テレフォニー	▼	「[Nortel IPテレフォニー] のビュー」(55ページ)
 Avaya IP テレフォニー	▼	「[Avaya IPテレフォニー] のビュー」(56ページ)
 Microsoft IP テレフォニー	▼	「[Microsoft IPテレフォニー] のビュー」(57ページ)
 MPLS	▼	[MPLS] のビュー
 IPマルチキャスト	▼	[IPマルチキャスト] のビュー
 品質保証	▼	[品質保証] のビュー
 トラフィック分析	▼	「[トラフィック分析] のビュー」(62ページ)
 統合モジュールの設定	▼	(NNMi管理者のみ)  [統合モジュールの設定] のビューは、他のソフトウェア製品と通信するようNNMiを設定するために使用されます。
 設定	▼	(NNMi管理者のみ) NNMiおよびiSPIの  [設定] のビューの設定内容。

注: 一部のビューはフォルダーの下に表示されます。フォルダーで利用可能なビューのリストにアクセスするには、フォルダー名の前にある+ (プラス記号) をクリックします。

### 関連トピック

[「ワークスペースについて」\(21ページ\)](#)

[「テーブル情報をエクスポートする」\(95ページ\)](#)

## [ダッシュボード] ワークスペースで利用可能なビュー

[ダッシュボード] ワークスペース ([「ワークスペースについて」\(21ページ\)](#)) では以下のビューを使用できます。

ダッシュボードワークスペースで利用可能なビューには、NNMiにより管理され、ログインユーザーが属するセキュリティグループにより制限されるオブジェクトのセット全体に関する情報が表示されます。

注: 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。







- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

NNMiでは以下のダッシュボードビューが提供されます。NNMi管理者がさらに追加することもできます。

### ネットワークの概要

パネルのタイトル	説明														
重要な未解決インシデント	<p>ネットワークオペレーターにとって最も重要であり、緊急の対処を必要することが多いインシデント (すべての<b>キーインシデント</b>)を一覧表示します。重要な未解決インシデントのビューには、<b>相関特性</b>が以下のいずれかであるインシデントが含まれます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>相関特性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 情報</td> <td>この相関特性は参考情報です。</td> </tr> <tr> <td> なし</td> <td>このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。</td> </tr> <tr> <td> レート</td> <td>指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。</td> </tr> <tr> <td> 根本原因</td> <td>NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。</td> </tr> <tr> <td> ユーザーの根本原因</td> <td>NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの相関特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。</td> </tr> <tr> <td> サービスインパクト</td> <td>(NNMi 8.xxのみで使用されます) ネットワークサービスが他のインシデントの影響を受けるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響を受けるサービスを識別するのに役立ちます。</td> </tr> </tbody> </table> <p>相関特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software</p>	相関特性	説明	 情報	この相関特性は参考情報です。	 なし	このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。	 レート	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。	 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。	 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの相関特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。	 サービスインパクト	(NNMi 8.xxのみで使用されます) ネットワークサービスが他のインシデントの影響を受けるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響を受けるサービスを識別するのに役立ちます。
相関特性	説明														
 情報	この相関特性は参考情報です。														
 なし	このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。														
 レート	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。														
 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。														
 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの相関特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。														
 サービスインパクト	(NNMi 8.xxのみで使用されます) ネットワークサービスが他のインシデントの影響を受けるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響を受けるサービスを識別するのに役立ちます。														

ネットワークの概要 (続き)

パネルの タイトル	説明								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="407 359 553 411">関連特性</th> <th data-bbox="553 359 1383 411">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="407 411 553 516"></td> <td data-bbox="553 411 1383 516">Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] &gt; [管理者用のヘルプ]を参照してください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="407 516 553 737">  ストリームの            関連処理         </td> <td data-bbox="553 516 1383 737">(NNMi 8.xxのみで使用されます) パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された関連処理を示します。関連処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム関連処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 関連処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 関連処理が含まれます。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="407 737 1383 1056"> <p><b>注:</b> 以下の関連を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 重複削除ストリームの関連処理</li> <li> 二次的な根本原因</li> <li> 症状</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	関連特性	説明		Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] > [管理者用のヘルプ]を参照してください。	 ストリームの 関連処理	(NNMi 8.xxのみで使用されます) パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された関連処理を示します。関連処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム関連処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 関連処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 関連処理が含まれます。	<p><b>注:</b> 以下の関連を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 重複削除ストリームの関連処理</li> <li> 二次的な根本原因</li> <li> 症状</li> </ul>	
関連特性	説明								
	Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] > [管理者用のヘルプ]を参照してください。								
 ストリームの 関連処理	(NNMi 8.xxのみで使用されます) パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された関連処理を示します。関連処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム関連処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 関連処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 関連処理が含まれます。								
<p><b>注:</b> 以下の関連を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 重複削除ストリームの関連処理</li> <li> 二次的な根本原因</li> <li> 症状</li> </ul>									
停止のスケジュール	[管理モード] ワークスペースの[スケジュール済みのノードの停止]ビューには、過去、現在、将来すべてのスケジュール済みのノードの停止についてのレコードが表示されます。								
[インフラストラクチャ] ノードグループのノード	[トポロジマップ] ワークスペースの[ネットワークインフラストラクチャデバイス] マップには、ネットワークのスイッチとルーターの代表的なノードグループが表示されます。								
[ルーター] ノードグループのノード	[トポロジマップ] ワークスペースの[ルーター] マップは、ネットワーク内のレイヤー3の接続性のグラフィック表現を示します。レイヤー3マップの接続デバイスは、ルーター、スイッチルーター、ゲートウェイです(詳細については、「マップの記号について」を参照してください)。								
上位CPU使用率(平均)	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi 管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p><b>CPU 5秒使用率</b></p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の5秒間にわたる平均のCPU使用率です。</p>								

ネットワークの概要 (続き)

パネルの タイトル	説明
	<p><b>CPU 1分使用率</b></p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の1分間にわたる平均のCPU使用率です。</p> <p><b>CPU 5分使用率</b></p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の5分間にわたる平均のCPU使用率です。</p>
上位CPU 使用率 (平均)%	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi 管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p><b>CPU 5秒使用率</b></p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の5秒間にわたる平均のCPU使用率です。</p> <p><b>CPU 1分使用率</b></p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の1分間にわたる平均のCPU使用率です。</p> <p><b>CPU 5分使用率</b></p> <p>使用可能なCPU容量の合計量と比較したノードのCPU使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。このパーセンテージは直前の5分間にわたる平均のCPU使用率です。</p>
上位メモ リ使 用率 (平均)	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi 管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p><b>メモリ使用率</b></p> <p>使用可能なメモリの合計量と比較したノードのメモリ使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。</p>
上位メモ リ使 用率 (平均)%	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi 管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p><b>メモリ使用率</b></p> <p>使用可能なメモリの合計量と比較したノードのメモリ使用量のパーセンテージに基づくしきい値です。</p>

## ネットワークの概要 (続き)

パネルのタイトル	説明
上位ICMP応答時間 (ミリ秒)	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi 管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p><a href="#">管理アドレスICMP応答時間</a></p> <p>ICMP エコー要求に対するノードの応答を受信するまでの経過時間 (ミリ秒単位) ベースのしきい値です。照会されたアドレスはノードの管理アドレスの属性値です。現在設定されているアドレスについては、該当ノードの<a href="#">[ノード] フォーム</a>、<a href="#">[基本属性] セクション</a>を参照してください。</p>
容量上位のインタフェース	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi 管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p>
使用率上位のインタフェース	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi 管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p><a href="#">入力使用率</a></p> <p>(デバイスのifSpeedのクエリに使用されるMIBと、システムがインタフェースで高速カウンターをサポートしているかどうかによって決まる) 可能なオクテットの最大数と比較した、インタフェースの受信オクテットの総数のパーセンテージに基づくしきい値です。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"><p><b>ヒント:</b> デバイスのSNMPエージェントが返すifSpeed値が正確でなかったり、しきい値で問題を生じることがあります。NNMiロールで許可される場合は、次の手順でSNMPエージェントによって報告されたifSpeedを上書きすることができます。</p><ol style="list-style-type: none"><li>1. 問題のインタフェースの <a href="#">[インタフェース] フォーム</a>を開きます。</li><li>2. <a href="#">[全般タブ]</a>を選択します。</li><li>3. <a href="#">[入力速度]/[出力速度]</a> セクションに移動します。</li><li>4. <a href="#">[入力速度]</a> または <a href="#">[出力速度]</a> の設定を変更します。</li></ol></div> <p><a href="#">出力の使用率</a></p> <p>(デバイスのifSpeedのクエリに使用されるMIBと、システムがインタフェースで高速カウンターをサポートしているかどうかによって決まる) 可能なオクテットの最大数と比較した、インタフェースの送信オクテットの総数のパーセンテージに基づくしきい値です。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 10px;"><p><b>ヒント:</b> デバイスのSNMPエージェントが返すifSpeed値が正確でなかったり、しきい値で問題を生じることがあります。NNMiロールで許可される場合は、次の手順でSNMPエージェントによって報告されたifSpeedを上書きすることができます。</p></div>

ネットワークの概要 (続き)

パネルの タイトル	説明
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題のインタフェースの [インタフェース] フォームを開きます。</li> <li>2. <a href="#">[全般タブ]</a> を選択します。</li> <li>3. [入力速度]/[出力速度] セクションに移動します。</li> <li>4. [入力速度] または [出力速度] の設定を変更します。</li> </ol>
廃棄 レート (平均) 上位の インタ フェース	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi 管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p><a href="#">出力の廃棄レート</a></p> <p>送信されるパケットの合計数と比較した、インタフェースの破棄された出力パケット数のパーセンテージに基づくしきい値です。パケットは、転送バッファオーバーフロー、輻輳、システム固有の問題などさまざまな原因で廃棄される場合があります。</p>
エラー レート (平均) 上位の インタ フェース	<p>(NNM iSPI Performance for Metrics) NNMi 管理者がしきい値をインストールおよび設定している場合、ここに有用なレポートが表示されます。</p> <p><a href="#">入力エラーレート</a></p> <p>受信パケットの合計数と比較した、インタフェースにおける入力パケットのエラー数のパーセンテージに基づくしきい値です。エラーの原因はシステムによって異なりますが、パケットチェックサム誤り、不正なヘッダー情報、およびパケットが小さすぎるなどの問題である可能性があります。</p> <p><a href="#">FCS LANエラーレート</a></p> <p>ローカルエリアネットワークインタフェースのみ。受信フレームの合計数と比較した、不正なチェックサム (CRC<sup>1</sup>値) がある受信フレームのパーセンテージに基づくしきい値です。考えられる原因には、半二重でのコリジョン、全二重の不一致、ハードウェアの障害 (NIC<sup>2</sup>、ケーブル、またはポート)、接続されたデバイスで不適切なフレームチェックシーケンスによりフレームが生成されている場合などがあります。</p> <p><a href="#">FCS WLANエラーレート</a></p> <p>ワイヤレスローカルエリアネットワークインタフェースのみ。受信フレームの合計数と比較した、不正なチェックサム (CRC<sup>3</sup>値) がある受信フレームのパーセンテージに基づくしきい値です。原因として、ワイヤレス通信の干渉、ハードウェアの障害 (NIC<sup>4</sup>、ケーブル、またはポート)、または接続されたデバイスでの不適切なフレームチェックシーケンスによるフレーム生成といったことが考えられます。</p>

<sup>1</sup>巡回冗長検査

<sup>2</sup>ネットワークインタフェースコントローラー

<sup>3</sup>巡回冗長検査

<sup>4</sup>ネットワークインタフェースコントローラー



iSPIがインストールされている場合、より多くのダッシュボードビューが使用できます。例:

- NNM iSPI Performance for Metricsがインストールされている場合の [インタフェースのパフォーマンス] ダッシュボードと [コンポーネントのパフォーマンス] ダッシュボード

HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance Server (NPS) をインストールします。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

- NNM iSPI Performance for QAがインストールされている場合の [QAのパフォーマンス] ダッシュボード

HP Network Node Manager iSPI Performance for Quality Assurance Software (NNM iSPI Performance for Quality Assurance) が必要です。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:

## [インシデントの管理] のビュー

[インシデントの管理] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」](#)(21ページ))。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。







### [インシデントの管理] のビュー

ビューのタイトル	説明
重要な未解決インシデント	ネットワークオペレーターにとって最も重要であり、緊急の対応を必要することが多いインシデント (すべての <b>キーインシデント</b> ) を一覧表示します。重要な未解決インシデントのビューには、 <b>相関特性</b> が以下のいずれかであるインシデントが含まれます。

[インシデントの管理] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="451 359 597 401">相関特性</th> <th data-bbox="605 359 1383 401">説明</th> </tr> </thead> </table>	相関特性	説明
相関特性	説明		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 422 597 464"> 情報</td> <td data-bbox="605 422 1383 464">この相関特性は参考情報です。</td> </tr> </table>	 情報	この相関特性は参考情報です。
 情報	この相関特性は参考情報です。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 485 597 527"> なし</td> <td data-bbox="605 485 1383 569">このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。</td> </tr> </table>	 なし	このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。
 なし	このインシデントへのインシデント相関処理がないことを意味します。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 579 597 716"> レート ストリームの相関処理</td> <td data-bbox="605 579 1383 737">指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。</td> </tr> </table>	 レート ストリームの相関処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。
 レート ストリームの相関処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート相関処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で相関処理の注を更新し続けます。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 747 597 810"> 根本原因</td> <td data-bbox="605 747 1383 831">NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。</td> </tr> </table>	 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。
 根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 842 597 957"> ユーザーの根本原因</td> <td data-bbox="605 842 1383 968">NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの相関特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。</td> </tr> </table>	 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの相関特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。
 ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの相関特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 978 597 1083"> サービスインパクト</td> <td data-bbox="605 978 1383 1356"> <p>(NNMi 8.xxのみで使用されます) ネットワークサービスが他のインシデントの影響を受けるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インターフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響を受けるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] &gt; [管理者用のヘルプ] を参照してください。</p> </td> </tr> </table>	 サービスインパクト	<p>(NNMi 8.xxのみで使用されます) ネットワークサービスが他のインシデントの影響を受けるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インターフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響を受けるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] &gt; [管理者用のヘルプ] を参照してください。</p>
 サービスインパクト	<p>(NNMi 8.xxのみで使用されます) ネットワークサービスが他のインシデントの影響を受けるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インターフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響を受けるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>相関特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] &gt; [管理者用のヘルプ] を参照してください。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="451 1367 597 1482"> ストリームの相関処理</td> <td data-bbox="605 1367 1383 1619">(NNMi 8.xxのみで使用されます) パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。</td> </tr> </table>	 ストリームの相関処理	(NNMi 8.xxのみで使用されます) パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。
 ストリームの相関処理	(NNMi 8.xxのみで使用されます) パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された相関処理を示します。相関処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム相関処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 相関処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 相関処理が含まれます。		
	<p><b>注:</b> 以下の相関を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <p> 重複削除ストリームの相関処理</p>		

### [インシデントの管理] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>関連特性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>二次的な根本原因</td> </tr> <tr> <td></td> <td>症状</td> </tr> </tbody> </table>	関連特性	説明		二次的な根本原因		症状
関連特性	説明						
	二次的な根本原因						
	症状						
未割り当ての重要な未解決インシデント	まだ割り当てられていない未解決の <b>キーインシデント</b> が一覧表示されます。このビューは、割り当てされる最新のキーインシデントを識別するのに便利です。						
自分の未解決インシデント	現在のユーザーに関連付けられている名前に割り当てられているインシデントを一覧表示します。						

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [トポロジマップ] のビュー

[トポロジマップ] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」](#)(21ページ))。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。




- 割り当てられたNNMi**セキュリティグループのマッピング**。
- 現在インストールされている**HP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア**。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

(ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。)

### [トポロジマップ] のビュー

ビューのタイトル	説明
ノードグループの概要	すべてのトップレベルのノードグループを含むマップを表示します。子グループは親マップのリンクをダブルクリックしない限り表示されません。

[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明								
	 <p>(ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] &gt; [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。)</p>								
<p>ネットワークの概要 (レイヤー3)</p>	<p>デフォルトでは、このマップはレイヤー3ネットワークで最も高度に接続されているノードを最大で250個表示します</p> <p>NNMi管理者がこのマップに関する設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表示されるノードの最大数。NNMi管理者である場合、詳細については、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiコンソール」の章 (<a href="http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals">http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals</a>) を参照してください。</li> <li>リフレッシュレート。デフォルトでは5分です。</li> <li>NNMiコンソールの初期ビューはデフォルトでこの[ネットワークの概要] になります。NNMiユーザーがNNMiを開くたびに異なるノードグループマップが表示されるようにする場合は、NNMi管理者として [設定] &gt; [ユーザーインターフェース] &gt; [ユーザーインターフェースの設定: 初期ビュー] 設定を使用します。</li> </ul>								
<p><b>ノードグループマップ</b> (ある時点で保存されたマップ。)</p> <p>NNMi管理者がある時点で保存したノードグループマップの一覧を表示します。</p> <p>ノードグループマップフォルダーを使用する場合は、以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マップはアルファベット順に表示されます。</li> <li>各  (ツリー) は、他のノードグループを含んだノードグループを示すノードグループ階層を表します。含まれるノードグループを表示するには、 をクリックしてフォルダーを展開します。</li> <li>[ノードグループ] ツリーから、「<b>ノードグループマップのアクション</b>」に説明されているアクションを実行できます。</li> </ul>									
<p><b>ノードグループマップのアクション</b></p>									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>アクション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノードグループマップの表示</td> <td>ノード名をクリックします</td> </tr> </tbody> </table>	作業	アクション	ノードグループマップの表示	ノード名をクリックします	<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>アクション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノードグループマップの表示</td> <td>ノード名をクリックします</td> </tr> </tbody> </table>	作業	アクション	ノードグループマップの表示	ノード名をクリックします
作業	アクション								
ノードグループマップの表示	ノード名をクリックします								
作業	アクション								
ノードグループマップの表示	ノード名をクリックします								

[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル		説明
<b>ノードグループマップのアクション (続き)</b>		
作業	アクション	
選択したノードグループのノードグループマップの設定フォームの表示	ノード名を右クリックして、[ノードグループマップの設定を開く]を選択します  このアクションは、アクセス権のあるノードのノードグループマップに対する編集権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager iソフトウェア管理者である場合、このアクションにアクセスできるようにする方法については、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。	
選択したノードグループのノードグループフォームの表示	ノード名を右クリックして、[ノードグループを開く]を選択します	
<p><b>注:</b> これらのノードグループマップには、NNMiによって提供されるノードグループマップの他、[ノードグループマップの設定] オプションで作成されたカスタムノードグループマップも含まれます。Network Node Manager iソフトウェア管理者である場合、ノードグループマップの設定の詳細については、「<a href="#">ノードグループマップの設定を定義する</a>」を参照してください。</p>		
<b>ノードグループマップ (デフォルトのリスト)</b>		
ビューのタイトル	説明	
ネットワークインフラストラクチャデバイス	<p>ネットワーク内のスイッチとルーターの代表ノードグループを表示します。以下のデバイスタイプはそれぞれ、該当する場合、マップにも含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• シャーシ</li> <li>• ファイアウォール</li> <li>• ボイスゲートウェイ</li> </ul> <p><b>注:</b> NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できます。</p> <p>ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] &gt; [オペレーター用のヘルプ]を参照してください。</p>	
追加のビュー...	NNMi管理者がある時点で設定し保存した追加のノードグループマップ。	
<p><b>クイックアクセスマップ</b> (割り当てられた順序番号を持つマップ。)</p>		

[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
<p>NNMi管理者がトポロジマップの順序番号をノードグループのマップに割り当てる場合 ([設定] &gt; [ユーザーインターフェース] &gt; [ノードグループマップの設定]):</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノードグループのマップへのリンクが、割り当てられた順序で[トポロジマップ] &gt; [クイックアクセスマップ] フォルダーの下に自動的に表示されます。</li> </ul> <p>[クイックアクセスマップ] フォルダーはすべてのNNMiユーザーに表示されます。</p> <p><b>クイックアクセスマップ (デフォルトのリスト)</b></p>	
ネットワークインフラストラクチャデバイス	<p>このマップは、[ノードグループマップ] および [クイックアクセスマップ] フォルダー下に表示されます。</p> <p>ネットワーク内のスイッチとルーターの代表ノードグループを表示します。以下のデバイスタイプはそれぞれ、該当する場合、マップにも含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シャーシ</li> <li>ファイアウォール</li> <li>ボイスゲートウェイ</li> </ul> <p><b>注:</b> NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できません。</p> <p>ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] &gt; [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。</p>
ルーター	<p>このマップは、[ノードグループマップ] および [クイックアクセスマップ] フォルダー下に表示されます。</p> <p>ネットワーク内のルーターとレイヤー3接続のノードグループマップを表示します。</p> <p><b>ヒント:</b> ノードグループの詳細については、「<a href="#">ノードグループおよびインタフェースグループについて</a>」(81ページ)を参照してください。</p> <p><b>注:</b> ネットワーク内のノードグループの数が、マップに表示されるよう設定されたマップオブジェクトの最大数より多い場合、NNMiはマップをフィルタリングし、ネットワークで最大数のサブネット内にアドレスがあるインタフェースを持つルーターを表示します。</p> <p>NNMi管理者は1つのマップに表示されるノードの最大数を設定できます。詳細については、「<a href="#">管理者用のヘルプ</a>」を参照してください。</p>

[トポロジマップ] のビュー (続き)



ビューのタイトル	説明
<b>クイックアクセスマップ (デフォルトのリスト) (続き)</b>	
ビューのタイトル	説明
	<p><b>注:</b> NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できません。</p>
スイッチ	<p>このマップは、[ノードグループマップ] および [クイックアクセスマップ] フォルダー下に表示されます。</p> <p>ネットワーク内のスイッチとレイヤー2接続のノードグループマップを表示します。</p> <p><b>ヒント:</b> ノードグループの詳細については、「<a href="#">ノードグループおよびインターフェースグループについて</a>」(81ページ)を参照してください。</p> <p><b>注:</b> ネットワーク内のノード数が、マップに表示されるよう設定されたノードの最大数より多い場合、NNMiはマップをフィルタリングし、最も高度に接続されるスイッチを表示します。</p> <p>NNMi管理者は1つのマップに表示されるノードの最大数を設定できます。詳細については、「<a href="#">管理者用のヘルプ</a>」を参照してください。</p> <p><b>注:</b> NNMi管理者はトポロジマップワークスペースからこのマップを削除できません。</p>
追加のビュー...	NNMi管理者がある時点で設定して保存し、順序番号を割り当てた追加のノードグループマップ。

**すべてのノードグループ** (すべての定義済みノードグループにリンクします。NNMi管理者に対してのみ表示されます。)

NNMi管理者がノードグループを作成する場合:

- ノードグループのマップへのリンクが、アルファベット順で [すべてのノードグループ] フォルダの [トポロジマップ] ワークスペースの下に自動的に表示されます。
- ノードグループマップのアイコンは最初は灰色 (👁️) です。
- マップがある時点で保存されると、アイコンは多色 (🌈) で表示され、そのマップへのリンクが [ノードグループマップ] フォルダに追加され、他のNNMiユーザーが見ることができる状態になります。
- 順序番号がノードグループマップに割り当てられると、そのマップが [クイックアクセスマップ] フォルダに追加され、他のNNMiユーザーが見ることができる状態になります。

[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明								
<p>[すべてのノードグループ] フォルダーを使用する場合は、以下の点に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Network Node Manager iソフトウェア管理者である場合、ノードグループマップの設定の詳細については、「<a href="#">ノードグループマップの設定を定義する</a>」を参照してください。</li> <li>• このフォルダーは、アクセス権のあるノードのノードグループに対する作成および削除権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager iソフトウェア管理者である場合、このフォルダーにアクセスできるようにする方法については、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章の章を参照してください。</li> <li>• 各  (ツリー) は、他のノードグループを含んだノードグループを示すノードグループ階層を表します。含まれるノードグループを表示するには、 をクリックしてフォルダーを展開します。</li> <li>• [ノードグループ] ツリーから、「<a href="#">ノードグループマップのアクション</a>」に説明されているアクションを実行できます。</li> </ul> <p><b>ノードグループマップのアクション</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業</th> <th>アクション</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノードグループマップの表示</td> <td>ノード名をクリックします</td> </tr> <tr> <td>選択したノードグループのノードグループマップの設定フォームの表示</td> <td>ノード名を右クリックして、[<a href="#">ノードグループマップの設定を開く</a>]を選択します  このアクションは、アクセス権のあるノードのノードグループマップに対する編集権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager iソフトウェア管理者である場合、このアクションにアクセスできるようにする方法については、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。</td> </tr> <tr> <td>選択したノードグループのノードグループフォームの表示</td> <td>ノード名を右クリックして、[<a href="#">ノードグループを開く</a>]を選択します</td> </tr> </tbody> </table>		作業	アクション	ノードグループマップの表示	ノード名をクリックします	選択したノードグループのノードグループマップの設定フォームの表示	ノード名を右クリックして、[ <a href="#">ノードグループマップの設定を開く</a> ]を選択します  このアクションは、アクセス権のあるノードのノードグループマップに対する編集権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager iソフトウェア管理者である場合、このアクションにアクセスできるようにする方法については、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。	選択したノードグループのノードグループフォームの表示	ノード名を右クリックして、[ <a href="#">ノードグループを開く</a> ]を選択します
作業	アクション								
ノードグループマップの表示	ノード名をクリックします								
選択したノードグループのノードグループマップの設定フォームの表示	ノード名を右クリックして、[ <a href="#">ノードグループマップの設定を開く</a> ]を選択します  このアクションは、アクセス権のあるノードのノードグループマップに対する編集権限を持っている場合にのみ表示されます。Network Node Manager iソフトウェア管理者である場合、このアクションにアクセスできるようにする方法については、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。								
選択したノードグループのノードグループフォームの表示	ノード名を右クリックして、[ <a href="#">ノードグループを開く</a> ]を選択します								
<p><b>すべてのノードグループマップ (デフォルトのリスト)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ビューのタイトル</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重要なノード</td> <td>このグループのすべてのデバイスは特別な扱いを受けます。このグループの現在のメンバーが応答を停止すると、Causal Engineは「ノード停止」インシデントを生成し、デバイスステータスを「危険」に設定します。</td> </tr> </tbody> </table>		ビューのタイトル	説明	重要なノード	このグループのすべてのデバイスは特別な扱いを受けます。このグループの現在のメンバーが応答を停止すると、Causal Engineは「ノード停止」インシデントを生成し、デバイスステータスを「危険」に設定します。				
ビューのタイトル	説明								
重要なノード	このグループのすべてのデバイスは特別な扱いを受けます。このグループの現在のメンバーが応答を停止すると、Causal Engineは「ノード停止」インシデントを生成し、デバイスステータスを「危険」に設定します。								



[トポロジマップ] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
<b>すべてのノードグループマップ (デフォルトのリスト) (続き)</b>	
ビューのタイトル	説明
Microsoft Windowsシステム	このノードグループには、Microsoftによって製造されたデバイスが自動的に含まれます。
隣接接続フィルター	<p>担当のNNMi管理者は、ノードグループのメンバーに接続されている (1ホップの隣接接続) デバイスを表示するようノードグループマップを設定できます。ただし、それらのデバイス自体はメンバーではありません。</p> <p>マップアイコンを囲むグレーの輪は、1ホップの隣接接続を示します。</p>  <p>すべての1ホップの隣接接続が表示されるわけではありません。担当のNNMi管理者は特定のノードグループを隣接接続フィルターとして選びます。指定したノードグループ内の1ホップのデバイスのみが表示されます。</p>
ネットワークインフラストラクチャデバイス	このノードグループには、管理ドメイン内のルーターまたはスイッチが含まれます。これらは、障害メトリクスに特に注意してモニタリングされます。
非SNMPデバイス	このノードグループにはSNMPに回答しないデバイスが含まれます。
仮想マシン	(NNMi Advanced) このノードグループには、VMware ESX/ESXiサーバーでホストされている仮想マシンが含まれます。
VMware ESXホスト	(NNMi Advanced) このノードグループには、仮想マシンをホストしているVMware ESX/ESXiサーバーが含まれます。
追加のビュー...	NNMi管理者が定義した追加のノードグループ。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [ネットワークデバイスのモニタリング] のビュー

[モニタリング] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」](#)(21ページ))。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

(ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。)

#### ネットワークデバイスのモニタリングを支援するビュー

ビューのタイトル	説明
正常域にないノードセンサー	(NNM iSPI Performance for Metrics) ノードのバッファ、CPU、ディスク、メモリなどに関する問題のためにオペレーターの注意を必要とするノードを一覧表示します。
正常域にない物理センサー	バックプレーン、ファン、電源、温度、電圧などシャーシに関する問題のためにオペレーターの注意を必要とするシャーシまたはカードを一覧表示します。
正常域にないシャーシ	シャーシ内のオブジェクトの状態に関する問題のためにオペレーターの注意を必要とするシャーシを一覧表示します。
正常域にないカード	オペレーターの注意を必要とするカードを一覧表示します。
正常域にないインターフェース	オペレーターの注意を必要とするインターフェースを一覧表示します。
正常域にないノード	オペレーターの注意を必要とするノードを一覧表示します。
正常域にないSNMPエージェント	正常域以外の状態であるSNMPエージェントを一覧表示します。
応答のないアドレス	応答なしの状態であるアドレスを一覧表示します。応答なし状態は、そのアドレスがICMP pingに回答しないことを示します。
インターフェースのパフォーマンス	(NNM iSPI Performance for Metrics) 管理対象ネットワーク内のノードで使用率が高すぎたり低すぎたりするインターフェースを識別できるよう支援します。
シャーシ冗長	NNMiで検出されたシャーシ冗長グループを一覧表示します。

### ネットワークデバイスのモニタリングを支援するビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
グループ	シャード冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
カード冗長グループ	NNMiで検出されたカード冗長グループを一覧表示します。 カード冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
ルーター冗長グループ	NNMi管理者が作成した使用可能なルーター冗長グループを一覧表示します。各ルーター冗長グループは、情報パケットが目的の宛先に確実に到達するように、1つまたは複数の仮想IPアドレスを使用する2つ以上のルーターのセットです。 ルーター冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
ノードグループ	NNMi管理者が作成したノードグループを一覧表示します。NNMi管理者は、ノードグループを使用し、ホスト名や位置などのいくつかの基準に基づいてノードのグループを定義します。 ノードグループの詳細については、「 <a href="#">ノードグループおよびインタフェースグループについて</a> 」(81ページ)を参照してください。
カスタムノード収集	NNMiのカスタムポーラーを使用して作成されたカスタムノード収集を一覧表示します。カスタムノード収集は、少なくとも1つの関連付けられたカスタムポーラーポリシーがあるトポロジノードを識別します。 カスタムノード収集の詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
カスタムポーリングインスタンス	NNMiのカスタムポーラーを使用して作成されたカスタムポーリングインスタンスを一覧表示します。NNMiは検出情報を使用してMIB式を初めて検証したときに、カスタムポーリングインスタンスを作成します。 カスタムポーリングインスタンスの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## 【トラブルシューティング】のビュー

【トラブルシューティング】ワークスペースでは、以下のビューを使用できます(「[ワークスペースについて](#)」(21ページ))。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

(ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。)

#### トラブルシューティングを支援するビュー

ビューのタイトル	説明
レイヤー2の近隣接続ビュー	<p>選択したデバイスおよびそのデバイスから指定したホップ数内にある接続デバイスのマップビューを一覧表示します。このビューは、デバイス間のスイッチの接続性を理解するのに役立ちます。</p> <p>ネットワークマップ内のノードの背景色は、ノードまたはインタフェースのステータスを表わします。たとえば、緑はノードが動作中であることを表わします。赤は、そのノードまたはインタフェースが停止していることを示します。</p>
レイヤー3の近隣接続ビュー	<p>選択したデバイスおよびそのデバイスから指定したホップ数内にある接続デバイスのマップビューを一覧表示します。このビューは、デバイス間のルーターの接続性を理解するのに役立ちます。</p> <p>ネットワークマップ内のノードの背景色は、ノードまたはインタフェースのステータスを表わします。たとえば、緑はノードが動作中であることを表わします。赤は、そのノードまたはインタフェースが停止していることを示します。</p>
パスビュー	<p>ソースおよびデスティネーションの終点間のアクティブネットワークパスを一覧表示します。</p> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>注意:</b> パスビューマップでは、ソースノードまたはデスティネーションノードとしてスイッチを指定しないでください。スイッチ間の接続性を表示するには、レイヤー2の近隣接続ビューを使用します。</p> </div> <p>このビューは、たとえば、あるノードが別のノードと通信できない場合や、Microsoft Exchangeサーバーと通信できないクライアントPCなどの特定のノードにアクセスできない場合など、接続性の問題の診断に役立ちます。</p> <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>注:</b> (NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。</p> </div>
ノードグループ	ステータスと接続属性のみならず、定義済み背景イメージのコンテキストでノードグ

### トラブルシューティングを支援するビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
プマップ	ループの定義済みメンバーを表示します (たとえば、北米のマップ)。 ノードグループマップの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## インベントリリストに含むビュー

[インベントリ] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」](#)(21ページ))。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

### インベントリリストに含むビュー

ビューのタイトル	説明
ノード	NNMiが検出したすべてのノードのステータスを一覧表示します。 このビューをステータスでソートすると、停止しているか、何らかの原因で無効になっているすべてのノードを表示できます。
インタフェース	NNMiが検出したすべてのネットワークインタフェースに関する情報を一覧表示します。 このビューを関連ノードの名前の値 (ホスト元ノード) でソートすると、ノードごとのすべてのネットワークインタフェースを表示できます。 ビューを管理状態または運用状態でソートすると、停止しているか何らかの原因で無効になっているノードまたはインタフェースを判断するのに役立ちます。
IPアドレス	NNMiが検出したすべてのIPアドレスのホスト元ノードについてステータスを一覧表示します([ノード] フォーム: [IPアドレス] タブには、このビューからの関連アドレスも表示されます)。

インベントリリストに含むビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
SNMP エージェント	有効化された各 SNMP エージェントのステータスを一覧表示します。
IP サブネット	すべての IP サブネットのステータスを一覧表示します。 このビューをステータスでソートすると、現在あるいは潜在的に問題があることをステータスが示しているすべての IP アドレスを素早く表示できます。
VLAN	ネットワーク環境内で検出されたスイッチポート VLAN を一覧表示します。1つのデバイスは、複数の VLAN に参加できます。さらに、1つのポートは、複数の VLAN に割り当てられます。
シャーシ	NNMiによってネットワーク環境内に検出されたシャーシを一覧表示します。
カード	NNMiによってネットワーク環境内に検出されたカードを一覧表示します。
ポート	NNMiによってネットワーク環境内に検出されたポートを一覧表示します。
ノードセンサー	(NNM iSPI Performance for Metrics) バッファ、CPU、ディスク、メモリなどのノードの状態に関する情報を一覧表示します。
物理センサー	バックプレーン、ファン、電源、温度、電圧などのシャーシの状態に関する情報を一覧表示します。
レイヤー2の接続	ネットワーク環境で検出または追加された、レイヤー2接続を一覧表示します。
ノード (すべての属性)	ほとんどのノード属性の [ノード] ビューを提供します。ニーズに合うようにこのビューをソートし、フィルターします。
インターフェース (すべての属性)	ほとんどのインターフェース属性の [インターフェース] ビューを提供します。ニーズに合うようにこのビューをソートし、フィルターします。
IP アドレス (すべての属性)	ほとんどの IP アドレス属性の IP アドレスビューを提供します。ニーズに合うようにこのビューをソートし、フィルターします。 現在マップされているアドレスが1列に表示されます。ネットワークの一部に静的ネットワークアドレス変換 (NAT) が使用されている場合、NNMi 管理者は、選択した外部 IP アドレスに割り当てられた (マップされた) NAT 内部 IP アドレスを表示するように NNMi を設定できます。
MIB 変数	NNMi データベースにロードされている MIB から利用可能な MIB 変数を一覧表示します。

### インベントリリストに含むビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
シャーシ冗長グループ	NNMiで検出されたシャーシ冗長グループを一覧表示します。 シャーシ冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
カード冗長グループ	NNMiで検出されたカード冗長グループを一覧表示します。 カード冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
ルーター冗長グループ	(NNMi Advanced) NNMi管理者が作成した使用可能なルーター冗長グループを一覧表示します。各ルーター冗長グループは、情報パケットが目的の宛先に確実に到達するように、1つまたは複数の保護された(仮想) IPアドレスを使用する2つ以上のルーターのセットです。ルーター冗長グループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
ルーター冗長メンバー	(NNMi Advanced) NNMi管理者が作成したルーター冗長グループのメンバーを一覧表示します。
ノードグループ	NNMiが用意し、NNMi管理者が作成したノードグループを一覧表示します。 ノードグループの詳細については、「 <a href="#">ノードグループおよびインタフェースグループについて</a> 」(81ページ)を参照してください。
インタフェースグループ	NNMiが用意し、NNMi管理者が作成したインタフェースグループを一覧表示します。 インタフェースグループの詳細については、[ヘルプ] > [オペレーター用のヘルプ] を参照してください。
MPLS WANクラウド (RAMS)	(NNMi Advanced、およびHP Route Analytics Management System (RAMS) for MPLS WAN) NNMiによって検出されるすべてのMPLS WANの情報が表示されます。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [管理モード] のビュー

[管理モード] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」](#)(21ページ))。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。


- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

### 管理モードのビュー

ビューのタイトル	説明
管理対象外ノード	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのノードを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったノードです。
管理対象外のインタフェース	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのインタフェースを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったインタフェースです。
管理対象外のIPアドレス	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのアドレスを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったアドレスです。
管理対象外のシャーシ	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのシャーシを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったシャーシです。
管理対象外のカード	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのカードを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったカードです。
管理対象外のノードセンサー	(NNM iSPI Performance for Metrics) 管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべてのノードセンサーを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなったノードセンサーです。
管理対象外の物理センサー	管理モードに[非管理対象]または[サービス停止中]が設定されたすべての物理センサーを一覧表示します。これらは、モニタリングやアップデートが行われなくなった物理センサーです。
スケジュール済みのノードの停止	過去、現在、将来におけるスケジュール済みのノードの停止をすべて一覧表示します。 スケジュール済みの停止期間中、NNMiはそのノードに関するすべての検出およびモニタリングを停止し、以下の変更を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• ノードステータス =  ステータスなし</li> </ul>



### 管理モードのビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノード管理モード =  サービス停止中</li> </ul> <p>指定された期間が終了すると、NNMiは最新情報を収集して、ノードデータをアップデートします。</p>

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:










## [インシデントの参照] のビュー

[インシデントの参照] ワークスペースでは、以下のビューを使用できます ([「ワークスペースについて」](#)(21ページ))。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

### [インシデントの参照] のビュー

ビューのタイトル	説明								
重要な未解決インシデント	<p>ネットワークオペレーターにとってきわめて重要で、即座のアクションが必要なインシデント(すべての<b>キーインシデント</b>)を示します。重要な未解決インシデントのビューには、関連特性が以下のいずれかであるインシデントが含まれます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>関連特性</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 情報</td> <td>この関連特性は参考情報です。</td> </tr> <tr> <td> なし</td> <td>このインシデントへのインシデント関連処理がないことを意味します。</td> </tr> <tr> <td> レート ストリームの 関連処理</td> <td>指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート関連処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で関連処理の注を更新し続けます。</td> </tr> </tbody> </table>	関連特性	説明	 情報	この関連特性は参考情報です。	 なし	このインシデントへのインシデント関連処理がないことを意味します。	 レート ストリームの 関連処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート関連処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で関連処理の注を更新し続けます。
関連特性	説明								
 情報	この関連特性は参考情報です。								
 なし	このインシデントへのインシデント関連処理がないことを意味します。								
 レート ストリームの 関連処理	指定された時間内のインシデントの再発生数に基づいて、インシデントのパターンが追跡されることを示します。指定した期間内の数に到達すると、NNMiは「レート関連処理」インシデントを発行し、そのレート内に発生した数で関連処理の注を更新し続けます。								

[インシデントの参照] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="391 394 532 436">関連特性</th> <th data-bbox="532 394 1383 436">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="391 457 532 541"> 根本原因</td> <td data-bbox="532 457 1383 541">NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="391 562 532 688"> ユーザーの根本原因</td> <td data-bbox="532 562 1383 688">NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの関連特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="391 709 532 1045"> サービスインパクト</td> <td data-bbox="532 709 1383 1045"> <p>(NNMi 8.xxのみで使用されます) ネットワークサービスが他のインシデントの影響を受けるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響を受けるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>関連特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] &gt; [管理者用のヘルプ] を参照してください。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="391 1066 532 1276"> ストリームの関連処理</td> <td data-bbox="532 1066 1383 1276"> <p>(NNMi 8.xxのみで使用されます) パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された関連処理を示します。関連処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム関連処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 関連処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 関連処理が含まれます。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="391 1297 1383 1591"> <p><b>注:</b> 以下の関連を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 重複削除ストリームの関連処理</li> <li> 二次的な根本原因</li> <li> 症状</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	関連特性	説明	根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。	ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの関連特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。	サービスインパクト	<p>(NNMi 8.xxのみで使用されます) ネットワークサービスが他のインシデントの影響を受けるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響を受けるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>関連特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] &gt; [管理者用のヘルプ] を参照してください。</p>	ストリームの関連処理	<p>(NNMi 8.xxのみで使用されます) パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された関連処理を示します。関連処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム関連処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 関連処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 関連処理が含まれます。</p>	<p><b>注:</b> 以下の関連を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 重複削除ストリームの関連処理</li> <li> 二次的な根本原因</li> <li> 症状</li> </ul>	
関連特性	説明												
根本原因	NNMiのCausal Engineが問題の根本原因であると判断したインシデントを示します。												
ユーザーの根本原因	NNMi管理者がNNMiでこのインシデントの関連特性を常に根本原因として扱うよう設定していることを示します。												
サービスインパクト	<p>(NNMi 8.xxのみで使用されます) ネットワークサービスが他のインシデントの影響を受けるインシデント間の関係を示します。デフォルトでは、NNMiはルーター冗長グループのサービスインパクトインシデントを生成します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響を受けるサービスを識別するのに役立ちます。</p> <p>関連特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] &gt; [管理者用のヘルプ] を参照してください。</p>												
ストリームの関連処理	<p>(NNMi 8.xxのみで使用されます) パイプラインを通過するイベントフロー内のパターンが認識されたときに、NNMiのイベントパイプラインにより定義された関連処理を示します。関連処理は、NNMiがイベントとトラップを分析して問題の根本原因を調べるときに作成されます。ストリーム関連処理の例には、重複排除 (イベントの重複) 関連処理とレート (時間ごとのイベントの発生) 関連処理が含まれます。</p>												
<p><b>注:</b> 以下の関連を持つインシデントは重要なインシデントとみなされないため、重要なインシデントには含まれません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> 重複削除ストリームの関連処理</li> <li> 二次的な根本原因</li> <li> 症状</li> </ul>													
解決済みの重要なインシデント	解決されたキーインシデントが表示されます。このビューは、解決された根本原因インシデントを特定するのに役立ちます。このビューは、指定された期間内に解決されたインシデントの個数を報告するのに特に役立ちます。												
未解	まだ解決されていない根本原因インシデントが表示されます。このビューは、解決する必												

**[インシデントの参照] のビュー (続き)**

ビューのタイトル	説明
決の根本原因インシデント	要のある根本原因インシデントを特定するのに役立ちます。
サービスインパクトインシデント	ネットワークサービスが影響を受けるその他のインシデントと関係があるインシデントを示します。たとえば、「インタフェース停止中」インシデントが、HSRPサービスの一部であるルーター冗長グループに影響することがあります。サービスインパクトインシデントは、影響されるサービスを識別するのに役立ちます。  関連特性を使用できるのは、HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のみです。  NNM iSPIの詳細については、[ヘルプ] > [管理者用のヘルプ]を参照してください。
すべてのインシデント	すべてのインシデントを示す。このビューは、特定の期間に生成されたすべてのインシデントを決定するのに便利です。
カスタムの未解決インシデント	これを使用すると、すべての未解決のインシデントの中から、ニーズに合わせて、インシデント情報の列を選択できます。たとえば、特定のデバイスセットに関連したインシデントだけをこのビューに表示するようにフィルタリングしたい場合などがあります。自分に割り当てられたインシデントのみをこのビューに表示するようにフィルタリングすることもできます。
カスタムインシデント	インシデント情報向けにカスタマイズされたビューを作成できます。たとえば、自分に割り当てられたインシデントのみをこのビューに含めるようにフィルタリングできます。
NNM 6.x/7.x イベント	NNMi 6.x/7.xからNNMiに移行するときカスタマーが一時的に使用するために用意されています。
Syslog メッセージ	
SNMP トラップ	ネットワーク環境内のデバイスから受信したすべてのトラップを一覧表示します。NNMi管理者は、特定のトラップがNNMiインシデントビューに表示されるように設定する必要があります。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [パフォーマンス分析] のビュー

HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance Server (NPS) をインストールします。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

[パフォーマンス分析] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

### [パフォーマンス分析] のビュー

ビューのタイトル	説明
<a href="#">ノードパフォーマンスメトリックス</a>	パフォーマンスモニタリングが設定されているノードのステータスを一覧表示します。
<a href="#">インタフェースのパフォーマンスメトリックス</a>	パフォーマンスモニタリングが設定されているインタフェースのステータスを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、[次を参照してください](#)。

## [Acme IPテレフォニー] のビュー

HP Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

次のビューは、[Acme IPテレフォニー] ワークスペースで使用可能です。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報]を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony]が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ]をクリックしてください。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

#### [Acme IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
セッションディレクター	環境で検出およびモニタリングされる、Acmeセッションディレクターを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [Cisco IPテレフォニー] のビュー

HP Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

次のビューは、[Cisco IPテレフォニー] ワークスペースで使用可能です。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報]を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony]が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ]をクリックしてください。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

#### [Cisco IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
UCMクラスター	ネットワークで検出されたCisco Unified Communications Managerクラスターを一覧表示します。
UCME	ネットワークで使用可能なUnified Call Manager Expresses (UCME)を一覧表示します。
IPフォン	ネットワークで検出されたCiscoのIPフォンを一覧表示します。
ゲートキーパ	ネットワークで検出されたCiscoゲートキーパデバイスを一覧表示します。
ユーティリティデバイス	ネットワークで検出されたCiscoユーティリティデバイスを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [Nortel IPテレフォニー] のビュー

HP Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

[Nortel IPテレフォニー] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony] が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ] をクリックしてください。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

#### [Nortel IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
通話サーバー	ネットワーク上に検出されたNortelの通話サーバーを一覧表示します。
シグナリングサーバー	ネットワーク上に検出されたNortelのシグナリングサーバーを一覧表示します。
IPフォン	ネットワーク上に検出されたNortelのIPフォンを一覧表示します。
メディアゲートウェイ	ネットワーク上に検出されたNortelのメディアゲートウェイを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [Avaya IPテレフォニー] のビュー

HP Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

次のビューは、[Avaya IPテレフォニー] ワークスペースで使用可能です。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony] が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ] をクリックしてください。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示

示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

#### [Avaya IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
コールコントローラ	ネットワークで検出されたAvayaコールコントローラを一覧表示します。
IPフォン	ネットワークで検出されたAvayaのIPフォンを一覧表示します。
メディアゲートウェイ	ネットワークで検出されたAvayaメディアゲートウェイを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [Microsoft IPテレフォニー] のビュー

HP Network Node Manager iSPI for IP Telephony Software (NNM iSPI for IP Telephony) が必要です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

[Microsoft IPテレフォニー] のワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI for IP Telephonyをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Telephonyがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[HP NNM iSPI Softwareが配備されました] セクションの下に[iSPI for IP Telephony] が表示されたら、NNM iSPI for IP Telephony がインストールされています。

NNM iSPI for IP Telephonyで追加されるこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [IPテレフォニーオンラインヘルプ] をクリックしてください。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。



- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

#### [Microsoft IPテレフォニー] のビュー

ビューのタイトル	説明
Lyncサイト	ネットワーク上に検出されたLyncサイトを一覧表示します。
サーバー	ネットワーク上のLyncサーバーに関連付けられているすべてのサーバープールから検出されたサーバーを一覧表示します。
ゲートウェイ	ネットワーク上に検出されたゲートウェイを一覧表示します。
Lyncエンドユーザー	Lyncサーバーのネットワーク上に検出されたエンドユーザーを一覧表示します。
エンドユーザーグループ	Lyncサーバーのネットワーク上に検出されたエンドユーザーグループを一覧表示します。
サイト	iSPI管理者によって定義されたサイトを一覧表示します。
SIPTランク設定	ネットワーク上に検出されたSIPTランクを一覧表示します。
ダイヤルプラン	ネットワーク上に検出されたダイヤルプランを一覧表示します。
音声ルート	ネットワーク上に検出された音声ルートを一覧表示します。
音声ポリシー	ネットワーク上に検出された音声ポリシーを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [MPLS] のビュー

HP Network Node Manager iSPI for MPLS Software (NNM iSPI for MPLS) が必要です。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

NNM iSPI for MPLSは、サービスプロバイダーのチームが確実に顧客義務を果たすのに役立ちます。[MPLS] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI for MPLSをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for MPLSがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報]を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[配備されている HP NNM iSPIソフトウェア] セクションにiSPI for MPLSが表示されている場合は、NNM iSPI for MPLSがインストールされています。

NNM iSPI for MPLSによって追加されたこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [iSPI for MPLSのヘルプ] をクリックしてください。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

#### [MPLS] のビュー

ビューのタイトル	説明
LSRインベントリ	NNM iSPI for MPLSによって管理されているすべてのMPLS対応ルーターを一覧表示します。
L3 VPNインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべてのレベル3 (L3) 仮想プライベートネットワーク (VPN) を一覧表示します。
MVPNインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべてのマルチキャスト仮想プライベートネットワーク (MVPN) を一覧表示します。
VPLS VPNインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべての仮想プライベートLANサービス (VPLS) 仮想プライベートネットワーク (VPN) を一覧表示します。
VPWS VPNインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべての仮想プライベートワイヤサービス (VPWS) 仮想プライベートネットワーク (VPN) を一覧表示します。
Pseudowire VCインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべてのPseudowire仮想回路 (VC) を一覧表示します。
TEトンネルインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべてのトラフィックエンジニアリング (TE) トンネルを一覧表示します。
モニタリング対象LSPインベントリ	ネットワーク上のすべてのモニタリング対象MPLSラベルスイッチパス (LSP) を一覧表示します。
SDPインベントリ	ネットワーク上で使用できるすべての通信サービスデリバリープラットフォーム (SDP) を一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [IPマルチキャスト] のビュー

HP Network Node Manager iSPI for IP Multicast Software (NNM iSPI for IP Multicast) が必要です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

[IPマルチキャスト] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI for IP Multicastをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI for IP Multicastがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[配備されている HP NNM iSPIソフトウェア] セクションにIP Multicast SPIが表示されていれば、NNM iSPI for IP Multicastがインストールされています。

NNM iSPI for IP Multicastによって追加されたこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [iSPI for IP Multicastのヘルプ] をクリックしてください。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

### [IPマルチキャスト] のビュー

ビューのタイトル	説明
IPマルチキャストノード	ネットワーク上のマルチキャスト対応ノードを一覧表示します。
IPマルチキャストインタフェース	ネットワーク上のPIMインタフェースを一覧表示します。
IPマルチキャストフロー	ネットワーク上のマルチキャストトラフィックフローを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、[次を参照してください](#)。

## [品質保証] のビュー

HP Network Node Manager iSPI Performance for Quality Assurance Software (NNM iSPI

Performance for Quality Assurance) が必要です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

[品質保証] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。このワークスペースは、NNM iSPI Performance for QAをインストール後にのみ表示できます。

NNM iSPI Performance for QAがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[配備されている HP NNM iSPIソフトウェア] セクションにNNM iSPI Performance for Quality Assuranceが表示されていれば、NNM iSPI Performance for QAがインストールされています。

NNM iSPI for IP Multicastによって追加されたこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [iSPI Performance for QAのオペレーター用のヘルプ] をクリックしてください。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

#### [品質保証] のビュー

ビューのタイトル	説明
プローブ	ネットワーク上に検出されたすべての品質保証プローブを一覧表示します。
危険域プローブ	危険状態にあるすべての品質保証プローブを一覧表示します。
しきい値例外プローブ	しきい値違反が発生したすべての品質保証プローブを一覧表示します。
ベースライン例外プローブ	ベースライン例外が発生したすべての品質保証プローブを一覧表示します。
QoSインタフェース	QoSポリシーが設定されているすべての検出されたインタフェースを一覧表示します。
QoSポリシー	インタフェース上で設定されているすべてのQoSポリシーを一覧表示します。
QoSアクション	特定のトラフィックフローおよびポリシーに基づいてインタフェースに適用されているQoSアクションの詳細を一覧表示します。

### [品質保証] のビュー (続き)

ビューのタイトル	説明
QoSインタフェースしきい値例外	アクションがしきい値を超えたQoSインタフェースを一覧表示します。
QoSアクションしきい値例外	しきい値を超えたQoSアクションを一覧表示します。
pingレイテンシペア	iSPI管理者によって設定されたping遅延ペアを一覧表示します。
QAグループ	iSPI管理者によって設定されたQAグループを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## [トラフィック分析] のビュー

HP Network Node Manager iSPI Performance for Traffic Software (NNM iSPI Performance for Traffic) が必要です。詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

[トラフィック分析] ワークスペースでは以下のビューを使用できます。NNM iSPI Performance for Trafficをインストールしないと、このワークスペースを表示できません。

NNM iSPI Performance for Trafficがインストールされていることを確認するには、以下の手順を実行します。

1. メニューツールバーの[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。
2. [システム情報] ポップアップで、[拡張] タブに移動します。[配備されている HP NNM iSPIソフトウェア] セクションにNNM iSPI Performance for Trafficが表示されていれば、NNM iSPI Performance for Trafficがインストールされています。

NNM iSPI Performance for Trafficによって追加されたこれらのビューの詳細については、[ヘルプ] > [NNM iSPI用のヘルプ] > [NNM iSPI Performance for Traffic] をクリックしてください。

**注:** 説明されているワークスペースおよびビューは、以下の要素に応じて一部またはすべてが表示されます。

- 割り当てられたNNMiセキュリティグループのマッピング。
- 現在インストールされているHP Network Node Manager i Smart Plug-inソフトウェア。
- NNMi管理者は、他のアプリケーションをNNMiに統合できます。したがって、NNMiオンラインヘルプで説明されていないものが表示される場合があります。説明にない追加の項目について質問がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

### [トラフィック分析] のビュー

ビューのタイトル	説明
トラフィックレポートノード	トラフィックデータをエクスポートできるフローコレクタインタフェースをホストしているノードを一覧表示します。
しきい値例外レポートノード	しきい値例外が発生したトラフィックデータレポートノードを一覧表示します。
トラフィックレポートインタフェース	トラフィックデータをエクスポートできるフローコレクタインタフェースを一覧表示します。
しきい値例外レポートインタフェース	しきい値例外が発生したトラフィックデータレポートインタフェースを一覧表示します。
トラフィックサイト	iSPI管理者がNNM iSPI Performance for Traffic設定コンソールを使用して定義したサイトを一覧表示します。

ワークスペースの詳細については、次を参照してください:

## 第6章: ビューを使用してデータを表示する


ビューは、データを表示するための基本的な仕組みです。コンソールの中では、ネットワークを視覚化するのに役立つさまざまなビューを使用できます。

### NNMiコンソールにおけるビューのタイプ





ビューのタイプ	長所
テーブルビュー	オブジェクトのリストに対して、ソートされた順序でサマリー情報を表示します。たとえば、ステータスでソートされ、ライフサイクル状態でフィルタリングされたインシデントのリストを表示することができます。
マップビュー	オブジェクト間の関係を図示します。
ダッシュボードビュー	パネル形式で一目で理解できるデータを表示します。

ビューにアクセスするには、[ワークスペース](#)を選択し、表示するビューをクリックします。ビューによってはコンソールの[\[アクション\]](#)メニューからもアクセスできるものもあります。詳細については、「[アクションを使用したタスクの実行](#)」(150ページ)を参照してください。

テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[\[アクション\]](#)メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

**注:**一部のNNMiユーザーは(割り当てられたNNMiロールに応じて)、ノードその他のオブジェクトをNNMiデータベースから削除することができます。 [\[リフレッシュ\]](#)アイコンを使用してマップがリフレッシュされるまで、削除されたノードはすべてのNNMiユーザーに対して透明なアイコンで表示されます。リフレッシュすると、削除されたノードはマップから除去されます。NNMiは、[\[検出の初期進行状態\]](#)と[\[ネットワークの概要\]](#)マップを除き、マップビューで接続性またはノード集合を自動的にリフレッシュしません。

ビューからは、以下のことを実行できます。

- [「複数オブジェクトを選択する」](#)(65ページ)
- [「ビューをリフレッシュする」](#)(66ページ) 
- [「マップのノードステータスをリフレッシュする」](#)(125ページ) 
- [「ビューの定期的なリフレッシュを停止する」](#)(76ページ) 
- [「ビューツールバーの使用」](#)(132ページ)によって、新しいウィンドウでビューを表示する 
- [「アクションを起動する」](#)(13ページ)

割り当てられたNNMiロールによって、ビューから一部のオブジェクトのインスタンスの作成や削除を行うことができるかどうかが決まります。詳細については、[ヘルプ] > [管理者用のヘルプ] を参照してください。

#### 関連トピック

[「ダッシュボードビューを使用する」\(67ページ\)](#)

[「テーブルビューを使用する」\(72ページ\)](#)

[「マップビューを使用する」\(98ページ\)](#)

## 複数オブジェクトを選択する

テーブルビューまたはマップビューを使用して、複数のオブジェクトの選択および選択解除を行うことができます。この機能は、詳細にアクセスしたり、ノード、IPアドレス、またはインターフェースなどの複数のオブジェクトにアクションを起動する場合に便利です。

#### テーブルビュー内の複数オブジェクト

**ヒント:** 各テーブルビューのステータスバーを調べ、現在選択されているオブジェクトの数およびビューの中のオブジェクトの合計数を確認します。

#### テーブルビューで複数のオブジェクトを選択するには

選択する各オブジェクトの行を [Ctrl] キーを押しながらクリックして選択します。

#### テーブルビューの中でオブジェクトを選択解除するには

選択解除する各オブジェクトの行をもう一度選択します。

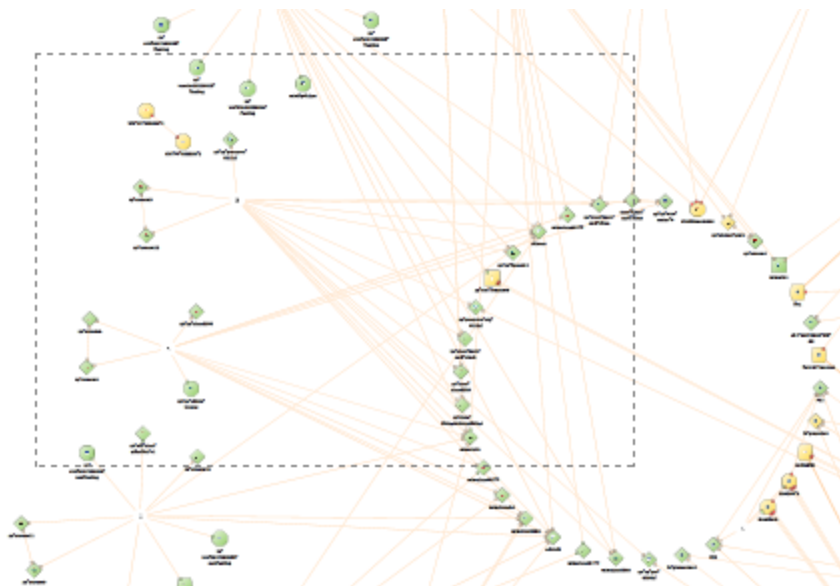
#### マップビュー内の複数オブジェクト

#### マップビューで複数のオブジェクトを選択するには

以下のいずれかを行います。

- マップ上で、[Ctrl] キーを押しながら目的の各オブジェクトをクリックして選択します。
- マウスを左クリックして、選択するマップのエリア上にカーソルをドラッグします。この方法を使用すると、NNMiは以下の例に示すように、点線 (またはゴムバンド) で選択エリアを示します。





選択した各オブジェクトが変化して、選択されたことを示します。

マップビューの中でオブジェクトを選択解除するには

マップ上で、目的のオブジェクトをもう一度選択します。

選択解除した各オブジェクトは、マップ上で通常に戻ります。


#### 関連トピック


[「テーブルのすべての行を選択する」\(74ページ\)](#)


## ビューをリフレッシュする

ビューは、いつでも手動でリフレッシュして最新の情報セットを表示できます。各ビューについてNNMIが設定した自動リフレッシュレートを変更することはできません。

ビューのリフレッシュを実行するには、以下のいずれかの操作を行います。

- 任意のビューを表示してから、[ビュー] > [リフレッシュ] メニュー項目を選択します。
- テーブルビューをリフレッシュするには、テーブルビューの  [更新] アイコンをクリックします。

テーブルビューステータスバーには、リフレッシュレートおよびリフレッシュレートが有効か無効かが表示されます(無効な場合、 [リフレッシュ] アイコンをクリックすると、定期的なリフレッシュが有効になります)。

- マップビューをリフレッシュするには、マップビューのツールバーで  [リフレッシュ] アイコンをクリックして、ノードの配置、追加ノード、削除ノードにおける変更内容を更新します。

マップ上のノードのステータスをリフレッシュするには、「[マップのノードステータスをリフレッシュする](#)」(125ページ)を参照してください。

#### 関連トピック

[「ビューの定期的なリフレッシュを停止する」\(76ページ\)](#)

## ダッシュボードビューを使用する

NNMiは、ダッシュボードタイプに応じてネットワーク全体、特定のオブジェクト(ノード、インタフェースなど)、またはオブジェクトのグループ(ノードグループ、インタフェースグループなど)に関するデータを複数パネルで表示するダッシュボードビューを備えています。

ダッシュボードビューの情報は一目で理解できる状態になっているため、必要な情報を容易に比較し、素早く特定できます。ダッシュボードパネルには表やグラフがあり、一部はカスタマイズできます。詳細については、[「ダッシュボードビューをカスタマイズする」\(68ページ\)](#)を参照してください。

ダッシュボードビューには、次に示す2つのタイプがあります。

- [「\[ダッシュボード\] ワークスペースで利用可能なビュー」\(28ページ\)](#):  
これらのビューには、このNNMi管理サーバーにより管理され、ログインユーザーが属するセキュリティグループにより制限されるオブジェクトのセット全体を範囲とする情報が表示されます。
- [「オブジェクトに基づくダッシュボードビュー」\(67ページ\)](#):  
これらのビューには、選択したオブジェクトを範囲とする情報が表示されます。これらは、ログインユーザーが属するセキュリティグループによって、さらに範囲設定されます。

ダッシュボードの詳細については、[次を参照してください](#)。

## [ダッシュボード] ワークスペースからダッシュボードビューを起動する

[ダッシュボード] ワークスペースからダッシュボードビューを起動するには、以下の手順を実行します。

1. ワークスペースのナビゲーションパネルで [\[ダッシュボード\]](#) ワークスペースをクリックします。
2. 目的のダッシュボードビューを選択します。詳細については、[「\[ダッシュボード\] ワークスペースで利用可能なビュー」\(28ページ\)](#)を参照してください。

ダッシュボードの詳細については、[次を参照してください](#)。

## オブジェクトに基づくダッシュボードビュー

オブジェクトに基づくダッシュボードビューには、選択したオブジェクトに関する豊富な情報が含まれています。ダッシュボードビューを使用すると情報が一目でわかるため、ネットワークの問題の調査と特定に必要な情報を容易に比較してすばやく識別できるようになります。

- ダッシュボードパネルには、グラフ、ゲージ、マップ、テーブルを含むものもあります。
- Smart Plug-in (iSPI) により、たとえばパフォーマンスデータなどのより多くのデータがダッシュボードに追加されます。詳細については、[「Smart Plug-in \(iSPI\) について」\(8ページ\)](#)を参照してください。

[「オブジェクトベースのダッシュボードビューを起動する」\(68ページ\)](#)には複数の方法があります。

- ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:

## オブジェクトベースのダッシュボードビューを起動する

オブジェクト固有のダッシュボードビューにアクセスするには複数の方法があります。

- テーブルビュー: テーブル内の任意の行を右クリックして、[ダッシュボードを開く]を選択します。
- マップビュー: 任意のマップオブジェクトを右クリックして、[ダッシュボードを開く]を選択します。
- フォームの分析パネル: グラフの凡例内の下線が付いた項目のいずれかをクリックして、その選択したオブジェクト固有のカスタマイズされたダッシュボードビューを起動します。
- ダッシュボードパネル: グラフの凡例内の下線が付いた項目のいずれかをクリックして、その選択したオブジェクト固有のカスタマイズされたダッシュボードビューを起動します。

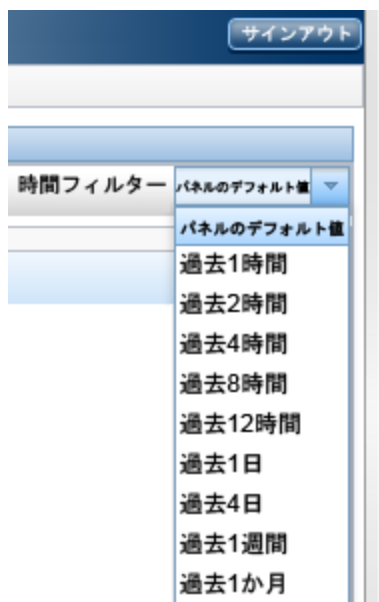
Smart Plug-in (iSPI) により、より多くの情報 (ノードおよびインターフェース用のパフォーマンスデータなど) がダッシュボードに追加されます。詳細については、「[Smart Plug-in \(iSPI\) について](#)」(8ページ)を参照してください。

ヒント: ダッシュボードの表示後は、タイトルバーの階層リンクから前画面に戻ることができます。


- ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:

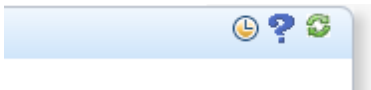
## ダッシュボードビューをカスタマイズする

ダッシュボードビューの一部のパネルは、ダッシュボードビューの右上隅の[期間フィルター]ドロップダウンを使用して特定の期間に対してフィルターできます。



**注:** この [期間フィルター] ドロップダウンは、期間フィルタリングをサポートしているパネルがない場合には、ダッシュボードビューに表示されません。

期間フィルター設定を認識するすべてのパネルには、ダッシュボードビュー上部の [期間フィルター] ドロップダウンで現在選択されている期間に応じてデータが表示され、パネルのツールバーの右上隅に  アイコンが表示されます。



デフォルトでは、これらのパネルに過去4時間のデータが表示されます。

ダッシュボードビューは、以下の方法でカスタマイズできます。

- 「[グラフをカスタマイズする](#)」(69ページ)
- 「[ダッシュボードパネルを最小化または復元する](#)」(71ページ)

ダッシュボードの詳細については、[次を参照してください](#)。

## グラフをカスタマイズする

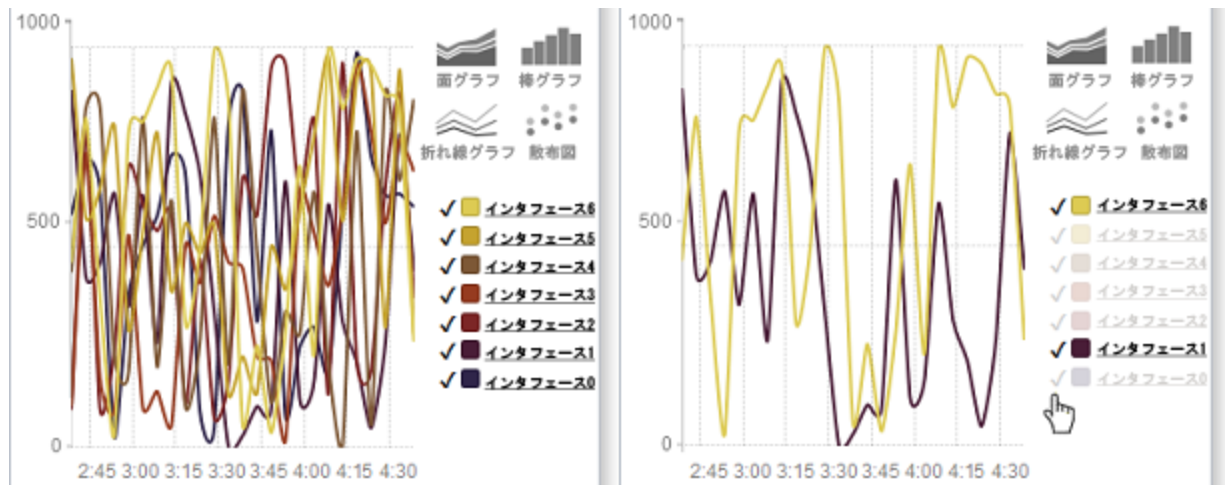
一部のダッシュボードパネルには、カスタマイズ可能な面グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ、または散布図が表示されます。パネルの右上部分にある次に示すいずれかのコントロールをクリックして、グラフのタイプを変更します (面グラフ、棒グラフ、折れ線グラフ、散布図から選択します)。



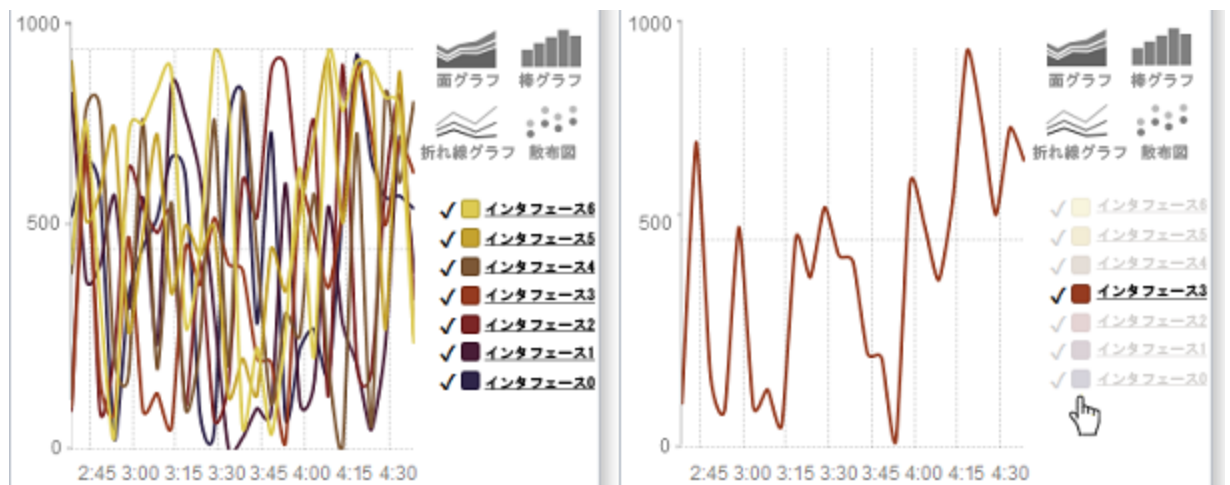
グラフをカスタマイズするには、以下の手順を実行します。

**ヒント:** グラフの凡例内の下線が付いた項目をクリックすると、そのオブジェクト固有の新しいダッシュボードが起動します。

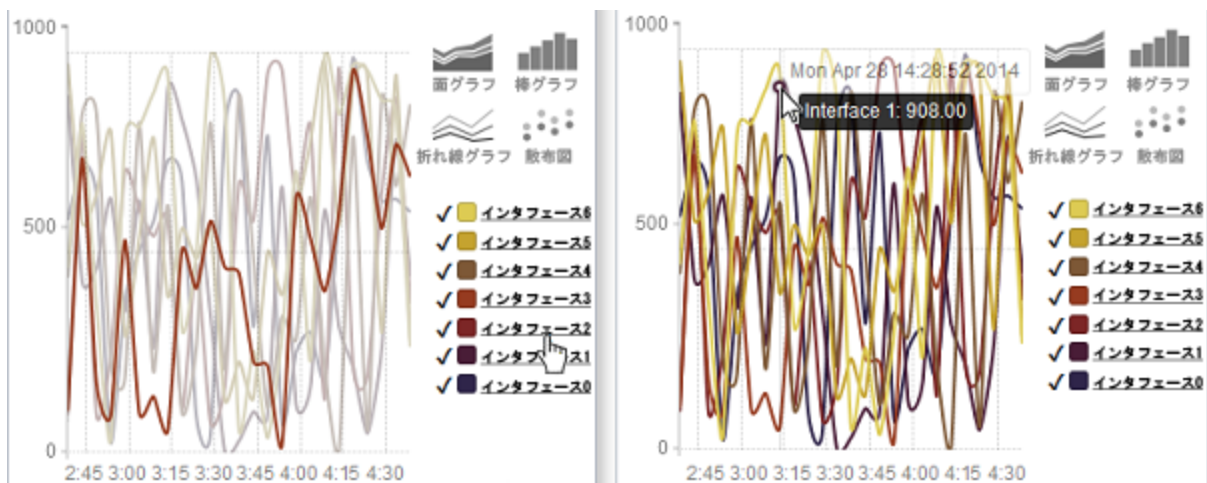
- グラフの凡例内のチェックマークをクリックすると、オブジェクトのサブセットが  表示または  非表示になります。



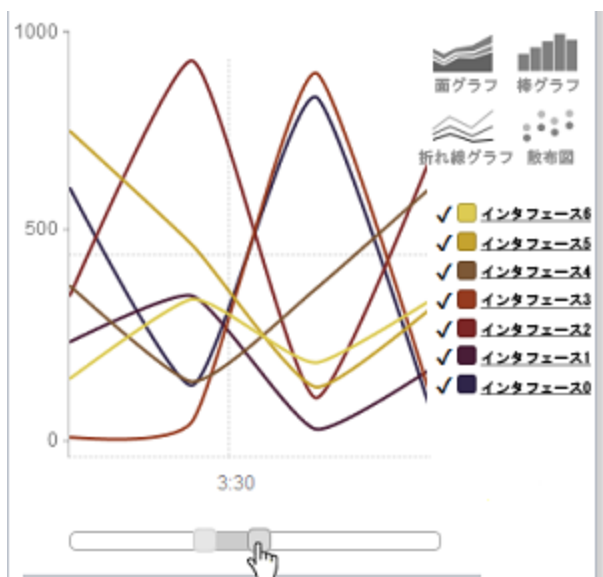
- **■** グラフの凡例内の色タイルをクリックすると、即座に特定の1つのオブジェクトのみの表示になります。



- カーソルを合わせることによってもカスタマイズできます。
  - コンポーネントリストにカーソルを合わせると、即座に特定の1つのコンポーネントのデータが表示されます。
  - グラフにカーソルを合わせると、特定の時間における特定の値が表示されます。



- グラフの下にある時間見出し下のスライダー上のボタンをクリックおよびドラッグすると、特定の期間のみが表示されます。

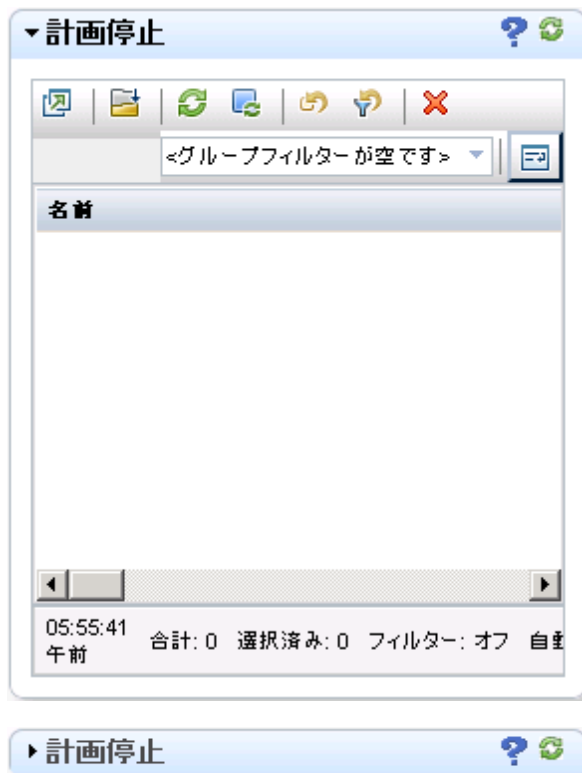


ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:

## ダッシュボードパネルを最小化または復元する

パネルのタイトルバーの左上隅にある▼ボタンをクリックすると、ダッシュボードパネルを最小化できます。

パネルのタイトルバーの左上隅にある▶ボタンをクリックすると、ダッシュボードパネルを復元できます。



ダッシュボードの詳細については、次を参照してください:

## テーブルビューを使用する

テーブルビューではデータが表形式で表示されます。各行には、1つのオブジェクトに関するデータが表示されます。行が1つの画面に収まらない場合は、スクロールバーを使用してテーブルビューをスクロールできます。

テーブルがテーブルに設定された上限を超える行数を持つ場合は、テーブルビューをフィルタリングして行数を減らします。テーブルの行数が設定された上限を超えたことをNNMiによって示す方法の詳細については、「[ビューツールバーの使用](#)」(132ページ)を参照してください。テーブルビューをフィルタリングする方法は、「[テーブルビューをフィルタリングする](#)」(77ページ)を参照してください。

テーブルビューからは、ビュー表示パネルのツールバーでアクセスする機能に加えて、以下のタスクを実行できます。

- 「[列のサイズを変更する](#)」(73ページ)
- 「[列を非表示にする](#)」(73ページ)
- 「[列データをソートする](#)」(75ページ)
- 「[テーブルビューをフィルタリングする](#)」(77ページ)
- 「[テーブルデフォルトを復元する](#)」(94ページ)



- [「テーブル情報をエクスポートする」\(95ページ\)](#)
- [「アクションを起動する」\(13ページ\)](#)
- [「オブジェクト情報にアクセスする\(フォームおよび\[分析\]ペイン\)」\(12ページ\)](#)

以下のカスタマイズは、ブラウザーの複数セッションにわたって保存されます。

- 列の幅
- 非表示の列
- ソートされた列およびソート順序
- 列のフィルター
- クイックフィルターの値
- ノードまたはインタフェースグループのフィルター
- 期間フィルター(インシデント用)

保存可能なカスタマイズを含むテーブルの数についての詳細については、[「ビュー設定を制限する」\(97ページ\)](#)を参照してください。

## 列のサイズを変更する

マウスを使用して列のサイズを変更できます。

テーブル内の列のサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. サイズ変更アイコン(↔)が表示されるまで、列の端にマウスを重ねた状態にします。
2. 列の端を目的の幅にドラッグします。

### 関連トピック

[「列を非表示にする」\(73ページ\)](#)

[「列データをソートする」\(75ページ\)](#)

## 列を非表示にする

特定の列の情報をビューに表示する必要がなくなった場合には、指定した列を非表示にすることができます。

テーブル列を非表示にするには、次の操作を行います。



1. 目的の列を右クリックします。
2. [表示] を選択します。  
列名のリストが表示されます。
3. 非表示にする列の名前の前にあるチェックボックス  をクリックしてオフにします。

#### 関連トピック

[「非表示の列を表示する」\(74ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(73ページ\)](#)

[「列データをソートする」\(75ページ\)](#)

## 非表示の列を表示する

非表示の列を表示するには、以下の手順を実行します。

非表示のテーブル列を表示するには、以下の手順を実行します。

1. 目的の列を右クリックします。
2. [表示] を選択します。  
列名のリストが表示されます。
3. 表示する列の名前の前にあるチェックボックス  をクリックしてオンにします。

#### 関連トピック

[「列を非表示にする」\(73ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(73ページ\)](#)

[「列データをソートする」\(75ページ\)](#)

## テーブルのすべての行を選択する

テーブル内の行をすべて選択する場合:

テーブル内の行をすべて選択するには、次の操作を実行します。

1. テーブル内の任意の行を選択します。
2. 以下のいずれかを行います。
  - [CTRL] キーを押しながらAを押します。

- テーブルビューの任意の行を右クリックして、[すべて選択] を選択します。

3. テーブルビューデータが強調表示されます。

#### 関連トピック

[「テーブルビューをフィルタリングする」\(77ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(73ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(73ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(94ページ\)](#)

## 列データをソートする

列をソートすることで、テーブルの最上位に最も重要な情報を表示できます。たとえば、危険域にあるすべてのノードを表示したい場合などがあります。また、ノードの連絡情報を検索する必要がある場合もあります。

列でソートするには、次の操作を行います。

1. ソートの対象となる列のヘッダーまたはデータセルを右クリックします。
2. 列を昇順にソートするには、[ソート:] → [昇順] を選択します。
3. 列を降順にソートするには、[ソート:] → [降順] を選択します。

列データをソートする場合は、以下のことに注意してください。

- 列のヘッダーをクリックすると、その列の値についてソートを開始できます。列のヘッダーを再度クリックすると、ソートの方向が逆になります。
- HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)は、1つ以上の列でソートが無効になったテーブルビューを表示できます。
- 大量のデータを含むテーブル(たとえば、すべてのインタフェースまたはインシデントが表示されているテーブル)をソートしようとする、応答に時間がかかる場合があります。この場合は、ソートを実行する前に、まずテーブルの情報をフィルタリングし、対象となる値のみが含まれるようにすることをお勧めします。

#### ソートの詳細

テーブルの列をソートする場合は、以下のことに注意してください。

- 1度にソートできるのは、1列ヘッダーについてののみです。
- 大文字は、小文字とは別にソートされます。
- NNMiでは、辞書式順序を使用してテーブル列をソートする場合があります。このソートによって、数字を含むオブジェクトIDなどの文字列は馴染みのない順番にソートされる場合があります。たと

例えば、sysObjectIDデータタイプをソートする場合は、以下のような順序でソートされると予測されるかもしれませんが、

- 1.3.6.1.4.1.1
- 1.3.6.1.4.1.3
- 1.3.6.1.4.1.20

辞書式順序を使用すると、これらのシステムオブジェクトIDの値は、以下のようにソートされます。

- 1.3.6.1.4.1.1
  - 1.3.6.1.4.1.20
  - 1.3.6.1.4.1.3
- ステータスおよびifTypeなど、テーブルの列の中にはアルファベット順とは異なる自然なソート順を持つデータタイプがあります。これらの列をソートする場合、アルファベット順ではなく自然な順序または事前決定された順序に従って値がソートされます。たとえば、ステータス列をソートした場合、以下の順序 (昇順) あるいは逆の順序 (降順) で表示されます: **危険域、重要警戒域、警戒域、注意域、認識不能、無効、正常域**、およびステータスなし。
  - ソートの選択は、ユーザーセッションにわたって保存されます。

#### 関連トピック

[「テーブルビューをフィルタリングする」\(77ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(73ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(73ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(94ページ\)](#)

[「テーブルのすべての行を選択する」\(74ページ\)](#)


## ビューの定期的なリフレッシュを停止する

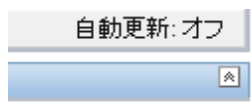
テーブルビューに表示される項目のグループに対する定期的なリフレッシュは、いつでも手動で停止できます。


**注:** このグループのオブジェクトのステータスは、常に定期的に変更されます。そのため、更新が停止されるのは、NNMiデータベースに対して追加または削除されるネットワークオブジェクトのみです。

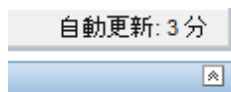
NNMiのステータスバーには、リフレッシュレートおよびリフレッシュレートが無効にされたかどうかが表示されます。

テーブルビューの定期的なリフレッシュを停止するには、次の操作を行います。

1.  [X周期のリフレッシュを停止] アイコンをクリックします。NNMiコンソールの右下には、次のメッセージが表示されます。



2. 更新レートを再起動する場合は、ビュー表示パネルのツールバーにある  [リフレッシュ] アイコンをクリックします。NNMiコンソールの右下には、次のメッセージが表示されます。



**注:** リフレッシュレートは変更できません。NNMiは、各ビューに対してデフォルトのレートを設定します。

#### 関連トピック

[「ビューをリフレッシュする」\(66ページ\)](#)

## テーブルビューをフィルタリングする

テーブルビューを使用するときは、オブジェクトの属性値の1つを使ってビューをフィルタリングすることで、表示される情報の量を減らせます。たとえば、アクセス対象を、ステータスが**危険域**にあるインシデントだけにしたり、説明が**インタフェース停止中**であるインシデントだけにしたりすることができます。

テーブルビューのフィルタリングは、テーブルがテーブルに設定された上限を超える行数を持つときに、行数を減らす場合にも役立ちます。テーブルの行数が設定された上限を超えたことをNNMiによって示す方法の詳細については、[「ビューツールバーの使用」\(132ページ\)](#)を参照してください。

初めにビューが表示されると、NNMiが提供するビュー定義に基づいてフィルタリングされた列のセットが表示されます。

**注:** ビューステータスバーには、そのビューで1つ以上のフィルターが設定されているかどうかが表示されます。[フィルター: オン] は、1つ以上のフィルターが設定されていることを意味します。これらのフィルターは変更できます。ビューの中には、NNMiが工場で設定され変更できないフィルターを提供するものもあります。たとえば、[自分の未解決インシデント] ビューは、[割り当て先] 属性でフィルタリングされますが、これは変更できません。[フィルター: オフ] は変更可能なフィルターがビューに設定されていないことを意味します。これらのビューには、工場で設定されたフィルターがある場合があります。

フィルターを指定する際には、以下のような操作を行うことができます。

#### ドロップダウンリスト選択フィルター

- 「ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルタリングする」(79ページ)
- 「期間でフィルタリングする (インシデントビューのみ)」(82ページ)

### 列選択フィルター

- 「属性値でフィルタリングする」(82ページ)
- 「テーブルビューフィルターを変更する」(89ページ)
- 「フィルターを削除する」(92ページ)
- 「デフォルトフィルターの復元」(93ページ)
- 「現在のフィルター設定を表示する」(93ページ)

フィルターを使用する際には、以下のことに注意してください。

- フィルタリングは、テーブル中の複数の列に対して行うことができます。このようなフィルターは、各列に対するフィルターの論理積として扱われます。
- HP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)は、1つ以上の列でフィルタリングが無効になったテーブルビューを表示できます。
- 時間の値を表す列をフィルタリングするとき、NNMiはミリ秒に合わせます (たとえば、**最後の発生**)。つまり、ミリ秒に一致する時刻のみがビューに含まれます。包含する時間値の範囲を広げる場合は、フィルターオプション [以下] または [以上] の使用を試みてください。
- NNMiでは、フィルターの操作やオプションに、データタイプごとに制限があります。属性のデータタイプに当てはまるフィルターオプションのみが表示されます。次表では、データタイプおよび有効なフィルターオプションを説明します。
- 表示されるフィルターオプションの部分集合は、データセル、列ヘッダー、空白行のいずれをクリックするかによって変化します。データセルのフィルターメニューには、選択したデータセルの値を使用するフィルターだけが表示されます。

### 利用可能なフィルターオプション

データタイプ	有効なフィルターオプション
すべてのデータタイプ	この値に等しい この値と等しくない 詳細については、「属性値でフィルタリングする」(82ページ)を参照してください。
テキスト (文字列) 数値 列挙リスト	フィルターの作成...

#### 利用可能なフィルターオプション (続き)

データタイプ	有効なフィルターオプション
IPアドレス 日付と時刻	
論理データ型	trueである falseである
数値 (整数、IPアドレス、および日付)	この値以上 この値以下 詳細については、「 <a href="#">属性値でフィルタリングする</a> 」(82ページ)を参照してください。

#### 利用可能な追加フィルターオプション

データタイプ	有効なフィルターオプション
グループフィルター	ビュー表示パネルのツールバーの中に表示される、利用可能なノードおよびインタフェースのドロップダウンメニューです。  <a href="#">グループフィルターの詳細については、「ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルタリングする」(79ページ)</a> を参照してください。
クイックフィルター	ビュー表示パネルのツールバーの中に表示される、特定の属性として可能なあらゆる値のドロップダウンメニューを提供します。これらのドロップダウンメニューは、ビューの名前に「～別」が含まれるテーブルビューに対して表示されます。
期間フィルター	インシデントビュー内のビュー表示パネルのツールバーの中にドロップダウンメニューを提供します。このフィルターには、インシデントビューをフィルタリングすることができるさまざまな期間のリストが一覧表示されます。使用できる値は以下のとおりです: <b>過去5分間</b> 、 <b>過去1時間</b> 、 <b>過去8時間</b> 、 <b>過去1日間</b> 、 <b>過去3日間</b> 、 <b>過去1週間</b> 、 <b>過去1か月間</b> 、および <b>すべて</b> 。  詳細については、「 <a href="#">期間でフィルタリングする (インシデントビューのみ)</a> 」(82ページ)を参照してください。

## ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルタリングする

NNMiでは、ノードグループまたはインタフェースグループでテーブルビューをフィルタリングできます。たとえば、重要なCiscoルーターすべてを表示したり、ネットワーク内のすべてのVoice-Over-IPインタフェースを表示できます。

NNMi管理者がこれらのグループを作成します。これらのグループは、以下に示すように、ビューツールバーの「**グループセレクト**」ドロップダウンメニューリストにリストされています。

<ノードまたはインタフェースグループのフィルタの設定> ▼

ノードグループのフィルターは、次のビューで使用できます。

- [ノード] ビュー
- [インタフェース] ビュー
- [IPアドレス] ビュー
- [インシデント] ビュー
- [ノードセンサー] ビュー
- [物理センサー] ビュー

インタフェースグループのフィルターは、以下のビューで使用できます。

- [インタフェース] ビュー
- [IPアドレス] ビュー
- [カード] ビュー

ノードまたはインタフェースグループでビューをフィルタリングするには、次の操作を行います。

1. 目的のビューに移動します。
  - a. [ワークスペース] ナビゲーションパネルで、[インベントリ] などのような、使用するビューを含むワークスペースを選択します。
  - b. たとえば [インタフェース] のように、目的のビューを選択します。
2. <ノードまたはインタフェースグループのフィルタの設定> ▼ グループセレクタードロップダウンリストから、フィルターとして使用するノードグループまたはインタフェースグループを選択します。

ノードグループまたはインタフェースグループを使用する場合は、以下のことに注意してください。

- デフォルトでは、テーブルビューはノードグループまたはインタフェースグループではフィルタリングされません。
- ビューがノードグループとインタフェースグループの両方でフィルターできる場合、選択ボックスのリストには、まずノードグループ、次にインタフェースグループが表示されます。各リストはアルファベット順で表示されます。
- フィルターが適用されると、ビューは自動的に更新され、適切なオブジェクトのセットが表示されます。
- ノードグループまたはインタフェースグループフィルターを設定する場合、NNMiでは、グループフィルターと他のフィルターとをANDブール演算子で結合します。

- グループフィルターをクリアするには、選択値を「<ノードグループのフィルターの設定>」または「<ノードまたはインタフェースグループのフィルターの設定>」に戻します。

#### 関連トピック

[「属性値でフィルタリングする」\(82ページ\)](#)

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(89ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(92ページ\)](#)

[「デフォルトフィルターの復元」\(93ページ\)](#)

[「現在のフィルター設定を表示する」\(93ページ\)](#)

## ノードグループおよびインタフェースグループについて


ネットワークをモニタリングする際には、特定のノードまたはインタフェースのセットに関する情報だけを表示することができます。ネットワーク管理者は、ノードまたはインタフェースのセットをグループ化して、ノードグループまたはインタフェースグループにすることができます。ノードグループには、たとえば重要なCiscoルーターすべて、あるいは特定のビル内にある全ルーターのグループなどがあります。また、Voice-Over-IPに使用するインタフェースをすべて、ネットワーク内でグループ化することもあります。

管理者は、以下のいずれかに基づいてノードグループを設定します。

- ベンダーまたはモデルSNMPオブジェクトID。
- 名前またはIPアドレスで識別される特定のデバイス。
- ノードグループを定義するためのワイルドカード文字で識別されるデバイス。組織で決められた命名方法に基づいてグループ化を行うこともできます。

**注:** ノードグループでは、NNMiがネットワークデバイスをモニタリングする方法を制御することもできます。たとえば管理者は、各グループに対して、固有の稼働状態のモニタリング間隔を設定することができます。

グループの定義を表示できます。


- **ノードグループの定義**
  - a. ワークスペースのナビゲーションパネルで[インベントリ]ワークスペースを選択します。
  - b. [ノードグループ]ビューを選択します。
  - c. ノードグループを表す行をダブルクリックします。
  - d. [ノードグループ]フォームが表示されます。
  - e. 終了した後、 [閉じる] アイコンをクリックします。



- **インタフェースグループの定義**

- a. ワークスペースのナビゲーションパネルで [インベントリ] ワークスペースを選択します。
- b. [インタフェースグループ] ビューを選択します。
- c. インタフェースグループを表す行をダブルクリックします。
- d. [インタフェースグループ] フォームが表示されます。

インタフェースグループの定義は、チームが重要なネットワークデバイスを識別する方法と一致しています。各インタフェースグループには1つ以上のインタフェースタイプを指定することができます (業界標準のIANA ifType-MIB変数に基づく)。

- e. 終了した後、 [閉じる] アイコンをクリックします。

ノードグループビューとインタフェースグループには、特殊なアクションが用意されています。「[アクションを使用したタスクの実行](#)」を参照してください。

## 期間でフィルタリングする (インシデントビューのみ)

インシデントビューでは、期間によってビューをフィルタリングできます。期間によるフィルターを使用してフィルタリングを行うと、興味のある最新のインシデントに集中することができます。使用できる期間は次のとおりです。

- 過去5分間
- 過去1時間
- 過去8時間
- 過去1日間
- 過去3日間
- 過去1週間
- 過去1か月間
- すべて

注: ひと月は31日として定義されています。

## 属性値でフィルタリングする

属性 (列) の値に基づいてフィルターを指定する場合、オブジェクトインスタンス内の値を選択して値を指定することが必要なフィルターオプションや、[フィルターの作成 ...] ダイアログを開いて値を指定することが必要なフィルターオプションを使用します。属性に値が含まれるか否かに基づいてフィルターを指定することもできます。

- [「フィルター値を選択する」\(83ページ\)](#)
- [「値を指定するためのフィルターを作成する」\(84ページ\)](#)
- [「NULL値のフィルターを使用する」\(88ページ\)](#)

## フィルター値を選択する

以下のフィルターオプションは、フィルタリングの対象として属性値を必要とします。

**注:** 以下にリストしたフィルターオプションを使用する場合は、最初に、フィルタリングするテーブル内の値を右クリックします。

### フィルター設定

フィルターオプション	説明
この値に等しい	NNMiは、指定した属性値を含むインスタンスのみを表示します。
この値と等しくない	NNMiは、属性値に、指定した値を含まないインスタンスのみを表示します。 このフィルターには複数の値を指定できますが、一回のオプション選択で入力できる値は1つだけです。  <b>注:</b> 特定の属性では、このオプションによって「空白」またはnullの値をフィルタリングすることもできます。
この値以上	NNMiは、指定した値以上の属性値を含むインスタンスのみを表示します。
この値以下	NNMiは、指定した値以下の属性値を含むインスタンスのみを表示します。
trueである	NNMiは、属性値に値 <b>true</b> を含むインスタンスのみを表示します。
falseである	NNMiは、属性値に値 <b>false</b> を含むインスタンスのみを表示します。

フィルターはいつでも変更できます。NNMiは、ユーザーごとにフィルター設定を保存するため、指定したフィルター設定は後続のユーザーセッション中も保持されます。Webブラウザごとに、カスタマイズした設定を保存できるテーブルの数についての詳細については、[「ビュー設定を制限する」\(97ページ\)](#)を参照してください。テーブルビューのカスタマイズした設定を削除する方法は、[「テーブルデフォルトを復元する」\(94ページ\)](#)を参照してください。

テーブル内の属性値を選択してビューをフィルタリングするには、次の操作を行います。

1. フィルタリングの対象となる属性値を右クリックします。
2. 以下のフィルターオプションの中から1つ選択します。

- この値に等しい
- この値と等しくない
- この値以上
- この値以下
- trueである
- falseである

NNMiは、指定または選択したフィルターオプションおよび属性値に基づいて選択された、全インスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルタリングが行われた各列は、▼ [フィルター] アイコンによって示されます。

#### 関連トピック

[「NULL値のフィルターを使用する」\(88ページ\)](#)

## 値を指定するためのフィルターを作成する

NNMiを使用すると、フィルタリングの対象となる属性値を設定できます。属性値は、以下のタイプの値のフィルターを作成することによって設定します。

- テキスト (文字列)
- 数値
- 列挙リスト
- IPアドレス
- 日付と時刻

1つ以上の値を指定して情報をフィルタリングするには、次の操作を行います。

1. フィルタリングの対象となる列または属性の列を右クリックします。
2. [フィルターの作成...]を選択します。

NNMiは、選択した列のデータ型に対応する [フィルター] ダイアログを表示します。

3. 表示される [フィルターの作成...]ダイアログで、以下の手順を実行します。
  - a. フィルターオプションを選択します ([「フィルターオプション」表](#)を参照)。
  - b. 有効な値を1つ以上指定します ([「有効なフィルターの値」](#)を参照)。

NNMi管理者で、ユーザー名の情報の格納にLightweight Directory Access Protocol (LDAP)を使用している場合、NNMiでは設定済みの表示名がインシデントの[割り当て先]列に表示されますが、ユーザーアカウントを識別するユーザー名は内部に保持されます。インシデントの[割り当て先]列にフィルターを指定するには、以下のいずれかの操作を行います。

- ユーザー名をフィルター値として指定します。
- フィルターを設定する[割り当て先]を右クリックします。この操作の後、[フィルター]>[この値に等しい]または[フィルター]>[この値と等しくない]を選択します。NNMiによって、保持されたユーザー名の値を使用してフィルターが作成されます。

NNMi管理者の場合、インシデントの[割り当て先]表示名を設定する際の詳細については、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。

#### 4. [適用]をクリックします。

NNMiは、指定または選択したフィルターオプションおよび属性値に基づいて選択された、全インスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルタリングが行われた各列は、▼[フィルター]アイコンによって示されます。

#### テキスト (文字列) フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
文字列で始まる	NNMiは、属性値が指定したテキスト文字列値で始まるインスタンスのみを表示します。  このオプションは、特定の文字列の値で始まるエントリの検索に使用します。たとえば、Cisco製のデバイスすべてがテキスト文字列「Cisco」で始まる場合に、すべてのCisco製のデバイスを検索するには、値の文字列「Cisco」を使用できます。
文字列を含む	NNMiは、属性値に、入力したテキスト文字列値を含むインスタンスのみを表示します。  文字列の値には、1つ以上の文字にマッチする、ワイルドカード文字 (*)を使用することができます。たとえば、c*mは以下の値にマッチします。  3com9000  callmgr1
文字列に一致する	NNMiは、属性値が入力したテキスト文字列値と一致するインスタンスのみを表示します。  疑問符 (?) は、1つの文字に一致させるために使用します。  アスタリスク (*) は、0個以上の文字にマッチする、ワイルドカード文字として使用しま

### テキスト (文字列) フィルターのオプション (続き)

フィルターオプション	説明
	す。
以下	NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも前にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。
以上	NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。

### 数値フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定した数値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、指定した数値を含まないインスタンスのみを表示します。  <b>注:</b> 特定の属性では、このオプションによって「空白」またはnullの値をフィルタリングすることもできます。
以上	NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。
以下	NNMiは、入力した数値以下のすべての値を表示します。

### 列挙リストフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、選択した値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、選択した値を含まないインスタンスのみを表示します。  <b>注:</b> 特定の属性では、このオプションによって「空白」またはnullの値をフィルタリングすることもできます。

### IPアドレスフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定したIPアドレス値を含むインスタンスのみを表示します。
範囲	NNMiは、指定したIPアドレス範囲内のインスタンスのみを表示します。
空である	NNMiは、この属性に対する値を含まないインスタンスのみを表示します。
空でない	NNMiは、この属性に対する値を含むインスタンスのみを表示します。

### 日付と時刻のフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
次の日時以降	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以降のインスタンスのみを表示します。
次の日時以前	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以前のインスタンスのみを表示します。
次の日時の間	NNMiは、日付と時刻の値が、最初に指定した日付と時刻より後で、2番目に指定した日付と時刻より前のインスタンスのみを表示します。  between演算子を使用するのは、指定した時間内または日数内のインスタンスをフィルタリングする場です。

### 有効なフィルターの値

データタイプ	説明
テキスト (文字列)	NNMiで検索する値を入力します。テキスト (文字列) フィルターは大文字と小文字を区別します。
数値	NNMiで検索する数値を入力します。複数の数値を入力する場合は、カンマで区切ったリストを入力します。
列挙リスト	列挙リストから1つ以上の値を選択します。
IPアドレス	2つのIPアドレスを「-」で区切るか、CIDR (Classless Inter-Domain Routing) 記法を使用して、IPアドレスまたはアドレス範囲を入力します。  IPv4の例: 10.168.0.1 - 10.168.13.1 10.2.120.0/21

### 有効なフィルターの値 (続き)

データタイプ	説明
	IPv6の例 (NNMi Advanced):  2001:d88:a00:: - 2001:d88:aff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff  2001:d88:0:a00::/56
日付と時刻	日付のみ、時刻のみ、あるいは日付と時刻で入力します。日付のみを入力する場合は、日が必要です。時刻のみを入力する場合は、分が必要です。  <b>注:</b> NNMiは、真夜中 (すなわち、0000時) から始まる24時間時計を使用します。たとえば、午前1時は0100時、午前2時は0200時、午後11時は2300時です。

### 関連トピック

[「フィルター値を選択する」\(83ページ\)](#)

[「NULL値のフィルターを使用する」\(88ページ\)](#)

## NULL値のフィルターを使用する

NNMiでは以下のフィルターオプションが備わっており、属性が値を含むか否かに基づいてビューをフィルタリングできます。以下のフィルターオプションは、値を必要としないデータ型に対して表示されます。

- 空でない
- 空である

NULL値に基づいてビューをフィルタリングするには、次の操作を行います。

1. フィルタリングの対象となる列または属性の値を右クリックします。
2. [下の表](#)で説明するフィルターオプションの中から選択します。
3. NNMiは、フィルターオプションおよび指定または選択した任意の属性値に基づいて選択された、すべてのインスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルタリングが行われた各列は、▼ [フィルター] アイコンによって示されます。

フィルターはいつでも変更できます。NNMiは、ユーザーごとにフィルター設定を保存するため、指定したフィルター設定は後続のユーザーセッション中も保持されます。

### フィルターの選択肢

フィルターオプション	説明
空でない	NNMiは、この属性に対する値を含むインスタンスのみを表示します。
空である	NNMiは、この属性に対する値を含まないインスタンスのみを表示します。

### 関連トピック

[「フィルター値を選択する」\(83ページ\)](#)

## テーブルビューフィルターを変更する

テーブルビューのフィルターはいつでも変更できます。NNMiは、ユーザーごとにフィルター設定を保存するため、指定したフィルター設定は後続のユーザーセッション中も保持されます。

フィルターを変更するには、次の操作を行います。

1. フィルタリングの対象となる列または属性の列を右クリックします。
2. **[フィルターの変更...]**を選択します。

以下のことに注意してください。

- 選択したテーブル列に対してフィルターを定義していない場合、**[フィルターの変更...]** オプションは表示されません。
  - **[この値と等しくない]** フィルターを使用した既存の属性値がある場合、追加属性値として**[この値とも等しくない]**を選択できます。
  - NNMiは、選択した列のデータ型に対応する**[フィルター]** ダイアログを表示します。テキスト (文字列) またはIPアドレスデータタイプの**[この値と等しくない]** オプションを使用してフィルターが作成された場合、NNMiは現在のフィルターの値を含めません。
3. 表示された**[フィルターの変更...]** ダイアログで、以下の手順を実行します。
    - a. フィルターオプションを選択します (**「フィルターオプション」表**を参照)。
    - b. 有効な値を1つ以上指定します (**「有効なフィルターの値」**を参照)。
  4. **[適用]** をクリックします。

NNMiは以前のフィルターを新しいフィルター値で置き換えます。NNMiは、指定または選択したフィルターオプションおよび属性値に基づいて選択された、全インスタンスのテーブルビューを表示します。

フィルタリングが行われた各列は、▼ **[フィルター]** アイコンによって示されます。



### テキスト (文字列) フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
文字列で始まる	<p>NNMiは、属性値が指定したテキスト文字列値で始まるインスタンスのみを表示します。</p> <p>このオプションは、特定の文字列の値で始まるエンTRIESの検索に使用します。たとえば、Cisco製のデバイスすべてがテキスト文字列「Cisco」で始まる場合に、すべてのCisco製のデバイスを検索するには、値の文字列「Cisco」を使用できます。</p>
文字列を含む	<p>NNMiは、属性値が入力したテキスト文字列値と一致するインスタンスのみを表示します。</p> <p>文字列の値には、ワイルドカード (*) を使用することもできます。</p> <p>ワイルドカードを指定しないと、フィルターオプションは入力した値の文字列に完全に一致する値を検索します。たとえば、以下の値のリストからCisco1デバイスのみを検索する場合は、値の文字列として「Cisco1」を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco1</li> <li>• Cisco12</li> <li>• Cisco123</li> </ul> <p>この例では、NNMiはCisco12およびCisco123は含みません。</p>
文字列に一致する	<p>NNMiは、属性値が入力したテキスト文字列値と一致するインスタンスのみを表示します。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注:</b> NNMiに* (アスタリスク)を照合させる場合以外は、文字列値内でアスタリスク(*)を使用しないでください。</p> </div>
以下	<p>NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも前にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。</p>
以上	<p>NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。</p>

### 数値フィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	<p>NNMiは、指定した数値を含むインスタンスのみを表示します。</p>
等しくない	<p>NNMiは、属性値に、指定した数値を含まないインスタンスのみを表示します。</p>
以上	<p>NNMiはアルファベット (辞書式) 比較を実行して、入力したテキスト文字列値よりも</p>

#### 数値フィルターのオプション (続き)

フィルターオプション	説明
	後にあるすべてのテキスト文字列値を表示します。
以下	NNMiは、入力した数値以下のすべての値を表示します。

#### 列挙リストフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、選択した値を含むインスタンスのみを表示します。
等しくない	NNMiは、属性値に、選択した値を含まないインスタンスのみを表示します。

#### IPアドレスフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
等しい	NNMiは、指定したIPアドレス値を含むインスタンスのみを表示します。
範囲	NNMiは、指定したIPアドレス範囲内のインスタンスのみを表示します。

#### 日付と時刻のフィルターのオプション

フィルターオプション	説明
次の日時以降	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以降のインスタンスのみを表示します。
次の日時以前	NNMiは、日付と時刻の値が、指定した日付と時刻以前のインスタンスのみを表示します。
次の日時の間	NNMiは、日付と時刻の値が、最初に指定した日付と時刻より後で、2番目に指定した日付と時刻より前のインスタンスのみを表示します。  between演算子を使用するのは、指定した時間内または日数内のインスタンスをフィルタリングする場合です。

#### 有効なフィルターの値

データタイプ	説明
テキスト (文	NNMiで検索する値を入力します。テキスト (文字列) フィルターは大文字と小文

### 有効なフィルターの値 (続き)

データタイプ	説明
文字列	字を区別します。
数値	NNMiで検索する数値を入力します。複数の数値を入力する場合は、カンマで区切ったリストを入力します。
列挙リスト	列挙リストから1つ以上の値を選択します。
IPアドレス	2つのIPアドレスを「-」で区切るか、CIDR (Classless Inter-Domain Routing) 記法を使用して、IPアドレスまたはアドレス範囲を入力します。  IPv4の例: 10.168.0.1 - 10.168.13.1 10.2.120.0/21  IPv6の例 (NNMi Advanced): 2001:d88:a00:: - 2001:d88:aff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff 2001:d88:0:a00::/56
日付と時刻	日付のみ、時刻のみ、あるいは日付と時刻で入力します。日付のみを入力する場合は、日が必要です。時刻のみを入力する場合は、分が必要です。  <b>注:</b> NNMiは、真夜中 (すなわち、0000時) から始まる24時間時計を使用します。たとえば、午前1時は0100時、午前2時は0200時、午後11時は2300時です。

### 関連トピック

[「ノード/インタフェースグループでテーブルをフィルタリングする」\(79ページ\)](#)

[「属性値でフィルタリングする」\(82ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(92ページ\)](#)

[「デフォルトフィルターの復元」\(93ページ\)](#)

[「現在のフィルター設定を表示する」\(93ページ\)](#)

## フィルターを削除する

NNMiでは、選択した列に対するフィルターはいつでも削除できます。

フィルターを削除するには、次の操作を行います。

1. フィルターを削除する列を右クリックします。
2. ドロップダウンメニューから **[フィルターの削除]** を選択します。

NNMiは、その列に設定されていた既存のフィルターをすべて削除します。

#### 関連トピック

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(89ページ\)](#)

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(89ページ\)](#)



[「デフォルトフィルターの復元」\(93ページ\)](#)

## デフォルトフィルターの復元

ビューのデフォルトフィルターは復元できます。このオプションは、現在のビューに定義したフィルターをすべて削除します。

**デフォルトのフィルター設定を復元するには、次の操作を行います。**

テーブルのツールバーで、 **[デフォルトフィルターの復元]** アイコンをクリックします。

**注:** フォーム内でテーブルを表示している場合は、 **[新しいウィンドウでビューを表示]** アイコンを使用してそのテーブルを新しいウィンドウで開き、 **[デフォルトフィルターの復元]** アイコンをクリックします。

すべてのフィルターがデフォルト値にリセットされ、現在のビューに対して作成したフィルターはすべて削除されます。

**注:** ビュー内で選択している内容はすべて失われます。

#### 関連トピック

[「現在のフィルター設定を表示する」\(93ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(92ページ\)](#)

## 現在のフィルター設定を表示する

作成したフィルターを把握するには、列に設定されたフィルターを列ベースで表示できます。

**列のフィルターを表示するには、次の操作を行います。**

目的の列にマウスを重ねます。

以下の例は、フィルターオプションおよびそのフィルターに入力された文字列を表わしています。

以下の表では、各フィルターオプションに使用される記号を説明しています。

### フィルターの定義

記号	フィルターオプション
<=	この値 以下
>=	この値 以上
=	この値 に等しい
NOT IN	この値 と等しくない
IS NULL	空である
IS NOT NULL	空でない
LIKE	文字列を含む... 文字列で始まる... 文字列に一致する...

注: パーセント記号 (%) は、ワイルドカード文字を表します。

### 関連トピック

[「デフォルトフィルターの復元」\(93ページ\)](#)

[「テーブルビューフィルターを変更する」\(89ページ\)](#)



[「テーブルビューフィルターを変更する」\(89ページ\)](#)

[「フィルターを削除する」\(92ページ\)](#)


## テーブルデフォルトを復元する

以下の表に記載されたような種類のテーブルビューのカスタマイズを削除することができます。カスタマイズが不要になった場合、または保存可能なカスタマイズの最大数に達した場合には、カスタマイズを削除してください。保存可能なカスタマイズを含むテーブルの数についての詳細については、「[ビュー設定を制限する](#)」(97ページ)を参照してください。

テーブルビュー設定の限界に達する恐れがある場合は、重要でないテーブルのビュー設定を削除します。

注:  [デフォルトフィルターの復元] アイコンは、フォーム内のテーブルビューには表示されません。フォームに表示されているテーブルビューから設定を削除する場合は、 [新しいウィンドウでビューを表示] アイコンを使用して新しいウィンドウでテーブルビューを開き、これらの操作を行います。

### デフォルトのテーブルビュー設定を復元

削除できるもの	方法	説明
テーブルビューフィルターののみ	ビュー表示パネルのツールバーから、  [デフォルトフィルターの復元] を選択します。	テーブルビューのフィルターへのすべてのカスタマイズを削除し、ビューをそのデフォルトフィルター設定でリフレッシュします。
すべてのテーブルビューに対するすべてのカスタマイズ	[ビュー] > [デフォルトのビュー設定をすべて復元] を選択します。	すべてのテーブルビューのカスタマイズに関するすべてのカスタマイズ (および cookie) を削除します。NNMi が cookie を使用してテーブルビューのカスタマイズを保存する方法の詳細については、「 <a href="#">ビュー設定を制限する</a> 」(97ページ) を参照してください。

### 関連トピック

[「テーブルビューをフィルタリングする」](#)(77ページ)

[「列を非表示にする」](#)(73ページ)

[「列のサイズを変更する」](#)(73ページ)

[「テーブルデフォルトを復元する」](#)(94ページ)

[「テーブルのすべての行を選択する」](#)(74ページ)

## テーブル情報をエクスポートする

テーブルビューの内容をエクスポートして他のアプリケーションで使用できます。選択した行のみをエクスポートするか、テーブル内のすべての行をエクスポートするかを選択できます。

**注:** テーブル情報をエクスポートするには、最低でもオペレーターレベル1のロールが必要です。

テーブル情報を印刷する場合は、以下のことに注意してください。

- テーブル情報の最初の列は、エクスポートされるバージョンには表示されません。この列の内容は、選択を目的としたものです。
- ホスト名のリストを得るなど、追加の編集や処理のために、テーブルデータをMicrosoft Excelなどの他のアプリケーションにコピー&ペーストすることができます。

選択したテーブルの行をエクスポートするには、以下の手順を実行します。

1. エクスポートする行を選択します (複数行選択可)。
2. 選択した行を右クリックします。
3. [CSVにエクスポート] を選択します。

[CSVにエクスポート] ダイアログが表示されます。

4. エクスポートデータにテーブル列見出しを含めるには、 [列ヘッダーを含める] チェックボックスをクリックしてオンにします。
5. NNMiは、日付と列挙値をローカライズ形式 (Jul 12, 2010 10:07 AM) と処理前の形式 (1278950859739) の両方で格納します。デフォルトでは、NNMiは日付と列挙値についてローカライズされた (人間が判読できる) 形式のみをエクスポートします。

日付と列挙値の両方についてローカライズされた (人間が判読できる) 形式のみを含めるには、**[ローカライズされた (人間が読める) データを使用]** オプションを選択します。

日付と列挙値の両方について処理前の (コンピューターが判読できる) 形式のみを含めるには、**[処理前の (コンピューターで読み取れる) データを使用]** オプションを選択します。
6. [**<ファイル名>を開く**] ダイアログで、以下のいずれかのオプションを選択します。
  - a. ファイルの内容を表示するには、**[プログラムから開く]** を選択します。
  - b. 指定したファイル名でファイルを保存するには、**[ファイルを保存]** を選択します。

テーブルのすべての行をエクスポートするには、以下の手順を実行します。

1. テーブル内の任意の列を右クリックします。
2. **[すべて選択]** をクリックします。
3. 行を右クリックします。
4. **[CSVにエクスポート]** を選択します。

[CSVにエクスポート] ダイアログが表示されます。

5. エクスポートデータにテーブル列見出しを含めるには、 [列ヘッダーを含める] チェックボックスをクリックしてオンにします。
6. NNMiは、日付と列挙値をローカライズ形式 (Jul 12, 2010 10:07 AM) と処理前の形式 (1278950859739) の両方で格納します。デフォルトでは、NNMiは日付と列挙値についてローカライズされた (人間が判読できる) 形式のみをエクスポートします。

日付と列挙値の両方についてローカライズされた (人間が判読できる) 形式のみを含めるには、**[ローカライズされた (人間が読める) データを使用]** オプションを選択します。

日付と列挙値の両方について処理前の (コンピューターが判読できる) 形式のみを含めるには、**[処理前の (コンピューターで読み取れる) データを使用]** オプションを選択します。
7. [**<ファイル名>を開く**] ダイアログで、以下のいずれかのオプションを選択します。
  - a. ファイルの内容を表示するには、**[プログラムから開く]** を選択します。
  - b. 指定したファイル名でファイルを保存するには、**[ファイルを保存]** を選択します。

## 関連トピック

[「テーブルビューをフィルタリングする」\(77ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(73ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(73ページ\)](#)

[「テーブルデフォルトを復元する」\(94ページ\)](#)

[「テーブルのすべての行を選択する」\(74ページ\)](#)

## ビュー設定を制限する

NNMiは、以下の種類のテーブルビュー設定を自動的に保存します。

- 列の幅
- 非表示の列
- ソートされた列およびソート順序
- フィルター

テーブルビューをカスタマイズするには、以下のことに注意してください。

- 各テーブルのすべての設定は、そのテーブルに対応するcookieの中に保存されます。
- 設定を保存できるテーブルの数、および制限に達した場合の動作は、使用するブラウザに依存します。

Internet Explorerでは、最も古いcookieが破棄され、カスタマイズの作成を続行できます。Internet Explorerを使用している場合は、cookieの制限値は48です。

Mozilla Firefoxを使用している場合、cookieの上限数は48です。48の上限に達すると、Mozilla Firefoxは、最新のcookieを作成する前に、最後から2番目のcookieを削除します。

- テーブルビューの設定は、オペレーティングシステムの各ユーザーに特有のものです。そのため、別のオペレーティングシステムにログオンする場合は、ビューの設定が異なることとなります。異なるNNMiユーザーとしてサインインしても、オペレーティングシステムが同じであれば、ビューの設定は同じです。

**注:** NNMiでは、最後のcookieおよび後続のテーブル設定が保存される際に、警告メッセージが表示されます。

[ツール] > [デフォルトのビュー設定をすべて復元]を使用して、すべてのテーブルのカスタマイズを削除できます。詳細については、「[テーブルデフォルトを復元する」\(94ページ\)](#)を参照してください。

### 関連トピック

[「デフォルトフィルターの復元」\(93ページ\)](#)

[「列を非表示にする」\(73ページ\)](#)

[「列のサイズを変更する」\(73ページ\)](#)



[「テーブルのすべての行を選択する」\(74ページ\)](#)

## マップビューを使用する

マップビューは、ネットワークに関する情報を表示する強力なツールです。マップビューでは、ノード、インタフェース、IPアドレス、およびサブネットがマップ上の記号として表現されます。ノードおよびインタフェース間のラインは、これらのオブジェクト間の接続または関係を表わします。

各記号の背景の形状は、ルーターやスイッチなどのデバイスの種類を示します。詳細については、「[マップシンボルについて」\(106ページ\)](#)を参照してください。この背景の形状の色は、デバイスの現在のステータスを示します。マップの色に関する詳細については、「[ステータス色について」\(99ページ\)](#)を参照してください。

マップでは、正面イメージが背景形状の上に配置されます。前面のイメージは、ネットワークデバイスの製造元およびモデルを識別します。

マップビューには、[トポロジマップ] および [トラブルシューティング] ワークスペースからアクセスします。また、マップビューは、テーブルビューから **[アクション]** メニューを使用して開くこともできます。詳細については、「[NNMiが提供するマップにアクセスする」\(126ページ\)](#) および **[アクションを使用したタスクの実行」(150ページ)**を参照してください。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、**[アクション]** メニューで使用可能な項目にアクセスできます。


表示中のマップのタイプに従って、NNMiは、マップ上の他の種類のオブジェクトを記述するために追加ルールを使用します。

[「ノードグループマップオブジェクト」\(112ページ\)](#)

[「レイヤー2マップオブジェクト」\(113ページ\)](#)

[「レイヤー3マップオブジェクト」\(116ページ\)](#)

[「パスビューマップオブジェクト」\(117ページ\)](#)

**注:** 一部のNNMiユーザーは (割り当てられたNNMiロールに応じて)、ノードその他のオブジェクトをNNMiデータベースから削除することができます。  **[リフレッシュ]** アイコンを使用してマップがリフレッシュされるまで、削除されたノードはすべてのNNMiユーザーに対して透明なアイコンで表示されます。リフレッシュすると、削除されたノードはマップから除去されます。NNMiは、**[検出の初期進行状態]**と**[ネットワークの概要]** マップを除き、マップビューで接続性またはノード集合を自動的にリフレッシュしません。

マップビューの中では、次の操作を実行できます。

- [「オブジェクト情報にアクセスする \(フォームおよび \[分析\] ペイン\)」\(12ページ\)](#)
- [「ビューをリフレッシュする」\(66ページ\)](#)
- [「マップレイアウトを変更する」\(119ページ\)](#)

- 「ズームの倍率を調整する」(121ページ)
- 「マップをパン表示する」(123ページ)
- 「[概要] ペインの位置を設定する」(124ページ)
- 「マップのノードステータスをリフレッシュする」(125ページ)
- 「マップのツールのヒント情報を制御する」(126ページ)

Mozilla Firefoxブラウザの使用中にタイムアウトの問題 (たとえば、マップが表示される前に[続行]をクリックするように求められる)が発生する場合は、「Mozilla Firefoxのタイムアウト間隔を設定する」(6ページ)を参照してください。

#### 関連トピック

「テーブルビューを使用する」(72ページ)

「ワークスペースについて」(21ページ)

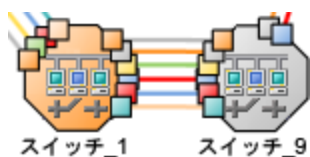
## マップについて

NNMiが提供するマップのコンテンツの解釈法を理解するには、以下のことを知る必要があります。

ステータス色について .....	99
マップシンボルについて .....	106
ノードグループマップオブジェクト .....	112
レイヤー2マップオブジェクト .....	113
レイヤー3マップオブジェクト .....	116
パスビューマップオブジェクト .....	117

## ステータス色について

各マップシンボルの背景形状の色は、ノードの最新の稼働状態ステータスを表します。各接続アイコン(線)の色は、2つのノード間における通信の最新の稼働状態を表します(各インタフェースまたは関連するIPアドレスのステータスの評価により決定されます)。接続線の終端にあるインタフェースアイコン(小さな四角形)またはIPアドレスアイコン(小さな六角形)の色によって、その最新の稼働状態も示されます。例:



NNMiは、次のように、オブジェクトの該当するステータスを計算します。

- 「[オブジェクトのステータス色](#)」(100ページ)
- 「[アグリゲーターオブジェクトのステータス色 \(NNMi Advanced\)](#)」(101ページ)
- 「[ネットワーク接続のステータス色](#)」(103ページ)

**ヒント:** NNMiのCausal Engineは、各オブジェクトのステータス値を計算するためのデータを収集します。このデータとともに、ステートポラーにより収集された状態の情報を使用して、Causal Engineは各ノード、インタフェース、およびSNMPエージェントのステータスを計算します。









- 状態 = NNMi State Pollerによって提供され、各オブジェクトに関して常に最新の状態となる値。
- ステータス = [システム情報] ダイアログの[コーザルエンジン] タブにある入力処理の遅延に一覧表示されている時間だけ遅れて実行される値。「[システム情報: \[コーザルエンジン\] タブ](#)」および「[デバイスの現在のステータスを確認する](#)」を参照してください。

## オブジェクトのステータス色

NNMiでは、ネットワーク内のノード (デバイス) を表すマップオブジェクトの背景形状内にステータス色が表示されます。

以下の表に、表示されるステータス色の意味を説明します。

### 背景形状のステータス色

色	意味	説明
	認識不能	オブジェクトに到達できず、ポーリングが不可能であることを示します。
	正常域	関連オブジェクトに関する既知の問題がないことを示します。
	注意域	関連オブジェクトに関する問題が存在する可能性を示します。
	警戒域	NNMiが、関連オブジェクトに関する問題を検出し、さらに調査が必要であることを示します。
	重要警戒域	NNMiが関連オブジェクトに関する問題を検出し、危険域になる前にその問題を解決する必要があることを示します。
	危険域	NNMiが関連オブジェクトに関する問題を検出し、すぐに対処が必要なことを示します。
	無効	オブジェクトが管理上無効になっていることを示します。
	ステータスなし	以下のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• NNMiの現在の設定では、このオブジェクトはモニタリングから除外されています。オブジェクトが[非管理対象]、[サービス停止中]、または</li></ul>

### 背景形状のステータス色 (続き)

色	意味	説明
		[スケジュール済みのノードの停止] に設定されているため、ステータスは計算されません。 • NNMiデータベースにオブジェクトが追加されたばかりで、Causal Engineがオブジェクトの稼働状態ステータスをまだ計算していません。

### 関連トピック

[「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 \(NNMi Advanced\)」\(101ページ\)](#)

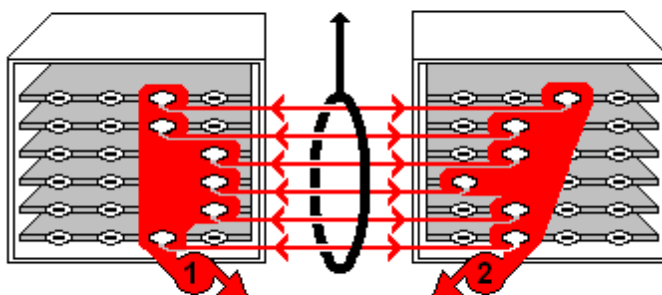
[「ネットワーク接続のステータスの色」\(103ページ\)](#)

## アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 (NNMi Advanced)

リンクアグリゲーションプロトコルを使用すると、ネットワーク管理者はスイッチ上にインタフェースのセットを1つのものとして機能するように設定できます。複数のインタフェースをまとめるこの手法によって、帯域幅が広がり、データ転送速度が向上し、冗長性がもたらされます。

### リンクアグリゲーションの例

レイヤー2マップ上の太線 =  
 1つのアグリゲーターレイヤー2接続

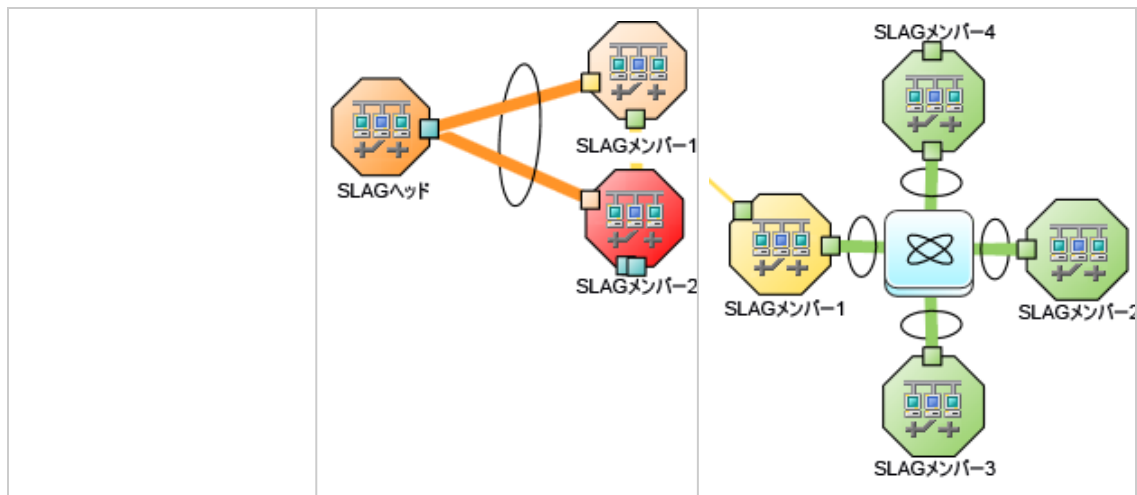


2つのアグリゲーターインタフェース:

- 論理ユニット (物理でなく)
- 各機能は1つの機能であるかのように
- 各機能には6つのアグリゲーションメンバーインタフェース

レイヤー2マップでは、楕円が重ねられた太い線はリンクアグリゲーションまたは分割リンクアグリゲーション (1つとして機能する複数のレイヤー2接続のグループ) を表します。太い線の両端のいずれかにあるインタフェースを表すアイコンはアグリゲーションインタフェース (1つとして機能する数多くの物理インタフェースで構成される論理インタフェース) です。

<p>2つのエンドポイント:</p> <p>スイッチ_1      スwitch_9</p>	<p>3つのエンドポイント:</p>	<p>3つより多いエンドポイント:</p>
--	--------------------	-----------------------



詳細については、「[レイヤー2マップオブジェクト](#)」(113ページ)を参照してください。

以下の表に、アグリゲーターインターフェースのステータス色の意味について説明します。

#### アグリゲーターインターフェースのステータス色

色	ステータス	意味
	認識不能	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェースが到達不可能で、ポーリングできないことを示します。
	正常域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェースのステータスが正常域であることを示します。
	警戒域	所属するアグリゲーションメンバーインターフェースの少なくとも1つ(ただし、すべてではない)のステータスが危険域であることを示します。
	危険域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェースのステータスが危険域であることを示します。
	無効	所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェースが管理上無効であることを示します。
	ステータスなし	以下のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• NNMiの現在の設定で、所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェースがモニタリングから除外されており、ステータスが計算されていないことを示します。たとえば、デバイス全体またはアグリゲーターインターフェースが[非管理対象]、[サービス停止中]、または[スケジュール済みのノードの停止]に設定されています。</li> <li>• 所属するすべてのアグリゲーションメンバーインターフェースがNNMiデータベースに追加されたばかりで、Causal Engineによって稼働状態ステータスがまだ計算されていません。</li> </ul>

#### 関連トピック

[「オブジェクトのステータス色」](#)(100ページ)

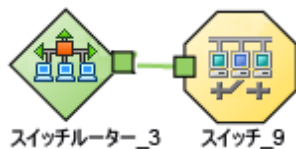
[「ネットワーク接続のステータスの色」\(103ページ\)](#)

## ネットワーク接続のステータスの色

マップの線はネットワーク接続を示します。これらの線の色は、現在のステータスを示します。NNMiマップには次に示す3種類の線があり、それぞれネットワーク通信パスを示します。

- インタフェース間を一对一で結ぶ(ネットワークレイヤー2通信)、またはアドレス間を一对一で結ぶ(ネットワークレイヤー3通信) **単一接続線**。
- **マルチ接続線**は、複雑なNNMiマップでスペースを節約します。NNMi管理者によって、1つの太線に同時にまとめる単一接続線の本数が設定されます。
- **集約接続線**は、1つのものとして機能するマルチ接続のグループを表す楕円が重ねられた太線です。

### 単一接続



以下の表で、単一ネットワーク接続で表示されるステータス色の意味を説明します。

**ヒント:** 線にある**特別なアイコン**は、追加の情報を示します。

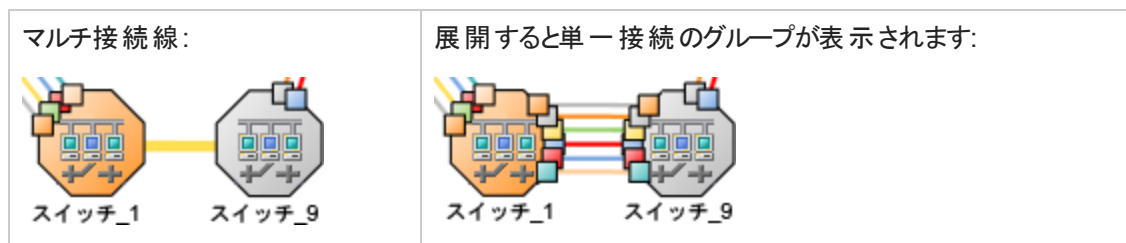
### ネットワーク接続のステータスの色

色	意味	説明
	認識不能	他のネットワークの問題のために、一方のインタフェースのステータスがこの時点で調べられないことを示します。
	正常域	接続の両方のインタフェースが応答していることを示します。
	注意域	いずれかのインタフェースに問題がある可能性があることを示します。
	警戒域	ある終端のインタフェースが応答していないことを示します。もう一方の終端のインタフェースは応答しています。
	危険域	インタフェースまたはIPアドレスが応答していないことを示します。
	無効	1つのインタフェースまたは両方のインタフェースが、管理者によって無効にされていることを示します。
	ステータスなし	以下のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• NNMiの現在の設定では、1つのインタフェースまたは両方のインタ</li></ul>


### ネットワーク接続のステータスの色 (続き)

色	意味	説明
		<p>フェースがモニタリングから除外されています。インタフェースが[非管理対象/サービス停止中]に設定されているため、ステータスは計算されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• NNMiデータベースにインタフェースが追加されたばかりなので、Causal Engineはインタフェースの稼働状態ステータスをまだ計算していません。</li> </ul>

### マルチ接続






マルチ接続線では、以下の点に注意してください。






- インタフェースまたはIPアドレスアイコンは太線のいずれの終端にも表示されません。
- マルチ接続内の個々の接続およびそれに関連付けられたインタフェースまたはIPアドレスを表示するには、そのマルチ接続をダブルクリックします。
- 展開されたメンバー接続のグループを折りたたむには、 [リフレッシュ] アイコンを使用してマップを更新します。
- マルチ接続に関するサマリー情報をポップアップ表示するには、目的のマルチ接続の上にマウスのカーソルを移動します。

以下の表で、マルチ接続線で表示されるステータス色の意味を説明します。

### マルチ接続のステータスの色および意味

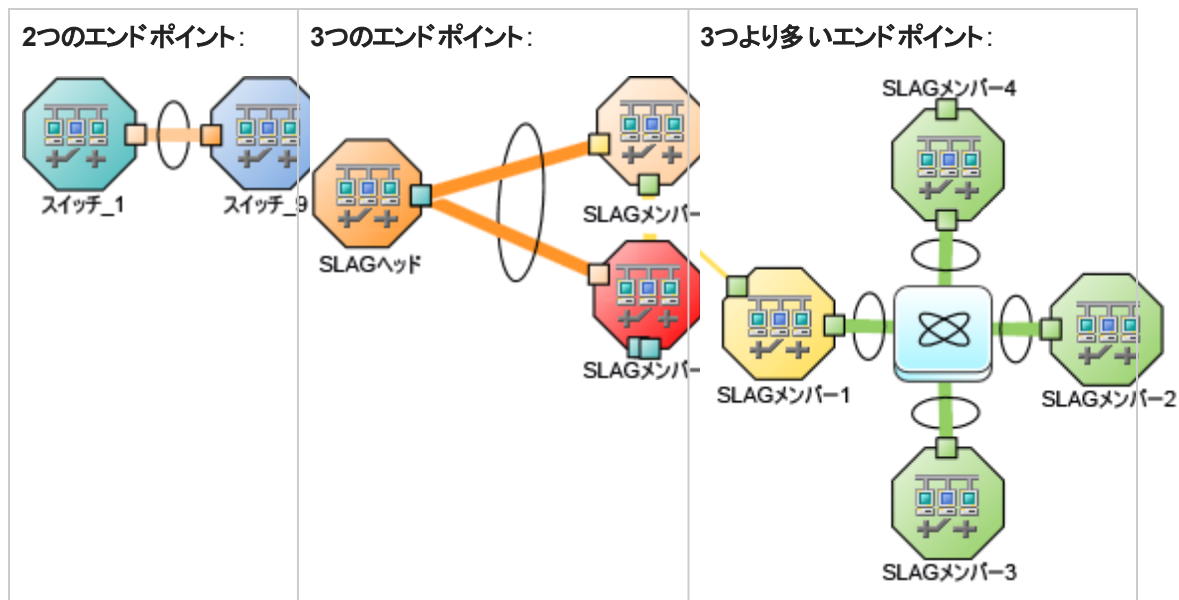
色	意味	説明
	認識不能	マルチ接続内のすべての接続が認識不能のステータスを持つことを意味します。
	正常域	マルチ接続内のすべての接続が正常域のステータスを持つことを意味します。
	注意域	以下の1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• マルチ接続内のすべての接続が注意域のステータスを持っています。</li> <li>• マルチ接続内のすべての接続が同じステータスを持っているわけではありません。ただし警戒域あるいは重要警戒域のステータスを持って</li> </ul>

マルチ接続のステータスの色および意味 (続き)

色	意味	説明
		いる接続はありません。
	重要警戒域	マルチ接続内の1つを除くすべての接続が危険域のステータスを持っています。1つの接続は、正常域、注意域、警戒域、重要警戒域のいずれかのステータスを持っています。
	警戒域	マルチ接続内の1つを除くすべての接続が正常域のステータスを持っています。1つの接続のステータスは、警戒域、注意域、危険域のいずれかです。
	危険域	マルチ接続内のすべての接続が危険域のステータスを持つことを意味します。
	無効	マルチ接続内のすべての接続が無効のステータスを持つことを意味します。
	ステータスなし	マルチ接続内のすべての接続が「ステータスなし」のステータスを持つことを意味します。

集約接続 (NNMi Advanced)

楕円が重ねられた太線は、[リンクアグリゲーション](#)または[リンクアグリゲーションの分割](#)<sup>1</sup>プロトコルの使用を表します (1つのものとして機能するマルチ接続のグループ)。太い線の両端のいずれかにあるインタフェースを表すアイコンはアグリゲーションインタフェース (1つとして機能する数多くの物理インタフェースで構成される論理インタフェース) です。





<sup>1</sup>3つ以上の終端があるリンクアグリゲーションです。ベンダーによっては、マルチシャーシリンクアグリゲーション (MLAG)、SLAG、MLAG、MC-LAGとも呼ばれます。



以下の表で、アグリゲーターレイヤー2接続のステータス色の意味を説明します。詳細については、「[レイヤー2マップオブジェクト](#)」(113ページ)を参照してください。

#### アグリゲーターレイヤー2接続 (太線) のステータス色

色	意味	説明
	認識不能	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続が到達不可能で、ポーリングできないことを示します。
	正常域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続のステータスが正常域であることを示します。
	警戒域	所属するアグリゲーションメンバーレイヤー2接続の少なくとも1つ (ただし、すべてではない) のステータスが危険域であることを示します。
	重要警戒域	所属するアグリゲーションメンバーレイヤー2接続のステータスが、1つの接続を除いて危険域であることを示します。1つの接続は、正常域、注意域、警戒域、重要警戒域のいずれかのステータスを持っています。
	危険域	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続のステータスが危険域であることを示します。
	無効	所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続が管理上停止中であることを示します。
	ステータスなし	以下のうちの1つを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• NNMiの現在の設定で、所属するすべてのアグリゲーションメンバーレイヤー2接続がモニタリングから除外されており、ステータスが未計算であることを示します。たとえば、デバイス全体または接続の両端にあるアグリゲーターインタフェースが[非管理対象/サービス停止中]に設定されています。</li><li>• 所属するすべてのアグリゲーションレイヤー2接続のレイヤー2接続がNNMiデータベースに追加されたばかりで、Causal Engineによって稼働状態ステータスがまだ計算されていません。</li></ul>

#### 関連トピック

[「オブジェクトのステータス色」](#)(100ページ)

[「アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 \(NNMi Advanced\)」](#)(101ページ)

## マップシンボルについて

マップシンボルは以下のような情報を示します。

- マップアイコンの**背景形状と前面イメージ**は、描かれているデバイスのタイプを示します。
- デバイス間の線は、ネットワーク接続を示します。線にある**特別なアイコン**は、追加の情報を示します。

詳細については、以下を参照してください。



























## 背景と前面

マップ記号はノードまたはノードグループを表します。1つのノードを表す各マップシンボルには、背景形状とそれに重ねた前面イメージがあります(デフォルトのイメージを以下の表に示します)。カスタム前面イメージで特定のベンダーとモデルを示すことができます。

**注:** NNMi管理者は、NNMi前面イメージを各デバイスのプロファイルに合わせてカスタマイズできます。したがって、以下の表で説明していない前面イメージが表示される場合があります。追加された前面形状にご不明な点がある場合は、NNMi管理者にお問い合わせください。

背景形状の色は、デバイスの最新のヘルスステータスを示します(「[オブジェクトのステータス色](#)」(100ページ)および「[アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 \(NNMi Advanced\)](#)」(101ページ)を参照してください)。

### 特定のデバイスの前面および背景の形状

背景形状	前面イメージ/意味	背景形状	前面イメージ/意味
	 = コンピューター  = サーバー  = ワークステーション  = その他  注: 「その他」には、非SNMPノードが含まれます。		 = ゲートウェイ  = ハブ  = ルーター  = スイッチルーター  = ボイスゲートウェイ
	内部の複数のシャーシ:  = コンピューター  = サーバー  = ワークステーション		内部の複数のシャーシ:  = スイッチルーター
	 = ATMスイッチ  = スイッチ		 = シャーシ (複数シャーシデバイスのアイコンを展開すると⊕表示されます)
	内部の複数のシャーシ:  = スイッチ		
	 = アナライザ  = ファイアウォール  = ロードバランサー  = ネットワーク機器  = 電源  = プリンター  = ワイヤレスアクセスポイント		 = IPフォン

### 特定のデバイスの前面および背景の形状 (続き)

背景形状	前面イメージ/意味	背景形状	前面イメージ/意味
	子ノードグループ (前面イメージなし)		ネットワーク (前面イメージなし)





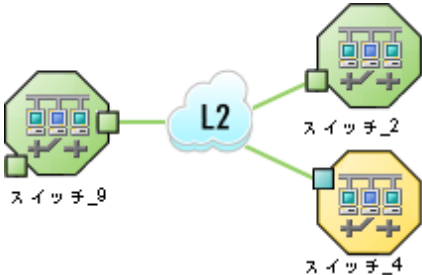



### 特別な接続

以下の表のアイコンは、ネットワーク内のデバイス間を結ぶ特定の接続線に関する有用な情報を示します。ネットワーク内にはさまざまなタイプの通信チャネルがあります。マップオブジェクト間の線によって、接続のタイプとその接続の現在のヘルス状態の両方に関する有用な情報が示されます。詳細については、「[ネットワーク接続のステータスの色](#)」(103ページ)を参照してください。


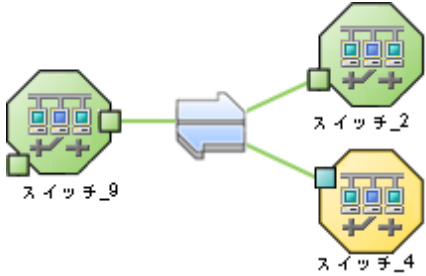

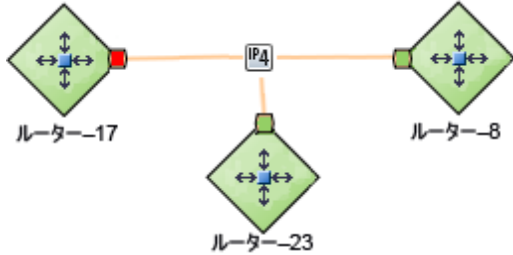

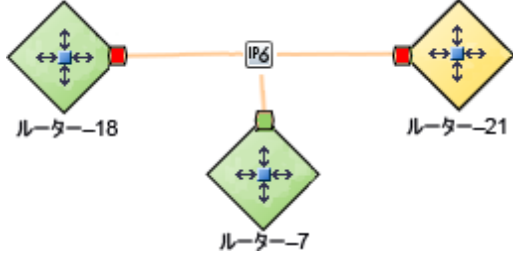



**ヒント:** 接続線をクリックすると、選択した接続の各端にポート番号が表示されます。

- [p] を押すと、ポート番号のオン/オフが切り替わります。
- [n] を押すと、デバイス名のオン/オフが切り替わります。

### 特別な接続のアイコン

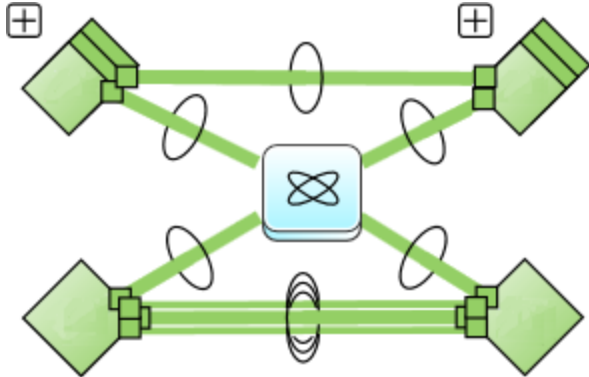







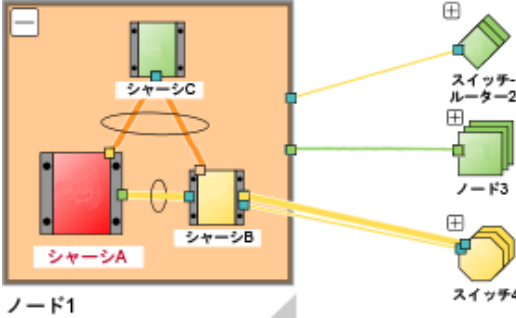
アイコン	意味
	<p>ハブやメッシュのような共有メディアが複数のデバイスを接続していることをNNMiが検出した場合に、マップ内でポイントツーマルチポイント (複数のインタフェースを持つ接続) を表現するために使用されます。例については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> <p>線または  (以前のNNMiリリースでは  アイコンまたは  アイコン) をダブルクリックすると、<a href="#">[レイヤー2の接続] フォーム</a>が表示され、トポロジソースの値がFDBになります。</p> 
	<p>WAN (広域ネットワーク) にまたがったポイントツーマルチポイント (複数のインタフェースを持つ接続) レイヤー3エッジ接続をマップ内で表現するために使用されます。</p> <p> アイコン (以前のNNMiリリースでは  アイコン) は、マップ上の2つのノード間の未確認のデバイスセットを表します (多くの場合、サービスプロバイダーのネットワークまたはWAN)。例については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> <p>NNMiでは、28 ~ 31の間の事前に設定された長さで、サブネットの特別なルールに従うことによってこのことを実施します。この特別なルールは、「サブネット接続ルール」と呼ばれます。このルールは、NNMi管理者が設定できます。</p>

特別な接続のアイコン (続き)


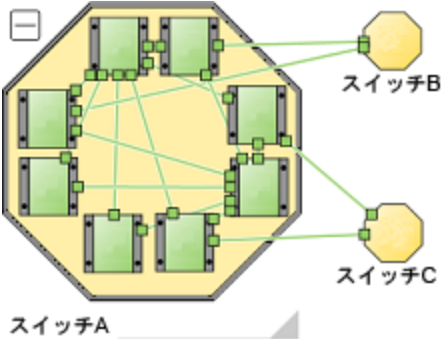
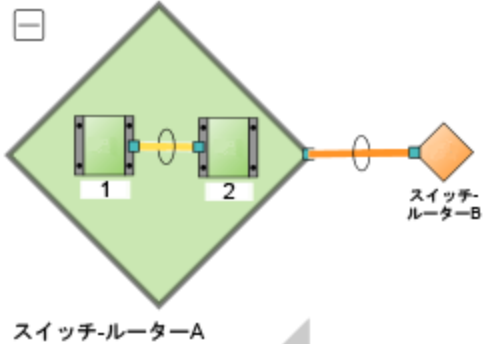




アイコン	意味
	<p>線または  アイコンをダブルクリックすると、[レイヤー2の接続] フォームが表示され、[トポロジソース] の値はSUBNETCONNECTIONになります。</p> 
	<p>マップ内でIPv4サブネットを表すために使用されます。例については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> 
	<p>(NNMi Advanced) マップ内でIPv6サブネットを表すために使用されます。例については、<a href="#">ここをクリックしてください</a>。</p> 
	<p>(NNMi Advanced) レイヤー2マップでは、楕円が重ねられた太線はリンクアグリゲーションを表します。詳細については、「<a href="#">レイヤー2マップオブジェクト</a>」(113ページ)を参照してください。</p>
	<p>(NNMi Advanced) レイヤー2マップでは、 アイコンとその上に重ねられた楕円は、リンクアグリゲーションの分割<sup>1</sup>に関する3つ以上のエンドポイントを示します (SLAGメッシュ接続とも呼ばれます)。詳細については、「<a href="#">レイヤー2マップオブジェクト</a>」(113ページ)を参照してください。</p>

<sup>1</sup>3つ以上の終端があるリンクアグリゲーションです。ベンダーによっては、マルチシャーシリンクアグリゲーション (MLAG)、SLAG、MLAG、MC-LAGとも呼ばれます。



特別な接続のアイコン (続き)

アイコン	意味	
		
	<p>レイヤー2のマップ上では、これらのアイコンは、オブジェクトに2つ以上のシャーシが含まれていることを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>  をクリックすると、 シャーシのグループ全体が表示されます。                 </li> <li>  をクリックすると、展開されたスタックが閉じます。                 </li> <li>  をクリックしてドラッグすると、展開されたスタックのサイズを変更できます。                 </li> <li>  [マップを保存] ツールバーボタン。NNMiロールで許可されている場合は、このアイコンをクリックすると、後でそのマップに戻ったときに、このシャーシが見える状態のまま保持されます。                 </li> </ul> <p>展開されたオブジェクト内の線には、次のように、特別な意味があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>                     デバイスレベルで直接インストールされた既知のインターフェース。   </li> <li>                     デバイスのシャーシレベルで直接インストールされた既知のインタ                 </li> </ul>	<p>ノードには2つ以上のシャーシが含まれます。</p> 

特別な接続のアイコン (続き)

アイコン	意味	
	<p>フェース。</p> 	<p>スイッチには2つ以上のシャーシが含まれます。</p>  <p>スイッチルーターには2つ以上のシャーシが含まれます。</p> 
	<p>パスビューで使用されます。NNMiが接続を検出したものの、デバイスのIDを確認できない (SNMPへの応答がない) 場合、そのデバイスはマップ上に雲のシンボル  (以前のNNMiリリースでは  アイコン) で表示されます。</p> <p>例については、<a href="#">ここをクリック</a> してください。</p>	 <p>サーバー-16      スイッチ_56      クラウド      ルーター-56      サーバー-78</p> <p><b>注:</b> パスビューマップで黒の矢印または白抜きの黒丸が表示されるときは、接続またはインターフェースがNNMiデータベースに存在しなかったために、NNMiでステータス値を判定できなかったことを示します。</p> <p>詳細については、「<a href="#">パスビューマップオブジェクト</a>」(117ページ)を参照してください。</p>

### 特別な接続のアイコン (続き)

アイコン	意味
	(NNMi Advanced、およびHP Route Analytics Management System (RAMS) for MPLS WAN) RAMS MPLS WANマップビューで使用されます。NNMiがネットワーク全体にわたってMPLS接続を検出する場合、その接続がクラウド記号でマップ上に示されます。例については、 <a href="#">ここをクリックしてください</a> 。
 ルーター_7   MPLS WAN クラウド   スイッチ_4	NNMi管理者は、「 <a href="#">HP RAMS MPLS WANの設定 (NNMi Advanced)</a> 」の詳細な説明も参照してください。

### 関連トピック

[「オブジェクトの使用」\(145ページ\)](#)

## ノードグループマップオブジェクト

ヒント: ノードグループマップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

ノードグループマップにはノードグループのメンバーが表示されます (NNMi管理者が定義したものです)。各ノードグループマップは、レイヤー2情報またはレイヤー3情報のどちらかを示します。

マップには、各メンバー、接続、および子ノードグループのステータスが表示されます。各自の環境のコンテキストを示すために、NNMi管理者は、背景イメージも追加します (たとえば、北米のマップ)。

NNMiでは、[重要なインシデント](#)<sup>1</sup>と関連するノードのマップシンボルを拡大できます。マップビューツールの[[重要なインシデントを示す](#)] ボタンを使用します ([「\[ビューツールバー: ノードグループマップ\] のツールバーアイコンの使用」](#)を参照)。



(オン) = ノードグループマップが開くと、NNMiは[重要なインシデント](#)<sup>2</sup>のソースオブジェクトであるオブジェクトノードグループマップ上に拡大して表示します。(たとえば、ノードグループマップを表示したとき、NNMiは、未解決の根本原因インシデントに関連しているノードを拡大して表示します。)



(オフ) = このノードグループマップを開くと、NNMiでは[重要なインシデント](#)<sup>3</sup>のソースオブジェクトであるオブジェクトはノードグループマップに表示されません。

<sup>1</sup>次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

<sup>2</sup>次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

<sup>3</sup>次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。



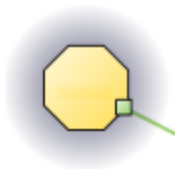
ノードの関連するインシデントを表示するには、ノードシンボルをダブルクリックします。[ノード] フォームで、[インシデント] タブを選択します。

これらのマップは、接続性ではなく、ノードグループを基礎にしているため、マップ上に接続のないノードがあることもあります。

六角形 (下図参照) は、子ノードグループを示します。



マップアイコンを囲むグレーの輪は、表示されているノードグループの1ホップ外側にあるデバイスを示します (ノードグループメンバーに接続していますが、それ自体はメンバーではありません)。すべての1ホップの近隣接続が表示されるわけではありません。NNMi管理者は、1ホップの近隣接続が、フィルターとして使用されている特定のノードグループのメンバーである場合に、これらの近隣接続を表示するよう、ノードグループマップを設定する必要があります。



NNMiが提供するノードグループマップの詳細については、「[NNMiで使用できるビュー](#)」(27ページ)を参照してください。

#### 関連トピック

[「マップシンボルについて」](#)(106ページ)

[「ステータス色について」](#)(99ページ)

[「ワークスペースについて」](#)(21ページ)

## レイヤー2マップオブジェクト

レイヤー2のマップは、選択したデバイス、および選択したデバイスから指定数のホップ内にある接続済みデバイスのマップビューを表示します。これは、デバイス間の**スイッチの接続性**を理解するのに役立ちます。詳細については、「[オペレーター用のヘルプ](#)」を参照してください。

検出中にNNMiは、ネットワーク内のイーサネットスイッチから転送データベース (FDB) テーブルを読み取り、その情報に基づいてネットワークデバイス間の通信パスを判別します。NNMiは、これらのFDBテーブルで検出対象ノードに関する情報を検索します。NNMi管理サーバーが重複 **MACアドレス**<sup>1</sup> に対するFDB参照を見つけた場合には、次を行います。

<sup>1</sup>工場出荷時にネットワークアダプターまたは内蔵ネットワークカードのペリフェラルを装備したデバイスに焼き付けられるMAC (Media Access Control) アドレス (ハードウェアまたは物理的地址)。MACアドレスには、6組の16進数値があり、それぞれコロンまたはダッシュで区切られています。

例 02:1F:33:16:BC:55



- 検出された複数のノード (同一テナント内のノード、またはデフォルトテナントのノードとそれ以外のテナントのノード) に同じMedia Access Control (MAC) アドレスに関連付けられたインターフェースが含まれている場合、NNMiは、FDB内でそれらの重複MACアドレスに対して報告された通信パスを無視します。これにより、それらの重複MACアドレスを含むネットワーク域のNNMiマップで接続が欠落する場合があります。

(NNMi Advanced - グローバルネットワーク管理機能) 2つのNNMi管理サーバーが、同じMAC (Media Access Control) アドレスに関連付けられているインターフェースを持つノードを検知した場合は、リージョナルNNMi管理サーバーのマップで表示される接続がグローバルNNMi管理サーバーのマップで欠落している可能性があります。

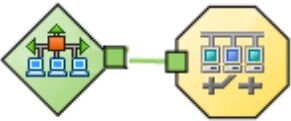
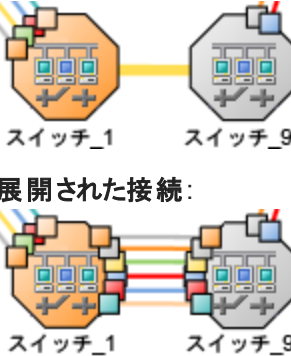
- 単一のノードに、同じMACアドレスを持つ複数のインターフェースが含まれている場合、NNMiは、それらのインターフェースに関するすべての通信パス情報を収集し、その情報をNNMiマップに表示します。

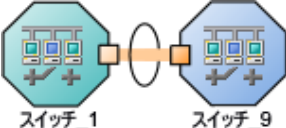
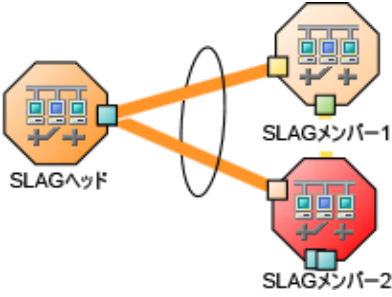
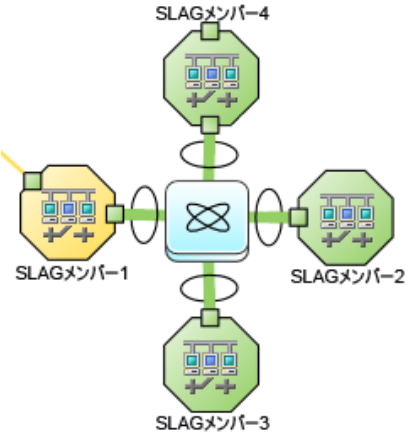




データベース (FDB) 情報を転送すると、次の場合にNNMiが誤ったレイヤー2接続を確立する可能性があります。

- FDBがキャッシュとして設定されており、使用されていないデータが含まれている。
- それぞれ異なる (場合によっては競合する) FDBデータを生成するさまざまなベンダーのハードウェアがネットワーク環境に含まれている。

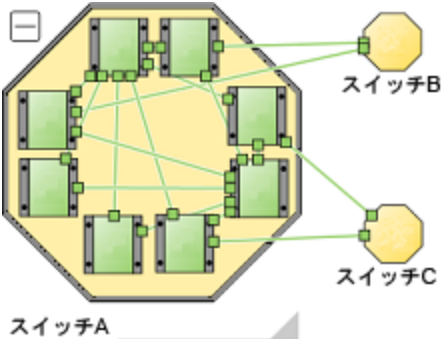



オプション: NNMi管理者は、レイヤー2接続の計算時に特定のノードグループのFDBデータを無視するようにスパイラル検出を設定できます (FDBデータは他の計算には含まれます)。

たとえば、レイヤー2の近隣接続ビューマップでは、インターフェースは、親ノードの背景形状を囲む小さな正方形で示されます。各インターフェースには、ステータスを表す色もあります。緑は、そのインターフェースが適切に動作していることを示します。赤は、そのインターフェースが停止していることを示します。

接続線	接続線の意味
 <p>スイッチルーター_3    スイッチ_9</p>	<p>デバイス間の細い線は、2つのデバイス間の通信チャンネル (接続) を表しています。線は、ステータス色でその接続の現在の稼働状態を示します。詳細については、「<a href="#">オブジェクトのステータス色</a>」(100ページ) を参照してください。</p>
 <p>スイッチ_1    スイッチ_9</p> <p>展開された接続:</p> <p>スイッチ_1    スイッチ_9</p>	<p>終端のいずれにもインターフェースアイコンがない太線は、<b>マルチ接続</b> です。</p> <p>太線をダブルクリックすると、各リンクをまとめたグループが展開されます。</p>

接続線	接続線の意味
<p><b>2つのエンドポイント:</b></p>  <p><b>3つのエンドポイント:</b></p>  <p><b>3つより多いエンドポイント:</b></p> 	<p>(NNMi Advanced) 楕円で囲まれた太線 (接続) は、<a href="#">リンクアグリゲーション</a>プロトコルが使用中であることを示します。このプロトコルを使用すると、ネットワーク管理者はスイッチ上にインターフェースのセットを1つのアグリゲーターインターフェースとして設定できます。他デバイスとの間に複数のインターフェースを並列して使うアグリゲーターレベル2接続を作成し、帯域幅を広げることによってデータの転送速度を向上し、冗長性を拡張します。</p> <p>太線 (アグリゲーターレイヤー2接続) をダブルクリックすると、[レイヤー2の接続] フォームが開き、詳細を確認できます。</p> <p>NNMiは、アグリゲーションメンバーレイヤー2接続のグループ全体のステータスに基づき、太い線 (アグリゲーターレイヤー2接続) のステータスを計算します。詳細については、「<a href="#">アグリゲーターオブジェクトのステータスの色 (NNMi Advanced)</a>」(101ページ)を参照してください。</p> <p>リンクアグリゲーションに3つ以上の終端がある場合、NNMiはそのリンクをリンクの<a href="#">リンクアグリゲーションの分割</a><sup>1</sup> (SLAG) として描きます。</p>
<p><b>ノード:</b></p>  <p><b>スイッチ:</b></p>  <p><b>スイッチルーター:</b></p> 	<p>これらのアイコンは、デバイスに2つ以上の  シャーシが含まれていることを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⊕ をクリックすると、シャーシのグループ全体が表示されます。例:</li> </ul>

<sup>1</sup>3つ以上の終端があるリンクアグリゲーションです。ベンダーによっては、マルチシャーシリンクアグリゲーション (MLAG)、SLAG、MLAG、MC-LAGとも呼ばれます。

接続線	接続線の意味
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>●  をクリックすると、展開されたスタックが閉じます。</li> <li>●  をクリックしてドラッグすると、展開されたスタックのサイズを変更できます。</li> <li>● NNMiロールで許可されている場合は、 [マップを保存] ツールバーボタンをクリックすると、後でそのマップに戻ったときに、このシャーシが見える状態のまま保持されています。</li> </ul>

レイヤー2マップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

### 関連トピック

[「マップシンボルについて」\(106ページ\)](#)

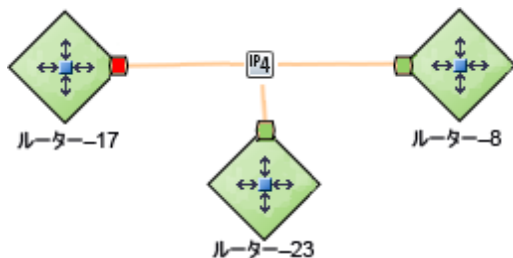
[「ステータス色について」\(99ページ\)](#)

[「ワークスペースについて」\(21ページ\)](#)

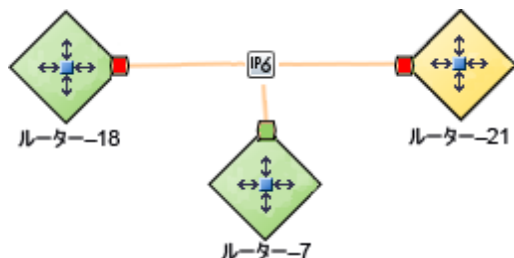
## レイヤー3マップオブジェクト

レイヤー3マップは、選択したデバイス、および選択したデバイスから指定数のホップ内にある接続済みデバイスを示します。このビューは、デバイス間の**ルーターの接続性**を理解するのに役立ちます。

たとえば、レイヤー3の近隣接続ビューマップでは、同一のサブネット内の近隣に接続されたアドレスは、親ノードの背景形状を囲む六角形で示されます。各アドレスには、ステータスを表す色があります。緑は、そのアドレスが適切に動作していることを示します。赤は、そのアドレスが応答しないことを示します。デバイス間の線はサブネットを表します。サブネットにはステータスがありません。



(NNMi Advanced) IPv6サブネットは、次のシンボルで示されます。



レイヤー3近隣接続ビューマップの詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

### 関連トピック

[「マップシンボルについて」\(106ページ\)](#)

[「ステータス色について」\(99ページ\)](#)

[「ワークスペースについて」\(21ページ\)](#)

## パスビューマップオブジェクト


パスビューマップは、ソースおよび宛先の端点間のアクティブネットワークパスを表示します。

パスビューマップで表示されるパスの主要なオブジェクトは、ルーターとスイッチです。

**注意:** パスビューマップでは、ソースノードまたはデスティネーションノードとしてスイッチを指定しないでください。スイッチ間の接続性を表示するには、レイヤー2の近隣接続ビューを使用します。

NNMiでは、パスの部分内のノードを決定できない場合、次の例のように、曇オブジェクトが使用されます。



パスビューマップで接続の終端に黒の矢印  $\rightarrow$  または白抜き黒丸  $\rightarrow$   が表示される場合は、接続またはインターフェイスがNNMiデータベースに存在しなかったために、NNMiでステータス値を判定できなかったことを示します。詳細は[ここをクリック](#)してください。

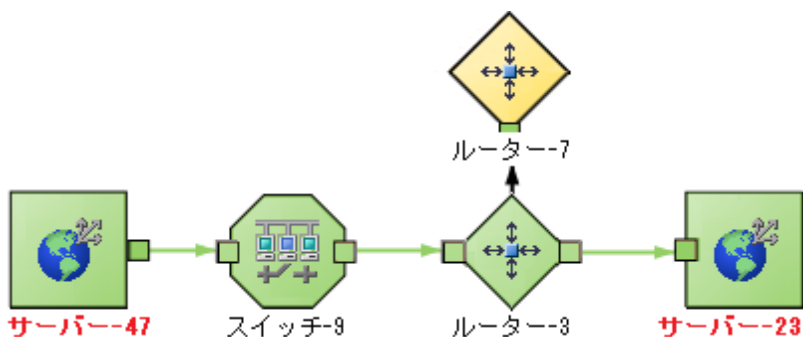
接続またはインターフェイスがNNMiデータベースに保存されていない理由は以下のとおりです。

- パスのノードが非SNMPノードであるため、NNMiでその情報を収集できない。
- パスのノードがNNMiで管理されていない。
- ノードの検出情報が最新の状態ではない(インターフェイス情報がないなど)。

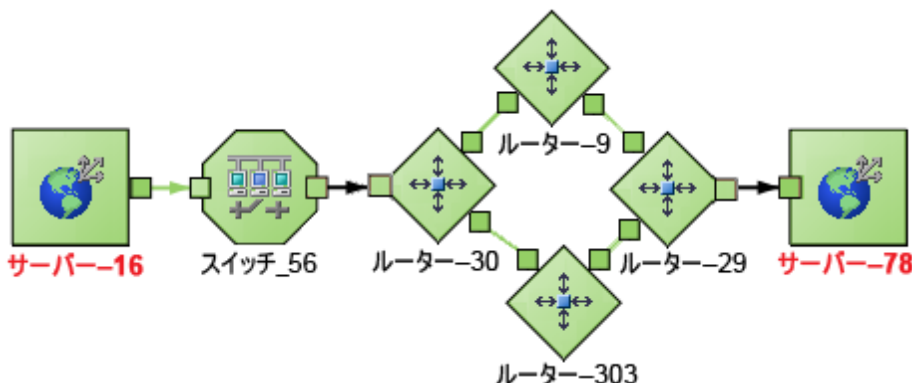
パスビューマップには、レイヤー2近隣接続ビューマップとレイヤー3の近隣接続ビューマップに含まれるオブジェクトも表示されます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

(NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。

(NNMi Advanced) ネットワーク管理者が、複数のアクティブルーターを持つルーター冗長グループからデータを収集するようにNNMiを設定している場合、NNMiでは、パスに対して1つのアクティブルーターを選択します。NNMiは、複数の可能なパスがあることを示すため、次の例に示すように追加ルーターすべてをアクティブルーターに接続します。



(NNMi AdvancedおよびHP Route Analytics Management System (RAMS) for MPLS WAN) ネットワーク管理者が、ルート分析管理システム (RAMS) からデータを収集するようにNNMiを設定している場合、パスビューでは、以下の例に示すように、1つのレイヤー3クラウドを通過する複数のOSPF<sup>1</sup>等価コストパスを表示できます。



NNMi管理者は、RAMSの設定について「[HP RAMS MPLS WAN 設定 \(NNMi Advanced\)](#)」を参照してください。

#### 関連トピック:

[「マップシンボルについて」\(106ページ\)](#)

[「ステータス色について」\(99ページ\)](#)

[「ワークスペースについて」\(21ページ\)](#)

## マップを操作する

NNMiではマップビュー内で以下のような操作ができます。

<sup>1</sup>Open Shortest Path Firstプロトコル

[「マップレイアウトを変更する」\(119ページ\)](#)

マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える

[「ズームの倍率を調整する」\(121ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(123ページ\)](#)

[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(124ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(124ページ\)](#)


## マップレイアウトを変更する

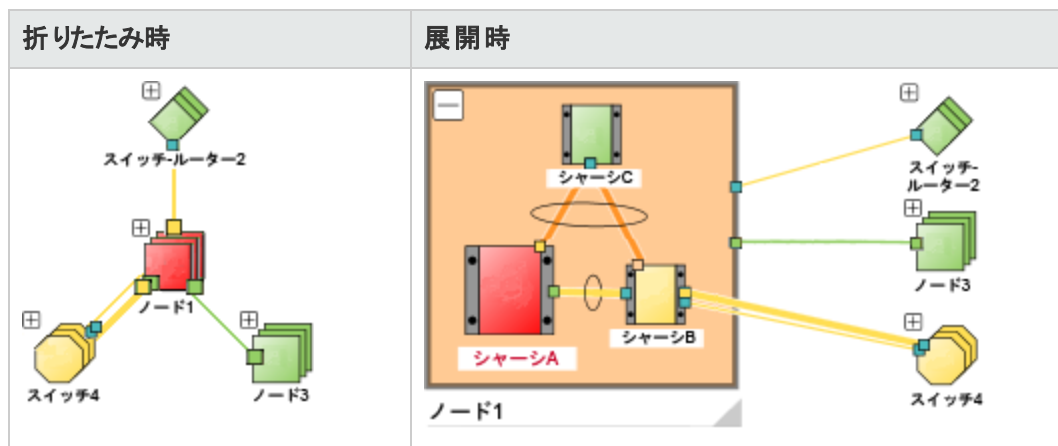
マップ上のシンボルを異なるレイアウトで表示する場合、その配置を変更できます ([「マップシンボルについて」\(106ページ\)](#)を参照)。



- 2つ以上のシャーシを持つデバイスは、次のアイコンで示されます。



 デバイスに関連付けられたシャーシのアイコンを表示するには、以下の手順を実行します。

-  をクリックすると、デバイス内のシャーシグループ全体が表示されます。NNMiによってマップ全体のレイアウトが調整され、展開されたマップアイコンの場所が確保されます。例：



-  アイコンをクリックしてドラッグすると、展開されたデバイスのアイコンのサイズを変更できます。
-  アイコンをクリックすると、展開されたデバイスのアイコンが折りたたまれます。

ヒント: マップを前のレイアウトに戻すには、そのマップの [\[ワークスペース: ビュー\]](#) リンクをク

リックします。NNMiユーザーが最後に保存したレイアウトが表示されます (すべてのNNMiユーザーは、同じバージョンのマップを共有します)。

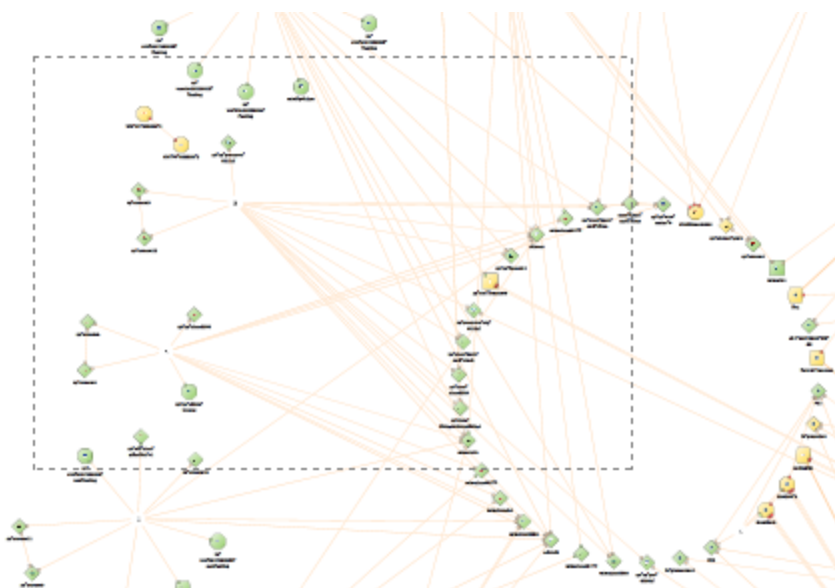
- 1つのオブジェクトを移動するには、次の操作を行います。

任意のマップシンボルを、マップ上の目的の位置にドラッグします。

- 複数のオブジェクトを移動するには、次の操作を行います。

次のいずれかを実行します。

- ノード間の空白のスペースで [Shift] キーを押しながらマウスを左クリックし、選択するマップのエリア上にカーソルをドラッグします。この方法を使用すると、NNMiは以下の例に示すように、点線 (またはゴムバンド) で選択エリアを示します。




- マップ上で、[Ctrl] キーを押しながら左クリックすると、マップ上の関心のある各オブジェクトを選択または選択解除できます。


選択した各オブジェクトが変化して、選択されたことを示します。選択したノードのいずれかをドラッグすると、オブジェクトのグループがマップ上の目的の位置に移動します。

**ヒント:** ノード間の空白を使用してドラッグすると、すべてのオブジェクトが選択解除されます。

この配置は、マップを更新するか、リロードするまで保持されます。



**ノードグループマップのみ:** ロールで許可されていれば、 [マップを保存] ツールバーをクリックすることで、新しいレイアウトをマップ上に表示したまま保持することができます。マップを保存すると、新しく発見されたデバイスがマップの左下隅に表示されます。

**注:**  [マップを保存] を選択するたびに、NNMiはマップの以前のノード位置情報を削除します。チームメンバー全員に変更内容が反映されます。

#### 関連トピック

[「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」\(121ページ\)](#)

[「ズームの倍率を調整する」\(121ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(123ページ\)](#)

[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(124ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(124ページ\)](#)

## マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える

[n] を押すと、マップ上のオブジェクト名の表示/非表示が切り替わります。

[p] を押すと、接続線の端のポート名の表示/非表示が切り替わります。

#### 関連トピック

[「マップレイアウトを変更する」\(119ページ\)](#)

[「ズームの倍率を調整する」\(121ページ\)](#)


[「マップをパン表示する」\(123ページ\)](#)

[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(124ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(124ページ\)](#)

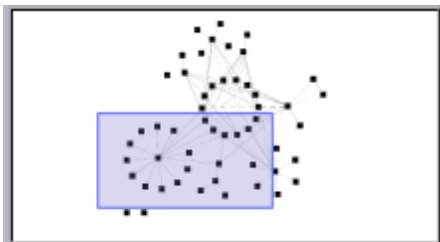
## ズームの倍率を調整する

マップにおけるズームの倍率を複数の方法で調整できます。

- **マップにズームインするには:**  
以下のいずれかを行います。
  - マウスのホイールボタンを前方に回転させます。
  -  をクリックします。
  - + (プラス記号) を押します。



- [概要] ペインで、以下の例のように青色の長方形で示されるフォーカスエリアをダブルクリックします。




**注:** NNMiでフォーカスエリアが示されない場合は、[概要] ペインの任意の場所をダブルクリックします。

[概要] ペインには、選択したマップ全体のビューが表示されます。フォーカスエリアには、NNMiによってより大きなマップビューに表示されるマップの一部が示されます。

**ヒント:** 詳細については、「[\[概要\] ペインの位置を設定する](#)」(124ページ)を参照してください。


- **マップからズームアウトするには:**

以下のいずれかを行います。

- マウスのホイールボタンを後方に回転させます。
-  をクリックします。
- -(マイナス記号)を押します。
- [概要] ペインで、青色の長方形で示されるフォーカスエリアの外側をダブルクリックします。


- **マップ全体を画面サイズに合わせるには:**

以下のいずれかを行います。

-  をクリックします。
- =(等号)を押します。

- **マップを100パーセント (実サイズのデバイス画像) で表示するには:**

以下のいずれかを行います。

-  をクリックします。
- 1を押します。

#### 関連トピック

[「マップレイアウトを変更する」\(119ページ\)](#)

[「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」\(121ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(123ページ\)](#)

[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(124ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(124ページ\)](#)

## マップをパン表示する

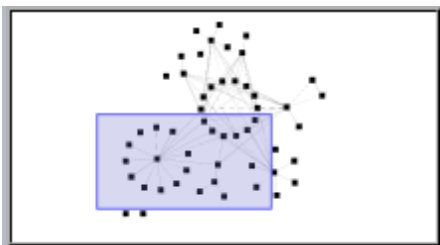
目的のノードがマップ上で見えにくい場合は、マップ上の他のセクションに移動できます。

マップ上の他のセクションへパンするには、次の操作を行います。

以下のいずれかを行います。

- マップ上を移動するには矢印キー(↑上矢印、↓下矢印、→右矢印、←左矢印)を押します。
- 背景を左クリックし、マウスで新しい場所までドラッグします。
- [概要] ペインには、マップ全体のビューが表示されます。

NNMiでは、以下の例に示すように、水色の長方形でフォーカスエリアが示されます。



**ヒント:** 詳細については、「[\[概要\] ペインの位置を設定する」\(124ページ\)](#)を参照してください。

- マップ上をパンするには、フォーカスエリアをドラッグします。
- ズームインするには、フォーカスエリア内をダブルクリックします。
- ズームアウトするには、フォーカスエリア外をダブルクリックします。

### 関連トピック

[「マップレイアウトを変更する」\(119ページ\)](#)

[「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」\(121ページ\)](#)

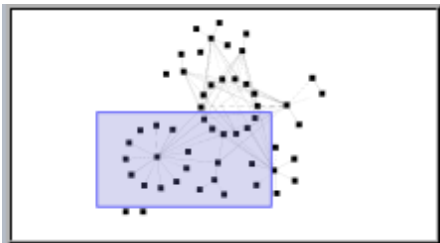
[「ズームの倍率を調整する」\(121ページ\)](#)

[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(124ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(124ページ\)](#)

## [概要] ペインの位置を設定する

マップのどの隅に [概要] ペインを表示するかを選択できます。



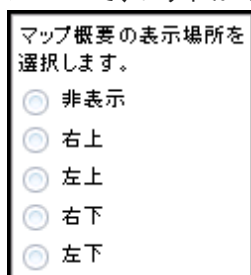
または、[概要] ペインを非表示に設定できます。

[概要] ペインの位置を設定するには、以下の手順を実行します:

1. マップのツールバーで、[概要の表示場所] ボタンをオンに切り替えます:



2. メニューで、いずれかの位置を選択します



3. メニューを閉じるには、[概要の表示場所] ボタンをオフに切り替えます:



### 関連トピック

[「マップレイアウトを変更する」\(119ページ\)](#)

[「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」\(121ページ\)](#)

[「ズームの倍率を調整する」\(121ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(123ページ\)](#)

[「マップ内でノードを検索する」\(124ページ\)](#)

## マップ内でノードを検索する


マップ内の特定のノードを簡単に検索できます。

現在のマップ内でノードを検索するには、次の操作を実行します。

1. マップツールバーで、[検索] ボタンをオンに切り替えます。



2. テキストボックス  で、以下のいずれかを行います。

- このマップ内での選択項目すべてを示すリストを表示するには、 ドロップダウンアイコンをクリックします。リストから任意の項目を選択してください。
- マップ内で検索するノードの[名前]属性の値 (大文字と小文字を区別しない)を入力します。これは、マップアイコンのラベルとなる、[ノード] フォームの[名前]属性の値です。

入力を始めると、自動補完機能によって可能性のある一致のリストが表示されます。リストから任意の項目を選択してください。

3. NNMiは、[名前]属性の値が、選択された値と一致するノードを選択します。必要な場合、NNMiはマップの該当するエリアをパンします。
4. マップ内の別の場所に移動するには、[検索] ボタンをオフに切り替えます。



#### 関連トピック

[「マップレイアウトを変更する」\(119ページ\)](#)

[「マップオブジェクトのラベルテキストを切り替える」\(121ページ\)](#)

[「ズームの倍率を調整する」\(121ページ\)](#)

[「マップをパン表示する」\(123ページ\)](#)

[「\[概要\] ペインの位置を設定する」\(124ページ\)](#)

## マップのノードステータスをリフレッシュする


マップビューでは、ノードのレイアウトを保持しながら、マップ上のノードステータスを更新できます。マップの1つまたは複数のノードのステータス更新にのみに関心がある場合は、この機能によってビューをすばやくリフレッシュできます。

NNMiは、マップ上のノードステータスを60秒ごとに自動的にリフレッシュします。リフレッシュカウンターは、最後のステータスリフレッシュが完了した後に進行を開始します。


**注:** マップのリフレッシュに予想外の時間がかかる場合は、マップに表示されるノードの最大数の設定が大きすぎる可能性があります。NNMi管理者がこの値を設定できます。詳細については、「管理者用のヘルプ」を参照してください。

ノードステータスは手動で更新できます。

ノードステータスのみをリフレッシュするには、次の手順を行います。

ツールバーで  [ステータスのリフレッシュ] アイコンをクリックして、マップビュー上のノードステータスを手動で更新します。

最後の更新時刻が変更され、マップ上の各ノードのステータスがリフレッシュされます。ノードの追加、削除、または並べ替え直しは行われません。接続性は再計算されません。

**注:** 一部のNNMiユーザーは (割り当てられたNNMiロールに応じて)、ノードその他のオブジェクトをNNMiデータベースから削除することができます。  [リフレッシュ] アイコンを使用してマップがリフレッシュされるまで、削除されたノードはすべてのNNMiユーザーに対して透明なアイコンで表示されます。リフレッシュすると、削除されたノードはマップから除去されます。NNMiは、[検出の初期進行状態]と[ネットワークの概要] マップを除き、マップビューで接続性またはノード集合を自動的にリフレッシュしません。

#### 関連トピック

[「ビューツールバーの使用」\(132ページ\)](#)

[「ビューをリフレッシュする」\(66ページ\)](#)

## マップのツールのヒント情報を制御する

マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置くと、現在のオブジェクトに関するツールのヒント情報が表示されます。ツールのヒント情報は、オブジェクトのフォーム内に含まれる情報のサブセットです。

マップを開くたびに、 [ツールチップ] ボタンが有効になります。



ツールのヒントのポップアップを無効にするには、 [ツールチップ] ボタンをクリックします。NNMiでは、開いている [ヒント] ダイアログボックスをすべて閉じます。

#### 関連トピック

[「ビューツールバーの使用」\(132ページ\)](#)

## NNMiが提供するマップにアクセスする

以下の方法でマップにアクセスできます。

- テーブルビューから [アクション] メニューを使用する
-  [トポロジマップ] ワークスペースおよび  [トラブルシューティング] ワークスペースからアクセスする

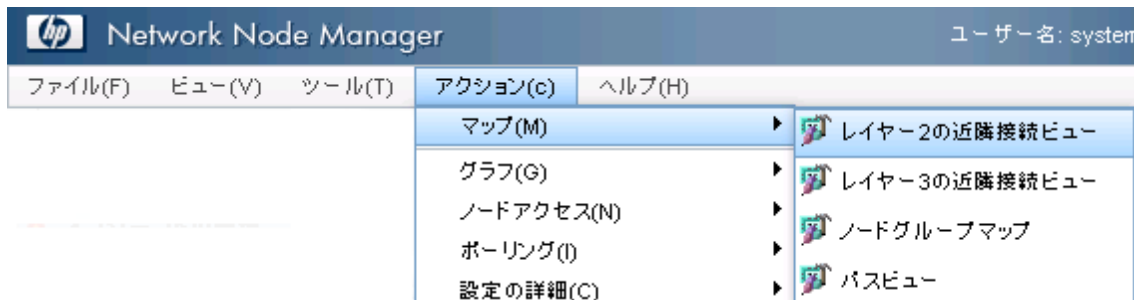
#### テーブルビュー

テーブルビューからマップビューを表示するには

[アクション] メニューを使用する場合の詳細については、「[アクションを使用したタスクの実行」\(150ページ\)](#)を参照してください。

1. ワークスペースのナビゲーションパネルで、必要なテーブルビューを選択します。(たとえば、[インベントリ] ワークスペース、[ノード] ビューを選択します。)

2. テーブルビューで、目的のオブジェクトがある行をクリックします。
3. メインツールバーの[アクション]メニューを使用して、必要なマップビューを選択します。



**注:** フォームの[アクション]メニューからマップビューにアクセスすることもできます。詳細については、「[NNMiコンソールについて](#)」(1ページ)を参照してください。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション]メニューで使用可能な項目にアクセスできます。



起点ノードのラベルは、マップ上では太字のテキストで表示されます。

4. レイヤー2近接ビューまたはレイヤー3の近接ビューのどちらかを表示している場合は、マップビューが表示された後、**ホップ**の数を変更できます。


[**ホップ数**]ドロップダウンリストの中で、表示するホップの数を選択します。デフォルトのホップ数は1です。ホップの最大数は9です。

### トポジマップワークスペース

ノードグループマップを表示するには、次の操作を行います。

1.  [トポジマップ] ワークスペースを選択します。
2.  をクリックして、目的のフォルダーを展開します。
3. 表示するノードグループマップの名前を選択します。

### トラブルシューティングワークスペース


- レイヤー2またはレイヤー3の近隣接続ビューマップを表示するには、次の操作を実行します。
  - a.  [トラブルシューティング] ワークスペースを選択します。
  - b. 生成するマップのタイプを選択します。
  - c. レイヤー2近隣接続ビューおよびレイヤー3近隣接続ビューのマップで、ノード名またはIPアドレス

スのいずれかを使用して開始ノードを指定します。起点ノードのラベルは、マップ上では太字のテキストで表示されます。

**注:** ノード名またはIPアドレスを入力し始めると、NNMiでは、入力した内容に一致する文字や数字を含んでいる既存の名前またはIPアドレスがリストに表示されます。


- d. マップビューが表示されたら、**ホップ**の数を変更できます。

[**ホップ数**] ドロップダウンリストの中で、表示するホップの数を選択します。デフォルトのホップ数は1です。ホップの最大数は9です。

- パスビューを表示するには、次の操作を行います。
  - a.  [**トラブルシューティング**] ワークスペースを選択します。
  - b. [**パスビュー**] を選択します。
  - c. [**ソース**] フィールドおよび [**デスティネーション**] フィールドに、ノード名またはIPv4アドレスのどちらかを指定して、パスの両端にあるノードを指定します。

**注:** ノード名またはIPv4アドレスを入力し始めると、NNMiでは、入力した内容に一致する文字や数字を含んでいる既存の名前またはIPv4アドレスがリストに表示されます。

(NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。

- ノードグループマップを表示するには、次の操作を行います。
  - a.  [**トラブルシューティング**] ワークスペースを選択します。
  - b. [**ノードグループマップ**] を選択します。
  - c. [**ノードグループ**] フィールドで、表示するノードを含むノードグループの名前を指定します。


**注:** ノードグループ名を入力し始めると、入力した内容に一致する文字や数字を含んでいる既存の名前 (大文字と小文字は区別されます) がリストに表示されます。

## 第7章: [分析] ペインについて


[分析] ペインには、選択したオブジェクトに関連する詳細が表示されます。NNMiは選択したオブジェクトについて適切な分析を実行し、表示する最も重要な情報を決定します。[分析] ペイン内のハイパーリンクには、選択した詳細に関するさらなる情報が表示されます。

たとえば、インシデントを選択すると、[分析] ペインには、そのインシデントのソースノードやソースオブジェクトに関する重要な詳細が含まれることがあります。ノードを選択すると、[分析] ペインにはそのノードのインターフェースとIPアドレスに関する重要な情報が表示されます。

### 1. ■ テーブルビューから [分析] ペインにアクセスするには、以下の手順を実行します。

- i. 目的のワークスペースを選択します (たとえば、 **インベントリ**)。
- ii. 目的のオブジェクトを含むビューを選択します (たとえば、**[ノード] ビュー**)。
- iii. 目的のオブジェクトを含む行を選択します。
- iv. NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。


### ■ マップビューから [分析] ペインにアクセスするには、以下の手順を実行します。


- i. 目的のワークスペースを選択します (たとえば、 **[トポロジマップ]**)。
- ii. マップビューを選択します (たとえば、**ルーター**)。

**注:** マップで開く前に開始ノードが必要な場合、使用する開始ノードの名前またはIPアドレスを入力します。

- iii. 目的のマップオブジェクトを選択します。
- iv. NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。

### ■ フォームの [分析] ペインにアクセスするには、以下の手順を実行します。

- フォームのツールバーの **[分析の表示]**を選択すると、現在のフォームのトップレベルのオブジェクト情報が[分析] ペインに表示されます。

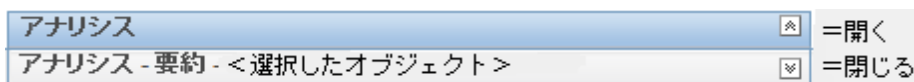
**注:**  **[分析の表示]**を選択すると、常にトップレベルのオブジェクトの情報が表示されます。

- フォームのタブのテーブルの行をクリックすると、選択したオブジェクトの詳細情報が[分析] ペインに表示されます。

NNMiでは、[分析] ペインの一番下に詳細な情報が表示されます。フォームについての詳細については、「[オブジェクトの使用](#)」を参照してください。





2. 必要に応じて、[分析ペイン] バナーの  展開ボタンをクリックして、[分析] ペインを開きます。





ビューを変更すると、NNMiは[分析] ペインの内容をクリアします。オブジェクトが選択されていない場合、[分析] ペインは空白のままです。

複数のオブジェクトを選択すると、[分析] ペインには最初に選択したオブジェクトのデータが表示されます。

3. [分析] ペインを使用して、以下のことが実行できます。

- サイズを変更するには、タイトルバーの上にマウスカーソルを置くと表示される  記号をドラッグしてサイズを調整します。
- [分析] ペインの情報のサブセットをリフレッシュするには、表示されている  [リフレッシュ] アイコンをクリックします。

[分析] ペインのすべてのデータをリフレッシュするには、オブジェクトのフォームを開いて  [リフレッシュ] または  [保存] をクリックします。

- 選択したメトリックスのSNMP線グラフを開始するには、各ゲージの下に表示されたアイコンをクリックします。
- ツールのヒントを選択し、コピーするには、ゲージをダブルクリックします。ツールのヒントを選択し、コピーできるテキストウィンドウが開きます。
- 「ゲージ」タブには、ステートポララーとカスタムポララーSNMPのデータを表示するためのリアルタイムのSNMPゲージが表示されます。
  - これらのゲージはノード、インターフェース、カスタムノード収集、およびノードセンサーのタイプ (CPU、メモリ、バッファ) と物理センサーのタイプ (バックプレーン) の情報を表示します。
  - NNMiは、ノードまたはインターフェースでサポートする重要な各MIBオブジェクト識別子 (OID) のゲージを最大で24個 (デフォルト) 表示します。

**ヒント:** NNMi管理者は、nms-ui.propertiesファイルを使用したこのデフォルトの変更について、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiコンソール」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます。

- 各ゲージは、デフォルトのリフレッシュレート (15秒) を使用して現在のOID値を表示します

**ヒント:** NNMi管理者は、nms-ui.propertiesファイルを使用したこのデフォルトの変更について、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の

「NNMiコンソール」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます。

- 表示される値の範囲は、NNMiで発生したOIDの最大値と最小値を示します。
- パーcentage値を追跡するゲージの場合、NNMiは赤い線を使用してOID値が100パーセント近くになっている場所を示します。
- モニタリングしきい値を分析するために使用されるOIDと[分析] ペインに表示されるOIDは1対1で対応していません。たとえば、[分析] ペインに表示されるCiscoメモリプールのOID値と、監視対象属性のメモリ使用率のしきい値に達しているまたはこのしきい値を超えているかどうかを計算するための値は一致しません。これは、一部のしきい値メトリックでは1つのOIDで許容される計算よりも複雑な計算を要するためです。

ゲージのラベルの値が重複して見える場合、そのラベルにマウスを重ねて、より完全なヒント名を表示できます

**ヒント:** NNMi管理者として、ゲージのタイトルをたとえばSNMP MIB変数名に変更する場合、『HP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンス』の「NNMiの保守」の章を参照してください。これは、<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>から入手できます。

**ヒント:** ビューによってはコンソールの[アクション]メニューからもアクセスできるものもあります。詳細については、「[アクションを使用したタスクの実行](#)」(150ページ)を参照してください。テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション]メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

表示される情報のタイプの詳細については、「[\[分析\] ペインを使用する](#)」を参照してください。

#### 関連トピック

[「テーブルビューを使用する」](#)(72ページ)

[「マップビューを使用する」](#)(98ページ)

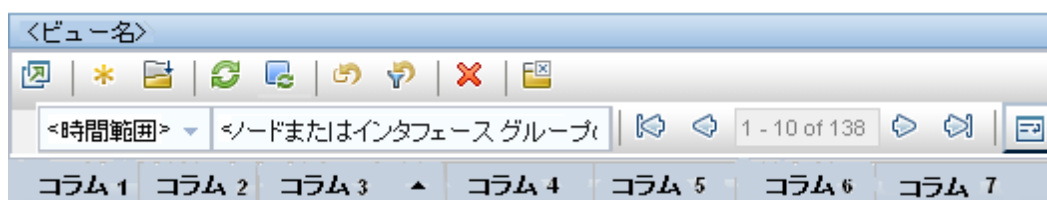
## 第8章: ビューツールバーの使用

NNMiには、以下のタイプのビューにツールバーが用意されています。

- テーブルビューツールバー
- ノードグループマップビューツールバー
- 近隣接続ビューツールバー
- パスビューツールバー
- [ネットワークの概要] ツールバー







### テーブルビューツールバー

これは、テーブルビュー表示パネルのツールバーです。






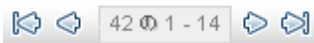






テーブルビューツールバーを使用して、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。



### ビューツールバーアイコン

アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[新規作成]。NNMi管理者のみ。新しいオブジェクトインスタンスを作成するためにフォームを開きます。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 <a href="#">オブジェクト情報にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン)</a> 」(12ページ)を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「 <a href="#">ビューをリフレッシュする</a> 」(66ページ)を参照してください。定期的なリフレッシュが無効になっている場合は再開します。
	[X周期のリフレッシュを停止]。ビューの定期的なリフレッシュを一時無効にします。詳細については、「 <a href="#">ビューの定期的なリフレッシュを停止する</a> 」(76ページ)を参照してください。
	[デフォルト設定の復元]。テーブル列のサイズ変更、ソート選択、およびフィルターを含むデフォルト設定をリセットします。非

ビューツールバーアイコン (続き)

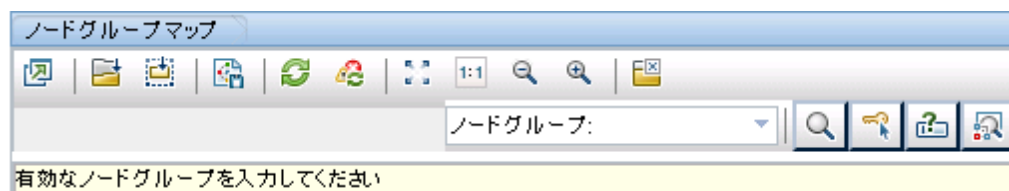
アイコン	説明
	表示にした列はビューに復元されます。詳細については、「 <a href="#">列を非表示にする</a> 」(73ページ)を参照してください。
	[デフォルトフィルターの復元]。現在適用されているフィルターをクリアします。詳細については、「 <a href="#">テーブルビューをフィルタリングする</a> 」(77ページ)を参照してください。
	[削除]。ロールで許可される場合は、選択したオブジェクトインスタンス、および、そのオブジェクトに含まれるオブジェクトを削除します。たとえば、ノードを削除すると、そのノードに関連するインタフェースおよびアドレスのインスタンス、およびそれらのオブジェクトの履歴も削除されます。
	[閉じる]。現在のビューを閉じます。
	期間フィルターを選択します。このフィルターはインシデントビューでのみ表示されます。
	利用可能なノードグループまたはインタフェースグループフィルターを選択します。
	<p>ページコントロールは、テーブルを表示する場合にのみ表示されます。このコントロールは、テーブル行の情報を1ページずつ表示します。</p> <p>1ページ前に戻るには、 [前] またはPAGE UPを使用します。</p> <p>1ページ先に進むには、 [次] またはPAGE DOWNを使用します。</p> <p>テーブルの先頭に移動するには、 [最初] またはHomeを使用します。</p> <p>テーブルの末尾に移動するには、 [最後] またはEndを使用します。</p> <p>1行上にスクロールするには、上矢印 (↑)を使用します。</p> <p>1行下にスクロールするには、下矢印 (↓)を使用します。</p> <p>ページコントロールは、現在のテーブルの行の合計数、およびその合計の中のどの行グループが現在表示されているかを表示します。</p> <p>ページコントロールに &lt;テーブルサイズの最大値&gt; が表示された場合は、テーブルの行数がNNMiで指定した最大テーブルサイズを超えていることを意味します。</p> <p>実際のテーブルサイズを調べるには、テーブルステータスバーの[合計]値を探します。NNMiは、テーブルの行の合計数とテーブルに設定されている表示制限値を表示します。</p> <p>テーブルサイズが最大テーブルサイズの値を超えた場合は、以下のことに注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• NNMiは、ユーザーがテーブルビューを更新したり、テーブルフィルターをアップデートするたびに、テーブル内の実際の行数を計算し直します。</li> </ul>

### ビューツールバーアイコン (続き)

アイコン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーがテーブルをスクロールして最後の行に到達すると、NNMiはダイアログを表示して、テーブルが指定した制限値よりも大きいことと、テーブルビューのフィルタリングを推奨することを示します。テーブルビューをフィルタリングする方法は、「<a href="#">テーブルビューをフィルタリングする</a>」(77ページ)を参照してください。</li> </ul>
 または 	テキストの折り返しを有効または無効にします。

### ノードグループマップツールバー

これは、ノードグループマップ表示パネルのツールバーです。



ノードグループマップビューのツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

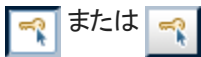





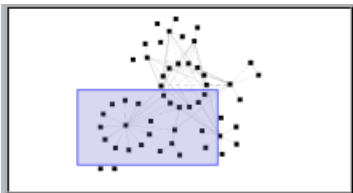
### ノードグループマップツールバーのアイコン

アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。(メインコンソールからのみ利用可能です。)現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 <a href="#">オブジェクト情報にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン)</a> 」(12ページ)を参照してください。
	[ノードグループマップを開く]。選択した子ノードグループのノードグループマップを開きます。子ノードグループマップは、現在のマップを、子ノードグループ内の各ノードの表示で置き換えます。  <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px;"> <p><b>注:</b>  ノードグループシンボルをダブルクリックして、子ノードグループマップを開くこともできます。</p> </div> <p>ノードグループの詳細については、「<a href="#">ノードグループおよびインタフェースグループについて</a>」(81ページ)を参照してください。</p>
	[マップを保存]。現在のノードグループマップ上の各ノードの現在の位置を保存します。

ノードグループマップツールバーのアイコン (続き)

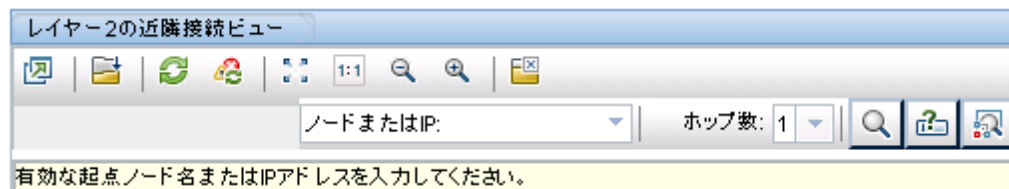
アイコン	説明
	<p><b>注:</b> このオプションを使用するたびに、前の位置情報は削除されます。</p>
	<p>[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「<a href="#">ビューをリフレッシュする</a>」(66ページ)を参照してください。</p>
	<p>[ステータスのリフレッシュ]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細については、「<a href="#">マップのノードステータスをリフレッシュする</a>」(125ページ)を参照してください。</p>
	<p>[コンテンツを合わせる (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細については、「<a href="#">ズームの倍率を調整する</a>」(121ページ)を参照してください。</p>
	<p>[実際のサイズ (1)]。現在のズーム設定をキャンセルします。詳細については、「<a href="#">ズームの倍率を調整する</a>」(121ページ)を参照してください。</p>
	<p>[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細については、「<a href="#">ズームの倍率を調整する</a>」(121ページ)を参照してください。</p>
	<p>[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細については、「<a href="#">ズームの倍率を調整する</a>」(121ページ)を参照してください。</p>
	<p>[閉じる]。現在のビューを閉じます。</p>
<p>ノードグループ <input type="text"/></p>	<p>表示するマップのノードグループを特定できます。</p> <p><b>注:</b> 入力時には、基準に一致する現在の有効なエントリのすべてを表示する選択リストが提供されます(大文字と小文字を区別します)。推奨値の中の1つを使用する必要があります。</p>
 または 	<p>[検索]。現在のマップで識別されたノードの強調表示のオン、オフを切り替え、確実にマップの表示エリア内にノードが表示されるようにします。詳細については、「<a href="#">マップ内でノードを検索する</a>」(124ページ)を参照してください。</p>

### ノードグループマップツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明	
 または 	[ <b>重要なインシデントを示す</b> ]。重要なインシデント <sup>1</sup> が関連付けられているマップシンボルをNNMiで表示したり非表示にしたりします。詳細については、「 <a href="#">ノードグループマップオブジェクト</a> 」(112ページ)を参照してください。	
 または 	[ <b>ツールチップ</b> ]。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報のオン、オフを切り替えます。詳細については、「 <a href="#">マップのツールのヒント情報を制御する</a> 」(126ページ)を参照してください。	
 または 	[ <b>概要の表示場所</b> ]。[概要]ペインの配置に関する選択肢がポップアップダイアログに表示されます(マップをパン表示するために使用されます)。「 <a href="#">マップをパン表示する</a> 」(123ページ)を参照してください。  	<div data-bbox="1166 707 1369 926" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         マップ概要の表示場所を選択します。  <input type="radio"/> 非表示  <input type="radio"/> 右上  <input type="radio"/> 左上  <input type="radio"/> 右下  <input type="radio"/> 左下       </div> <p>詳細については、「<a href="#">[概要]ペインの位置を設定する</a>」(124ページ)を参照してください。</p>


### 近隣接続ビューツールバー

これは、近隣接続ビュー表示パネルのツールバーです。



近隣接続ビューツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

### 近隣接続ビューツールバーアイコン

アイコン	説明
	[ <b>新しいウィンドウでビューを表示</b> ]。(メインコンソールからのみ利用可能です。)新しいウィンドウでビューを表

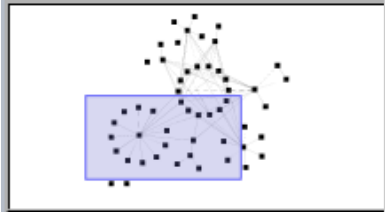
<sup>1</sup>次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。(2) 関連特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの関連処理、レートストリームの関連処理、情報または「なし」。

近隣接続ビューツールバーアイコン (続き)

アイコン	説明
	示します。現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 <a href="#">オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび [分析] ペイン)</a> 」(12ページ)を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「 <a href="#">ビューをリフレッシュする</a> 」(66ページ)を参照してください。
	[ステータスのリフレッシュ]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細については、「 <a href="#">マップのノードステータスをリフレッシュする</a> 」(125ページ)を参照してください。
	[コンテンツを合わせる (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[実際のサイズ (1)]。現在のズーム設定をキャンセルします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[閉じる]。現在のビューを閉じます。
ノードまたは IP: <input data-bbox="423 1486 711 1518" type="text"/>	隣接するノードをマップする開始ノードを指定します。ノードの名前属性の現在値またはノードのIPアドレスのうちの1つをこのフィールドに入力します。  <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p><b>注:</b> 入力時には、基準に一致する現在の有効なエントリのすべてを表示する選択リストが提供されます。推奨値の中の1つを使用する必要があります。</p> </div>
ホップ数: <input data-bbox="391 1822 472 1854" type="text" value="1"/>	マップビュー内に表示されるホップ数を選択します。

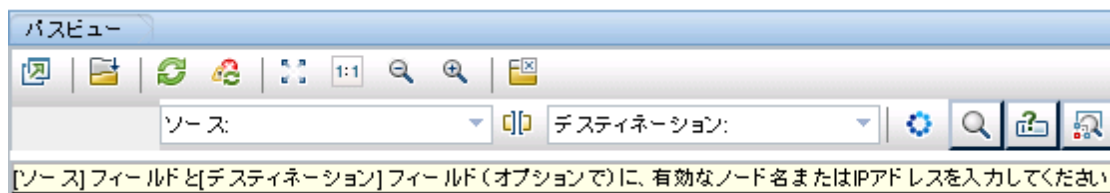


### 近隣接続ビューツールバーアイコン (続き)

アイコン	説明
	ホップとは、ワークステーション、ゲートウェイ、またはスイッチなど、中間にノードを持たないリンクで接続されたネットワークデバイスを表すノードのことです。
または	[検索]。現在のマップで識別されたノードの強調表示のオン、オフを切り替え、確実にマップの表示エリア内にノードが表示されるようにします。詳細については、「 <a href="#">マップ内でノードを検索する</a> 」(124ページ)を参照してください。
または	[ツールチップ]。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報のオン、オフを切り替えます。詳細については、「 <a href="#">マップのツールのヒント情報を制御する</a> 」(126ページ)を参照してください。
または	<p>[概要の表示場所]。[概要] ペインの配置に関する選択肢がポップアップダイアログに表示されます (マップをパン表示するために使用されます)。「<a href="#">マップをパン表示する</a>」(123ページ)を参照してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>マップ概要の表示場所を選択します。</p> <p><input type="radio"/> 非表示</p> <p><input type="radio"/> 右上</p> <p><input type="radio"/> 左上</p> <p><input type="radio"/> 右下</p> <p><input type="radio"/> 左下</p> </div> <p>詳細については、「<a href="#">[概要] ペインの位置を設定する</a>」(124ページ)を参照してください。</p> 

### パスビューツールバー

これは、パスビュー表示パネルのツールバーです。



パスビューツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。





#### パスビューツールバーのアイコン

アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。(メインコンソールか


パスビューツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明
	らのみ利用可能です。)現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 <a href="#">オブジェクト情報にアクセスする (フォームおよび [分析] ペイン)</a> 」(12ページ)を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「 <a href="#">ビューをリフレッシュする</a> 」(66ページ)を参照してください。
	[ステータスのリフレッシュ]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細については、「 <a href="#">マップのノードステータスをリフレッシュする</a> 」(125ページ)を参照してください。
	[コンテンツを合わせる (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[実際のサイズ (1)]。現在のズーム設定をキャンセルします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[閉じる]。現在のビューを閉じます。
	<p>パスビューで使用されるソースノードを指定します。</p> <p><b>注意:</b> ノードとしてスイッチは指定しないでください。</p> <p>ノードのホスト名属性 (大文字と小文字を区別する) の現在値またはノードのIPv4アドレスのうちの1つをこのフィールドに入力します。これらは、<a href="#">[ノード] フォーム</a>の値です。</p>

パスビューツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明
	<p><b>注:</b> 入力を始めると、自動補完機能によって可能性のある一致のリストが表示されます。リストから任意の項目を選択してください。</p> <p>(NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。</p>
	<p>[ノードのスイッチ]。パスビューの中でソースノードとデスティネーションノードをスイッチします。</p>
<p>デスティネーション: <input type="text"/></p>	<p>パスビューのデスティネーションノードを指定します。</p> <p><b>注意:</b> ノードとしてスイッチは指定しないでください。</p> <p>ノードのホスト名属性 (大文字と小文字を区別する) の現在値またはノードのIPv4アドレスのうちの1つをこのフィールドに入力します。これらは、[ノード] フォームの値です。</p> <p><b>注:</b> 入力を始めると、自動補完機能によって可能性のある一致のリストが表示されます。リストから任意の項目を選択してください。</p> <p>(NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。</p>
	<p>[パスの計算]。パスビューを計算します。</p> <p><b>注:</b> パスビューを再計算する場合にも、このアイコンを使用します。</p>
 または 	<p>[検索]。現在のマップで識別されたノードの強調表示のオン、オフを切り替え、確実にマップの表示エリア内にノードが表示されるようにします。詳細については、「<a href="#">マップ内でノードを検索する</a>」(124ページ)を参照してください。</p>

### パズビューツールバーのアイコン (続き)

アイコン	説明
 または 	[ツールチップ]。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報のオン、オフを切り替えます。詳細については、「 <a href="#">マップのツールのヒント情報を制御する</a> 」(126ページ)を参照してください。
 または 	<p>[概要の表示場所]。[概要]ペインの配置に関する選択肢がポップアップダイアログに表示されます(マップをパン表示するために使用されます)。「<a href="#">マップをパン表示する</a>」(123ページ)を参照してください。</p> <div data-bbox="1166 514 1377 745" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>マップ概要の表示場所を選択します。</p> <p><input type="radio"/> 非表示</p> <p><input type="radio"/> 右上</p> <p><input type="radio"/> 左上</p> <p><input type="radio"/> 右下</p> <p><input type="radio"/> 左下</p> </div> <p>詳細については、「<a href="#">[概要]ペインの位置を設定する</a>」(124ページ)を参照してください。</p> <div data-bbox="773 772 1140 970" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>






### [ネットワークの概要] ツールバー

これは、[ネットワークの概要]表示パネルのツールバーです。











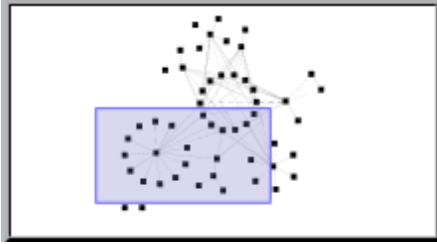


[ネットワークの概要]ツールバーでは、表示されたビューの中で以下のタスクを実行できます。

### [ネットワークの概要] ツールバーアイコン

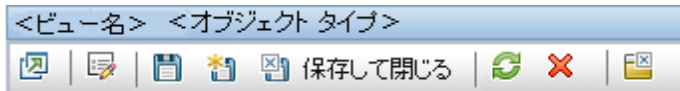
アイコン	説明
	[新しいウィンドウでビューを表示]。(メインコンソールからのみ利用可能です。)現在のビューを新しいウィンドウで表示します。
	[開く]。選択したオブジェクトのフォームを表示します。詳細については、「 <a href="#">オブジェクト情報にアクセスする(フォームおよび[分析]ペイン)</a> 」(12ページ)を参照してください。
	[リフレッシュ]。現在のビューをリフレッシュします。詳細については、「 <a href="#">ビューをリフレッシュする</a> 」(66ページ)を参照してください。
	[ステータスのリフレッシュ]。マップの各ノードステータスのみをリフレッシュします。詳細については、「 <a href="#">マップのノードステータスをリフレッシュする</a> 」(125ページ)を参照してください。
	[コンテンツを合わせる (=)]。ノード記号のサイズを調整して、ノードグ

[ネットワークの概要] ツールバーアイコン (続き)

アイコン	説明
	ループのすべてのメンバーが現在のウィンドウ内に収まるようにします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[実際のサイズ (1)]。現在のズーム設定をキャンセルします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[ズームアウト (-)]。現在のサイズを25%ズームアウトします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[ズームイン (+)]。現在のサイズを25%ズームインします。詳細については、「 <a href="#">ズームの倍率を調整する</a> 」(121ページ)を参照してください。
	[閉じる]。現在のビューを閉じます。
 または 	[検索]。現在のマップで識別されたノードの強調表示のオン、オフを切り替え、確実にマップの表示エリア内にノードが表示されるようにします。詳細については、「 <a href="#">マップ内でノードを検索する</a> 」(124ページ)を参照してください。
 または 	[ツールチップ]。マップのオブジェクトの上にマウスカーソルを置いたときにポップアップされるツールのヒント情報のオン、オフを切り替えます。詳細については、「 <a href="#">マップのツールのヒント情報を制御する</a> 」(126ページ)を参照してください。
 または 	<p>[概要の表示場所]。[概要] ペインの配置に関する選択肢がポップアップダイアログに表示されます (マップをパン表示するために使用されます)。「<a href="#">マップをパン表示する</a>」(123ページ)を参照してください。</p> <div data-bbox="613 1365 1047 1606" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <div data-bbox="1104 1176 1356 1438" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     マップ概要の表示場所を選択します。                     <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 非表示</li> <li><input type="radio"/> 右上</li> <li><input type="radio"/> 左上</li> <li><input type="radio"/> 右下</li> <li><input type="radio"/> 左下</li> </ul> </div> <p>詳細については、「<a href="#">[概要] ペインの位置を設定する</a>」(124ページ)を参照してください。</p>

## 第9章：フォームツールバーの使用

これはフォームツールバーです。



ロールが許容する場合は、ツールバーを使用してフォーム内で以下のタスクを実行できます。利用可能なアクションのグループは、フォームごとに変ります。

**ヒント：** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、**[アクション]** メニューで使用可能な項目にアクセスできます。

### フォームツールバーアイコンアクション

アイコン	アクション
	「新しいウィンドウでフォームを表示」。現在のフォームを新しいウィンドウで表示します。  <b>注：</b> NNMiは、現在のフォームを閉じてから、新しいウィンドウでそのフォームを表示します。
	<b>[分析の表示]</b> 。現在のフォームの <b>[分析]</b> ペイン情報を表示します。詳細については、「 <b>[分析] ペインについて</b> 」(129ページ)を参照してください。
	<b>[保存]</b> 。現在のフォームを保存します。
	<b>[保存して新規作成]</b> 。現在のフォームを保存し、新規のオブジェクトインスタンスを作成できる空のフォームを新たに開きます。
	<b>[保存して閉じる]</b> 。現在のフォームを保存して閉じます。
	<b>[リフレッシュ]</b> 。現在のフォームのデータを更新します。
	<b>[削除]</b> 。選択したオブジェクトインスタンス、および、そのオブジェクトに含まれるオブジェクトを削除します。たとえば、ノードを削除すると、そのノードに関連するインタフェースおよびアドレスのインスタンス、およびそれらのオブジェクトの履歴も削除されます。  <b>注：</b> ノードグループやインタフェースグループのようなフィルターを使用して作成したオブジェクトインスタンスを削除しても、NNMiによって削除されるのは、ノードグループフィルターとインタフェースグループフィルターのみです。NNMiは、選択したグループに属するノードまたはインタフェースは削除しません。
	<b>[閉じる]</b> 。現在のフォームを閉じます。

### 関連トピック

[「オブジェクト情報にアクセスする \(フォームおよび \[分析\] ペイン\)」\(12ページ\)](#)

## 第10章: オブジェクトの使用

オブジェクトには環境およびその中で発生するイベントに関する情報のデータベースレコードです。オブジェクトタイプは、それぞれ特定の種類の情報を表しています。たとえば、インシデントオブジェクトは、環境内で発生した状況またはイベントを表します。

オブジェクトは、その属性で定義されます。たとえば、インシデントオブジェクトには、(さまざまな情報が含まれる中で) ステータス属性およびソースノードが含まれます。オブジェクトのタイプが異なれば、属性の量およびタイプも異なります。属性の値のなかには、数やテキスト文字列などの単純なものがあります。その他の属性値には、関連オブジェクトへの参照など、より複雑なものもあります。たとえば、SNMPエージェント属性が[ノード] フォームの中に表示された場合、これは選択したノードに関連するSNMPエージェントを表します。

特定のタイプのオブジェクトが、選択したオブジェクトに複数関連する場合 (たとえば、あるノードに複数のインシデントが関連する場合) は、フォームには、関連オブジェクト全体のリストを示す表を表示するタブが含まれます。

ビューとは、テーブルまたはマップとしてグラフを使用して描かれた、関連するオブジェクトの集まりです。フォームは、選択したオブジェクトに関するすべての保存された属性を提供します。フォーム上に示される属性は、選択したオブジェクトまたは関連オブジェクトの属性です。

オブジェクトに対して実行できる操作は、アクションと呼ばれます。アクションとは単に、単純または複雑なタスクへのショートカットです。あるアクションは、特定のオブジェクトタイプに関連付けることができます。たとえば、ノードテーブルビューを表示する場合、そのノードの隣接するレイヤー2のノードすべてを表示するマップを開くなどのアクションです。

**ヒント:** テーブルまたはマップビュー内のオブジェクトを右クリックして、[アクション] メニューで使用可能な項目にアクセスできます。


テーブルビューからオブジェクトのフォームにアクセスするには、次の操作を行います。


オブジェクトを表す行をダブルクリックします。

NNMiでは選択したオブジェクトのフォームが表示されます。

マップビューからオブジェクトのフォームにアクセスするには、

以下のいずれかを行います。

- 該当するノードを選択して、 [開く] アイコンをクリックします。
- 多くの場合で、目的のオブジェクトをダブルクリックします。

**注:** マップオブジェクトが子ノードグループである場合、子ノードグループのオブジェクトをダブルクリックすると、現在のマップが子ノードグループのノードのマップで置換されます。子ノードグループのフォームにアクセスするには、子ノードグループのオブジェクトを選択し、 [開く] アイコンをクリックします。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。

NNMiでは選択したオブジェクトのフォームが表示されます。フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(\*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味し




ます。  
オブジェクトフォームからは、以下のことを実行できます。

[「オブジェクト属性値の変更」\(147ページ\)](#)

[「関連オブジェクトに関するすべての情報にアクセスする」\(147ページ\)](#)

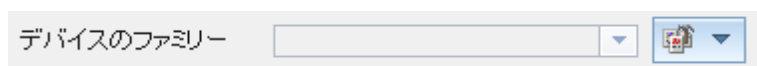
[「関連オブジェクトに関する利用可能な情報のサブセットにアクセスする」\(146ページ\)](#)

## 関連オブジェクトに関する利用可能な情報のサブセットにアクセスする



(オブジェクトのフォーム内部で)オブジェクトに備わっている情報を調べると、オブジェクト自体の属性を表す情報や、関連オブジェクトの属性を表す情報があります。関連オブジェクトは  [検索] アイコンによって示されます。たとえば、インタフェースオブジェクトの情報を表示する場合、そのインタフェースが存在するノードに関する情報にアクセスできます。

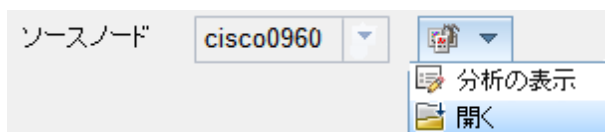
フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(\*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

以下は、検索フィールドの例です。





フォーム内部から関連オブジェクトの情報のサブセットを表示するには、次の操作を行います。

1. 詳細を表示する関連オブジェクトのフィールドに移動します。
2.  [検索] アイコンをクリックして、ドロップダウンメニューから  [分析の表示] を選択します。



3. [分析] ペインが表示され、関連オブジェクトの情報が表示されます。詳細については、「[「\[分析\] ペインについて」\(129ページ\)](#)」を参照してください。


**注:** NNMiには、NNMiセキュリティ設定でアクセスが許可されている情報のみが表示されません。詳細については、「[管理者用のヘルプ](#)」の「[割り当てるNNMiロールを決定する](#)」を参照してください。

4.  [リフレッシュ] アイコンにマウスを重ね、詳細の最終更新時刻を確認します。  
 [リフレッシュ] アイコンをクリックし、最新データを収集します。

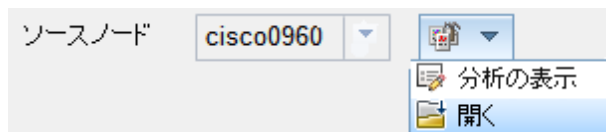
## 関連オブジェクトに関するすべての情報にアクセスする

フォームを使用してひとつのオブジェクトの詳細を調べる際には、関連する別のオブジェクトの情報にアクセスすることができます。たとえば、ノードについて保存されているすべての情報を表示する際に、そのノードのインターフェースに関して用意されているすべての情報にアクセスしてインターフェースのステータスを判断できます。



フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(\*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

表示中のフォームに含まれる任意のオブジェクトに関する別のフォームを、そのフォームの中から開くことができます。そのようなオブジェクトは  [検索] アイコンを使用して示されます。

以下は、検索フィールドの例です。



フォームの中から別のフォームを開くには、次の操作を行います。

1. 詳細を表示するオブジェクトのフィールドに移動します。
2.  [検索] アイコンをクリックし、ドロップダウンメニューから  [開く] を選択します。

そのオブジェクトのすべての属性を示す新しいフォームが表示されます。そのオブジェクト向けに指定されたデフォルト値は、すべてフォームの中にあらかじめ入力されています。

## オブジェクト属性値の変更

ノード、サブネット、インターフェースなどオブジェクトの詳細を表示した際には、そのオブジェクトの属性値を変更することができます。たとえば、特定のインシデントにノートを追加して、問題解決のためにこれまでに行った手順を説明することができます。問題が解決するまで、回避策に関する情報を入力することができます。最後に、解決策を決定した後は、問題の解決方法を記述した情報を追加できます。

**注:** ゲストユーザーロールの場合は、属性を変更できません。

属性を修正できるフィールドには2種類あります。

フォーム上で属性の前に赤色のアスタリスク(\*)が表示されるときは、属性に値が必要なことを意味します。

テキストボックス内の情報を修正するには、次の操作を行います。

1. カーソルを対象となる変更可能なフィールドに移動します。



2. 新しい値を入力します。たとえば、[注] 属性は変更可能なフィールドです。


**ヒント:** 属性が変更可能なフィールドのように見えても、テキストを入力できない場合、それは注記フィールドです。


注


**ヒント:** 属性ラベルをクリックし、テキストを表示および編集できるダイアログボックスにアクセスします。この機能を使用すると、さらに多くのテキストを挿入する、または元の表示エリアよりも長いテキストフィールドを表示できます。

3. 編集が終了したら、以下のことを実行します。

-  [保存] をクリックして変更を保存します。
-  [保存して閉じる] をクリックして変更を保存し、フォームを閉じます。


 **検索フィールドの情報を修正するには、以下の手順を実行します。**


1. テキストボックスの右側にある、このアイコン  を探します。例:


デバイスのファミリー  



2. 以下のいずれかを行います。

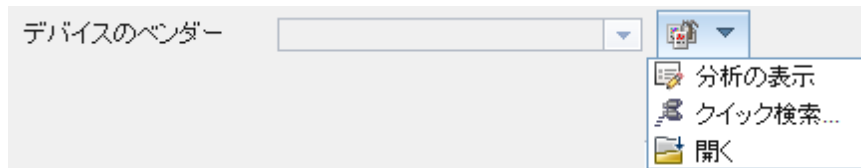
- テキストボックスへの入力を開始します。NNMiiには有効な選択肢のすべてがリストされます。リストの中から設定値を選択できます。

デバイスのファミリー  



デバイスのベンダー  

デバイスのカテゴリ  

-  [検索] アイコンをクリックし、 [クイック検索] を選択して、有効な選択肢のリストを表示します。



3. 編集が終了したら、以下のことを実行します。

-  [保存] をクリックして変更を保存します。
-  [保存して閉じる] をクリックして変更を保存し、フォームを閉じます。

# 第11章：アクションを使用したタスクの実行

アクションを使用すると、選択したアイテムに対して操作を実行できます。使用できるアクションは、NNMiユーザーロールによって決まります。管理者はオペレーターよりも多くのアクションを選択できます。環境内にSPIをインストールしている場合は、アクションリストが増えている可能性があります。一部のアクションは、オブジェクトの属性値を変更したり、ノードへのログオンアクセスを必要とします (telnetなど)。

考えられるアクションの説明については、「[NNMiアクション](#)」の表を参照してください。

説明したアクションのいずれかを実行するには、[アクション] メニューからアクションを選択します。[アクション] メニューは、NNMiコンソールのメインメニューバー、および新規のウィンドウ内に開かれた任意のフォームまたはビューのメニューバーからアクセスできます。アクションへのアクセス方法の詳細については、「[アクションを起動する](#)」(13ページ)を参照してください。

## NNMiアクション

アクション	説明
レイヤー2の近隣接続ビュー	[マップ] > [レイヤー2の近隣接続ビュー] レイヤー2ネットワークのマップを表示します。レイヤー2マップは、スイッチの接続性の理解を深めるのに役立ちます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
レイヤー3の近隣接続ビュー	[マップ] > [レイヤー3の近隣接続ビュー] レイヤー3ネットワークのマップを表示します。レイヤー3ネットワークマップは、ルーターの接続性の理解を深めるのに役立ちます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。
パスビュー	[マップ] > [パスビュー] 指定された2つのノード間のルートを示すマップを表示します。ソースノードとデスティネーションノードはスイッチ以外である必要があります。  <b>注:</b> (NNMi Advanced) パスビューはIPv4アドレスでのみ機能します。NNMi Advanced IPv6アドレス値は、パスビューに有効な選択肢ではありません。IPv6アドレスで設定されているネットワーク内のデバイスは、パスビューマップに表示できません。
MPLS WANクラウドマップ	(NNMi Advanced、およびHP Route Analytics Management System (RAMS) for MPLS WAN) MPLS WAN クラウド全体のレイヤー3接続のマップが表示されます。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。  NNMi管理者は、RAMSの設定について「 <a href="#">HP RAMS MPLS WAN 設定 (NNMi Advanced)</a> 」を参照してください。

### インシデントに固有のNNMiアクション

アクション	説明
インタフェース アクション	<p>ソースオブジェクトがインタフェースのインシデントに対してのみ使用できます。</p> <p>インタフェースで利用可能なすべてのアクションへのアクセスを提供します。インタフェースで利用可能なアクションの詳細については、「<a href="#">ノード、インタフェース、およびIPアドレスに固有のアクション</a>」を参照してください。</p>
IPアドレスア クション	<p>ソースオブジェクトがIPアドレスのインシデントに対してのみ使用できます。</p> <p>IPアドレスで利用可能なすべてのアクションへのアクセスを提供します。IPアドレスで利用可能なアクションの詳細については、「<a href="#">ノード、インタフェース、およびIPアドレスに固有のアクション</a>」を参照してください。</p>
ノードア クション	<p>ノードで利用可能なアクションのすべてにアクセスできます。ノードで利用可能なアクションの詳細については、「<a href="#">ノード、インタフェース、およびIPアドレスに固有のアクション</a>」を参照してください。</p> <p>アクションは、インシデントのソースノードに適用されます。</p>
ノードグルー プメン バー	<p>Islandノードグループインシデントのみ。選択したインシデントのソースオブジェクトがIslandノードグループのメンバーであるノード表を表示します。</p> <p>アイランドグループとは、NNMiが検出する完全接続ノードのグループです。NNMiは、このグループは残りのトポロジとは接続していないと判断します。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注:</b> インシデントのソースオブジェクトがIslandノードグループの場合、インシデントメッセージにはリモートサイトが含まれます。</p> </div>
ノードグルー プマ ップ	<p>[マップ] &gt; [ノードグループマップ]</p> <p>ソースノードが属する先の最下位のノードグループマップが表示されます。たとえば、ノードが子ノードグループに属する場合、子ノードグループが表示されます。</p> <p>ソースノードが最下位にある複数のノードグループのメンバーである場合、NNMiでは表示するノードグループマップを選択するよう求められます。</p> <p>インシデントのソースオブジェクトがIslandノードグループの場合、NNMiはIslandノードグループマップを表示します。</p> <p>アイランドグループとは、NNMiが検出する完全接続ノードのグループです。NNMiは、このグループは残りのトポロジとは接続していないと判断します。</p> <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注:</b> インシデントのソースオブジェクトがIslandノードグループの場合、インシデントメッセージにはリモートサイトが含まれます。詳細については、「<a href="#">オペレーター用のヘルプ</a>」を参照してください。</p> </div> <p>選択したソースノードがどのノードグループのメンバーでもない場合、[ノードグループマップ] アクションを選択すると、NNMiでは情報メッセージが表示されます。</p>

### インシデントに固有のNNMiアクション (続き)

アクション	説明
ソースノード	現在のインシデントのソースノードについてノードフォームを開きます。
ソースオブジェクト	現在のインシデントについてソースオブジェクトフォームを開きます。たとえば、ソースオブジェクトがレイヤー2の接続である場合、NNMiではレイヤー2接続フォームを開きます。
カスタムポーラー結果のグラフ化	選択したインシデントのソースノードに関連付けられているカスタムポーラー収集それぞれからのすべてのMIB式をグラフ化します。

### ノード、インターフェース、およびIPアドレスに固有のアクション

アクション	説明
ノードグループマップ	<p>[マップ] &gt; [ノードグループマップ]</p> <p>このアクションでは、ソースノード、またはノードで選択されているインターフェース/IPアドレスが属する先の、最下位のノードグループマップが表示されます。たとえば、ノードが子ノードグループに属する場合、子ノードグループが表示されます。</p> <p>ソースノード、あるいはノード上の選択したインターフェースまたはIPアドレスが、同じレベルにおける複数のノードグループのメンバーである場合、NNMiでは、表示するノードグループマップを選択するよう求められます。</p> <p>選択したソースノード、インターフェース、またはIPアドレスがどのノードグループのメンバーでもない場合、[ノードグループマップ] アクションを選択すると、NNMiでは情報メッセージが表示されます。</p>
グラフ	<p>選択したノードまたはインターフェースに対して表示するように設定されたSNMPデータをリアルタイムでグラフに表示します。グラフ名には、グラフ内のデータタイプがわかるような名前を設定します。</p> <p>NNMiには線グラフのセットが備わっています。詳細については、「オペレーター用のヘルプ」を参照してください。NNMi管理者またはHP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)は、[アクション] メニューリストに表示される、追加の線グラフを設定する場合があります。</p>

### ノードグループに用意されているアクション

アクション	説明
ノードグループマップ	<p>[マップ] &gt; [ノードグループマップ]</p> <p>選択したノードグループに属するすべてのノードの現在のマップを表示します。</p>
メンバーのプレビュー	<p>[ノードグループの詳細] &gt; [メンバーのプレビュー (現在のグループのみ)]:</p> <p>選択したノードグループに属するすべてのノードのリストを表示しま</p>

#### ノードグループに用意されているアクション (続き)

アクション	説明
	す。
メンバーの表示	[ノードグループの詳細] > [メンバーの表示 (子グループを含む)]: 選択したノードグループに加え、そのすべての子ノードグループに属しているすべてのノードのリストを表示します。
すべてのインシデントの表示	[ノードグループの詳細] > [すべてのインシデントの表示] 選択したノードグループに関連付けられているインシデントをチェックします。
すべての未解決インシデントの表示	[ノードグループの詳細] > [すべての未解決インシデントの表示] 選択したノードグループに関連付けられている未解決のインシデントをチェックします。
ステータスの詳細	[ノードグループの詳細] > [ステータスの詳細] 選択したノードグループのすべてのメンバーのステータスについてのレポートが表示されます。

#### ノードグループマップに用意されているアクション

アクション	説明
ノードグループマップを開く	選択されたノードグループマップを表示します。
ノードグループマップの設定を開く	選択されたノードグループマップの[ノードグループマップの設定]フォームを開きます。詳細については、「 <a href="#">ノードグループマップの設定を定義する</a> 」を参照してください。

#### インタフェースグループに用意されているアクション

アクション	説明
メンバーの表示	[ノードグループの詳細] > [メンバーの表示] 選択したインタフェースグループに属するすべてのノードのリストを表示します。

#### カスタムポーリングインスタンスに固有のアクション

アクション	説明
ポーリングインスタンスのグラフ化	選択したカスタムポーリングインスタンスのカスタムポーリング結果を線グラフで表示します。



## NNM iSPI Performance for Metricsのアクション

HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Software (NNM iSPI Performance for Metrics) が必要です。ダッシュボードビューにパフォーマンスデータを挿入したり、NNMiの設定を共有することによってNNM iSPI Performance for Metricsレポートを拡張するには、オプションのNetwork Performance Server (NPS) をインストールします。[詳細については、ここをクリックしてください。](#)

[アクション] メニューには、NNM iSPI Performance for Metricsレポートメニューを表示する追加の選択項目があります。レポートメニューの文脈は現在選択されているオブジェクト (ノード、ノードグループ、インターフェースまたはインターフェースグループ) によって変わります。2つ以上のオブジェクトを選択すると、複数のNNM iSPI Performance for Metricsレポートが開きます (各オブジェクトにつき1つで、最大5つ)。

NNMiコンソールのどの場所でも、[アクション] メニューには以下のオプションが表示されます。

[アクション] > [HP NNM iSPI Performance] > [レポート - レポートメニュー]

パスビューでは、[アクション] メニューに以下の追加のオプションが表示されます。

[アクション] > [HP NNM iSPI Performance] > [レポート - パスヘルス]

NNMi管理者は、NNMiとNNM iSPI Performance for Metrics間におけるインターフェースグループおよびノードグループの情報をデフォルトの時間よりもすばやく同期するようNNMiを強制できます。この追加オプションは、[アクション] メニュー下にも表示されます。

[アクション] > [HP NNM iSPI Performance] > [インターフェースグループとノードグループの同期]

NNMi管理者である場合、詳細については「[ノードまたはインターフェースのグループを作成する](#)」を参照してください。

Performance Graphingコンソールを起動して、NNM iSPI Performance for Metricsで収集されたメトリックスのグラフを表示できます。Performance Graphingコンソールを起動するオプションは、以下の場所に表示されます。

[アクション] > [HP NNM iSPI Performance] > [Performanceのトラブルシューティング]

アクションへのアクセス方法の詳細は、「[アクションの起動](#)」を参照してください。

## 第12章: NNMiに関する情報の表示

2つのメニュー項目に、インストール済みのNNMiに関する現在の情報が含まれています。

- [ヘルプ] > [システム情報]

[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[システム情報] ポップアップ内で、ヘルプにアクセスする  アイコンをクリックします。

- [ヘルプ] > [HP Network Node Manager i Softwareについて]

### システム情報: [製品] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

注: 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[製品] タブ: NNMiに関する情報を表示します。

- HP Network Node Managerの製品名、バージョン番号、およびインストールされた日時。
- 現在のNNMiセッションに関する次のロケール情報 (言語):
  - クライアントのロケール
  - サーバーのロケール

- SNMP文字列のエンコーディング
- Webブラウザ
- NNMiシステムヘルスによって、現在のNNMiヘルス状態のステータスが示されます。
  - ステータス
  - 最後の更新日時
- 現在のNNMiユーザーに関するユーザー情報:
  - NNMiへのログイン時に使用したユーザー名。
  - 現在割り当てられているNNMiロール<sup>1</sup>。
  - 現在属しているユーザーグループ。
- 現在インストールされているNNMi製品の名前。
  - Network Node Manager i Community
  - Network Node Manager i
  - Network Node Manager i Advanced
  - Network Node Manager i Premium
  - Network Node Manager i Ultimate
- [Type] は、次のいずれかになります。

Instant-On	NNMiは、インストール時に、60日間、250ノードのライセンスを自動的に供与します。
Community	NNMiの無料お試しバージョンがインストールされます。
Capacity	NNMiがインストールされます。
Capacity(Adv)	NNMi Advancedがインストールされます。
Premium	NNMi Premiumがインストールされます。
Ultimate	NNMi Ultimateがインストールされます。

<sup>1</sup>4つの特別なNNMiユーザーグループのうちいずれかのメンバーシップによって決まります (NNMi管理者、NNMiレベル2オペレーター、NNMiレベル1オペレーター、またはNNMiゲストユーザー)。このメンバーシップによって、NNMiコンソール内に表示される項目と、コンソール内で実行できる操作が決まります。

## システム情報: [ヘルス] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

**各タブの詳細について:**

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[ヘルス] タブ: NNMiサーバーの現在のヘルスに関する情報を表示します。

NNMi稼働状態のサマリーレベルの情報 (NNMiの総合的なステータスと、以下の項目に関連する情報および問題を含む) を表示します。

- メモリ
- NNMiデータベース
- システムリソース
- ディスク使用率
- SNMPの要求とキュー
- グローバルネットワーク管理 (NNMi Advanced)

**注:** NNMi管理者は、[ヘルス] タブの [詳細ヘルスレポートの表示] ボタンをクリックして詳細を表示できます。

NNMiでは、ステータス値によってNNMiの総合的なヘルスステータスを示します。

### NNMiの総合的なヘルスステータス

ステータス	説明
正常域	NNMiに問題が発生していないことを示します。
注意域	NNMiに重大な影響は与えていないパフォーマンス問題があることを示します。
警戒域	データを無効にする可能性がある問題があることを示します。たとえば、ステートポラーのようなNNMiコンポーネントが予定の範囲外で動作して、同期しなくなります。

### NNMiの総合的なヘルステータス (続き)

ステータス	説明
重要警戒域	NNMi管理サーバーの運用に重大な影響は与えるけれども、危険域には至っていない問題があることを示します。重要警戒域ステータスは、通常、何らかのアクションが必要なことを意味します。たとえば、トラップのしきい値に到達した場合です。
危険域	NNMiが機能していないことを示します。たとえば、NNMiのメモリが枯渇した場合、すべてのデータベース接続が失われた場合、あるいは主要なNNMiコンポーネントが故障した場合です。

## システム情報: [サーバー] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

#### 各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[サーバー] タブ: NNMi管理サーバーに関する情報を表示します。

- ホスト名
- IPアドレス
- IPv6アドレス (NNMi Advanced)

**ヒント:** (NNMi Advanced) [使用不可] に設定する場合は、以下の点を考慮してください。

- (IPv6 対応のために必要な) NNMi Advancedを使用していますか?
- NNMi管理者がNNMi AdvancedのIPv6機能を無効化しましたか?  
<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>で入手可能なHP Network Node Manager i Softwareデプロイメントリファレンスの「NNMi AdvancedでIPv6を設定する」の章を参照してください。

- IPv6管理 (NNMi Advanced)

- IPv6通信 (NNMi Advanced)
- 正式な完全修飾ドメイン名 (FQDN)
- ユーザーアカウントおよびユーザーグループ情報 (NNMiデータベースまたはLDAPを使用したディレクトリサービスから取得)
- シングルサインオン (設定ファイル名 および機能が有効化されているかどうか)
- オペレーティングシステム
- インストールディレクトリ
- データディレクトリ
- 使用可能なプロセッサ
- NNMiの空き/割り当て済みメモリ (% 空き)
- NNMiの最大試行可能メモリ

**注:** (NNMi Advanced) グローバルネットワーク管理機能を使用している場合、このタブには2つのNNMiサーバーに関する情報が表示されます。

- 使用しているNNMi管理サーバーがグローバルマネージャーの場合、表示される情報の見出しは、**グローバル管理サーバー**です。
- 使用しているNNMi管理サーバーがリージョナルマネージャーの場合、このタブで表示される情報の見出しは、**管理サーバー**です。

## システム情報: [グローバルネットワーク管理] タブ

[グローバルネットワーク管理] タブ: (NNMi Advanced) グローバルネットワーク管理機能を有効にしている場合に関連情報を一覧表示します。

- 使用しているNNMi管理サーバーがグローバルマネージャーの場合、表示される情報の見出しは、**このグローバルマネージャーにレポートしているリージョナルマネージャー**です。
- 使用しているNNMi管理サーバーがリージョナルマネージャーの場合、このタブで表示される情報の見出しは、**グローバルマネージャーにレポート中**です。

一覧表示される管理サーバーごとに、次の情報が表示されます。

- 名前
- 接続状態
- ノードカウント

## システム情報: [データベース] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

### 各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[データベース] タブ: NNMiデータベースに保存されているオブジェクトの各タイプの一覧を表示します。

使用できるオブジェクトは次のとおりです。

- ノード
- SNMPエージェント
- インタフェース
- IPアドレス
- レイヤ-2の接続
- インシデント
- IPサブネット
- VLAN
- ノードセンサー
- シャーシ
- カード
- 物理センサー
- ポート

- カード冗長グループ
- ルーター冗長グループ (NNMi Advanced)

## システム情報: [ステートポーラー] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

### 各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[ステートポーラー] タブ: NNMi State Pollerの現在のヘルスに関する統計情報を一覧表示します。

- ステータス
- 要求された収集
- 完了した収集
- 処理中の収集
- スキップ、古い収集、または例外のエラーインスタンス
- キューの長さ

### 拡張

このセクションには、他のNNM iSPIプログラムが環境内にインストールされた状態でのステートポーラーの相互作用のヘルス状態に関する情報が表示されます。

### 監視対象オブジェクト

このセクションには、NNMiによってモニタリングされているネットワークオブジェクトに関する (オブジェクトタイプの数や現在のモニタリングレートなどの) 詳細が表示されます。

### ノード

このセクションには、現在障害をレポートしているノードの数と、各NNM iSPIおよびNNMiによってポーリングされているノードの合計数が表示されます。



## システム情報: [カスタムポーラー] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

### 各タブの詳細について:

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[カスタムポーラー] タブ: NNMiカスタムポーラーの現在のヘルスに関する統計情報を一覧表示します。

- ステータス
- 検出が要求されました
- ノード検出を待機中
- ノード検出を処理中
- SNMP応答キューサイズ
- 検出が完了しました
- 過去5分以内の古いノード
- 古いノードの合計

### 拡張

このセクションには、他のNNMiSPIプログラムが環境内にインストールされた状態でのカスタムポーラーの相互作用のヘルス状態に関する情報が表示されます。

### 監視対象オブジェクト

このセクションには、NNMiによってモニタリングされているネットワークオブジェクトに関する (オブジェクトタイプの数や現在のモニタリングレートなどの) 詳細が表示されます。

## システム情報: [コアエンジン] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

**各タブの詳細について:**

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[コアザルエンジン] タブ: NNMi Causal Engineの現在のヘルスに関する統計情報を一覧表示します。

**ヒント:** NNMiのCausal Engineは、各オブジェクトのステータス値を計算するためのデータを収集します。このデータとともに、ステートポラーにより収集された状態の情報を使用して、Causal Engineは各ノード、インタフェース、およびSNMPエージェントのステータスを計算します。

状態 = NNMi State Pollerによって提供され、各オブジェクトに関して常に最新の状態となる値。

ステータス = 下にある入力処理の遅延に一覧表示されている時間だけ遅れて実行される値。

[コアザルエンジン] タブでは、以下の情報を入手できます。

- 入力処理の遅延
- 条件に対するデータのプリロードのエラー
- 条件バッチに対するデータのプリロードの平均時間
- 条件の処理の平均時間
- 進行中のすべてのNNMiコンポーネントの再同期 (trueまたはfalse)

## システム情報: [拡張] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

**各タブの詳細について:**

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:

- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[拡張] タブ: NNMi管理サーバーに導入されているNNMi拡張機能を一覧表示します ([詳細については、ここをクリックしてください](#))。

#### • 製品拡張情報

NNMiは、このリスト内の項目と通信できるように設定されています。

Network Performance Server (NPS): HP Network Node Manager iSPI Performance for Metrics Softwareに用意されている (有効または無効)

診断サーバー: HP Network Node Manager iSPI Network Engineering Toolset Softwareに用意されている

#### • 配備されているHP NNM iSPIソフトウェア

このセクションには、現在インストールされているHP Network Node Manager i Software Smart Plug-ins (iSPIs)のリストが表示されます。右端の列には、NNM iSPIソフトウェアとデバイス拡張機能がインストールされたサーバーのホスト名が表示されます。

#### • その他

(NNM iSPIとは別に) NNMi機能を拡張するその他の拡張機能。

## システム情報: [統合] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

**各タブの詳細について:**

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[統合] タブ: NNMi管理サーバーに導入されNNMiと統合されるその他のソフトウェア製品の一覧表。この表には、以下の情報を示す列が含まれます。

- 統合の名前
- IDテキスト文字列
- バージョン番号
- 選択した統合で現在使用されている実際の設定ファイルを表示するリンク。

## システム情報: [デバイス] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

**各タブの詳細について:**

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[デバイス] タブ: 現在使用可能なデバイス拡張情報の一覧表。この表には、以下の情報を示す列が含まれます。

- デバイス拡張の名前
- IDテキスト文字列
- バージョン番号
- 選択したデバイス拡張で現在使用されている実際の設定ファイルを表示するリンク。

## システム情報: [コンポーネントバージョン] タブ

NNMiシステム情報を表示するには、[ヘルプ] > [システム情報] を選択します。[システム情報] ポップアップに、NNMiの現在の情報が豊富に示されます。

**注:** 入手可能な情報は、割り当てられたNNMiロールに応じて異なります。

**各タブの詳細について:**

- NNMiゲストユーザー:
- NNMiレベル1オペレーター:
- NNMiレベル2オペレーター:
- NNMi管理者:

[コンポーネントバージョン] タブ: NNMiソフトウェア内の各 NNMiコンポーネントを、名前およびバージョン番号別に一覧表示します。各コンポーネントは、NNMiソフトウェアを構成するコードのサブセットです。

## 第13章: NNMiのバージョンおよびライセンス情報の表示

[ヘルプ] > [HP Network Node Manager i Softwareについて] を選択すると、次の情報が表示されます。

- 現在インストールされているNNMi製品の名前。
  - Network Node Manager i
- NNMiの現在のバージョン番号
- [Type] は、次のいずれかになります。

Instant-On	NNMiは、インストール時に、60日間、250ノードのライセンスを自動的に供与します。
Community	NNMiの無料お試しバージョンがインストールされます。
Capacity	NNMiがインストールされます。
Capacity(Adv)	NNMi Advancedがインストールされます。
Premium	NNMi Premiumがインストールされます。
Ultimate	NNMi Ultimateがインストールされます。

ヒント: [ヘルプ] > [システム情報] の「[システム情報: \[製品\] タブ](#)」(155ページ) および「[システム情報: \[拡張\] タブ](#)」(163ページ) も参照してください。



# 用語集

## A

### AES

Advanced Encryption Standard

### Anycast Rendezvous Point IPアドレス

Rendezvous Pointアドレスは、マルチキャストネットワーク構成でルーターに使用されるループバックアドレスです。

## B

### BGP

ボーダーゲートウェイプロトコル

## C

### Causal Engine

NNMi Causal Engineはネットワーク運用の健全性を分析し、継続的に各デバイスの運用ステータスを提供します。Causal Engineはさらに、問題を詳細に至るまで評価し、根本原因を可能な限り特定し、インシデントの送信を通じて問題をユーザーに通知します。Causal Engine管理イベントから生成されたインシデントの場合、インシデントビューには発生元としてNNMiが表示されます。

### CBC

暗号ブロック連鎖

### CE

Customer Edge (CE) ルーターです。ネットワークに設置されたルーターです。データの最終送信先のパスにあるインターネットサービスプロバイダーのルーター (Provider Edge) にデータを送信します。。

### CRC

巡回冗長検査

## D

### DES

データ暗号化標準

## E

### EIGRP

Enhanced Interior Gateway Routing Protocol

### EVPN

Ethernet仮想プライベートネットワークです。

## H

### HMAC

ハッシュベースのメッセージ認証コード

### hops

ホップとは、ワークステーション、ゲートウェイ、またはスイッチなど、中間にノードを持たないリンクで接続されたネットワークデバイスを表すノードのことです。

### HSRP

Hot Standby Router Protocol

## I

### IPv6リンクローカルアドレス

同一リンク上の別のノードとの通信 (LAN またはVLAN) でのみ使用する、ルーティングできないIPv6ユニキャストアドレスです。リンクローカルアドレスは、ルーターを通じて転送する必要のある通信には使用できません。IPv6自動設定により、システムのIPv6が有効な各インタフェースに対し、fe80::/10アドレス空間のユニークリンクローカルアドレスが自動的に割り当てられます。



## ISIS

Intermediate System to Intermediate Systemプロトコル

## J

### Jython

Jythonは(JPythonの後継的な)プログラム言語で、Pythonモジュールの代わりにJavaクラスを使用します。

## M

### MACアドレス

工場出荷時にネットワークアダプターまたは内蔵ネットワークケーパビリティを装備したデバイスに焼き付けられるMAC (Media Access Control) アドレス(ハードウェアまたは物理的地址)。MACアドレスには、6組の16進数値があり、それぞれコロンまたはダッシュで区切られています。  
例 02:1F:33:16:BC:55

## MD5

メッセージダイジェストアルゴリズム5

### MIBファイル

Management Information BaseファイルはSNMP通信プロトコルの基本的なビルディングブロックです。SNMPエージェントは、サポートされるMIBファイルのグループによって定義された要求に回答するように設定されます。

## MPLS

マルチプロトコルラベルスイッチング

## N

### NAT

ネットワークアドレス変換。NNMiでは次のプロトコルをサポートします: 静的ネットワークアドレス変換 (NAT)、動的ネットワークアドレス変換 (NAT)、動的ポートアドレス変換。

## NIC

ネットワークインタフェースコントローラー

### NNMiユーザーグループ

NNMiユーザーグループはNNMiで提供されているユーザーグループです。ユーザーは、NNMi管理者、NNMiレベル2オペレーター、NNMiレベル1オペレーター(レベル2オペレーターよりもアクセス権限が低い)、およびNNMiゲストユーザーのうち少なくとも1つのNNMiユーザーグループにユーザーアカウントがマップされるまでNNMiコンソールにアクセスできません。

### NNMiロール

4つの特別なNNMiユーザーグループのうちのいずれかのメンバーシップによって決まります (NNMi管理者、NNMiレベル2オペレーター、NNMiレベル1オペレーター、またはNNMiゲストユーザー)。このメンバーシップによって、NNMiコンソール内に表示される項目と、コンソール内で実行できる操作が決まります。

## O

### OSPF

Open Shortest Path Firstプロトコル

## P

### PE

Provider Edgeルーターです。データを受信するデータの最終送信先のパスにあるインターネットサービスプロバイダーのルーター (Provider Edge) です。ネットワークのCustomer Edge (CE) ルーターがこのPEに接続します。

## R

### RAMS

HPルーター分析管理システム

## S

### SHA

セキュアハッシュアルゴリズム

## U

### UUID

UUID (Universally Unique Object Identifier)。すべてのデータベース内で一意です。

## V

### VRPP

Virtual Router Redundancy Protocol

## W

### WANクラウド

現在使用しているネットワークとMPLSネットワークとの間のレイヤー3接続。

## カ

### カスタムノード収集

カスタムノード収集は、少なくとも1つの関連付けられたカスタムポーラーポリシーがあるトポロジノードを識別します。トポロジノードは複数のポリシーに関連付けることができるため、複数のカスタムノード収集で同じトポロジノードが表示されることがあります。

### カスタムポーリングインスタンス

カスタムポーリングインスタンスは、ノードに対して評価されたMIB変数の結果を表します。検出情報を使用してMIB変数を初めて検証すると、[モニタリング] ワークスペースの[カスタムポーリングインスタンス] ビューに結果が表示されます。状態が変化すると、その状態の変化を引き起こした最新のポーリング値が含まれてカスタムポーリングインスタンスが更新されます。こ

れらの結果は、関連付けられているカスタムノード収集のステータスを決定するために使用されます。

### カスタムユーザーグループ

カスタムユーザーグループは、ユーザーが作成するユーザーグループのことです。これらのユーザーグループはNNMiで提供されているユーザーグループの追加グループです。

## グ

### グローバルユニキャストアドレス

(2000:: ~ 3fff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff) インターネットのあらゆる場所でのノード間の通信に使用する、パブリックにルーティング可能なIPv6ユニキャストアドレスです。アドレスの最初の部分は、インターネットサービスプロバイダーによって割り当てられたユーザーの組織の2000::/3アドレス空間のグローバルルーティングプレフィックスです。完全ホストアドレスは、手動で設定することも、IPv6自動設定と隣接検出を使用して自動的に割り当てすることもできます。

## ノ

### ノード

NNMiによって実用的にまとめて関連付けられる、物理または仮想のネットワークインタフェースの収集です。

## プ

### プライベートIPアドレス

自宅またはオフィスのローカルエリアネットワーク (LAN) で再利用できるIPv4アドレスです。RFC 1918およびRFC 4193 (10.\*.\*、169.254.\*.\*、172.16-31.\*.\*、および192.168.\*.\*)により設定された標準に準拠します。

## マ

### マルチキャストアドレス

グループに加わったホストグループの識別に使用します。IPv4マルチキャストアドレスは224.0.0.0 ~ 239.255.255.255の範囲で、IPv6マルチキャストアドレスのプレフィックスはff00::/8です。

## ユ

### ユニークローカルアドレス

(fd00:: ~ fdff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff:ffff) ユーザーの組織内のノード間の通信のみ使用する、プライベートネットワーク内でのみルーティング可能なIPv6ユニキャストアドレスです。ユニークローカルアドレスは、パブリックなインターネットにはルーティングできません。このアドレスは、fd00:/8アドレス空間のルーティングプレフィックスによって構成され、ユーザーの組織によってローカルに割り当てられます。完全ホストアドレスは、手動で設定することも、IPv6自動設定と隣接検出を使用して自動的に割り当てすることもできます。

## リ

### リンクアグリゲーションの分割

3つ以上の終端があるリンクアグリゲーションです。ベンダーによっては、マルチシャーシリンクアグリゲーション (MLAG)、SLAG、MLAG、MC-LAGとも呼ばれます。

### リンク集約

複数のインタフェース (アグリゲーションメンバーインタフェース) が1つのインタフェース (アグリゲータインタフェース) として機能するように設定するためにスイッチで使用されるプロトコル。2つのアグリゲータインタフェースで接続を確立する場合、この接続はアグリゲータレイヤー2接続になります。アグリゲータレイヤー2接続はレイヤー2の近隣接続ビューマップに太線で表示されます。また、各終端 (アグリゲータインタフェース)

には [インタフェース] アイコンが表示されません。太線をダブルクリックすると、参加しているアグリゲーションメンバーのレイヤー2接続を表す複数の細線に変換され、細線の各終端にはアグリゲーションメンバーインタフェースが表示されます。

## ル

### ルーティングプレフィックス

パケットのグループ全体に対してプレフィックスを宣言することで、各パケットに含まれる必須のルーティング情報を短縮またはフィルターするために使用されるネットワークプロトコルです。このプレフィックスには、アドレスのビット数も示されています。

### ループバックアドレス

ループバックインタフェースに関連付けられたアドレス。ループバックインタフェースは、内部通信の経路になるデバイスの仮想インタフェースです。多くのベンダーは、特に管理用に設定したループバックを用意しています。ループバックインタフェースの設定は、ベンダーとモデルごとにさまざまです。詳細については、各デバイスのドキュメントを参照してください。NNMiでは、ifType 24番、IANA ifType-MIB のsoftwareloopbackを使用してループバックアドレスを特定します。

## レ

### レイヤー2

マルチレイヤーの通信モデルであるOSI (Open Systems Interconnection) のデータリンク層を指します。データリンク層は、ネットワーク内の物理リンク間でデータを転送します。スイッチとスイッチルーターは、レイヤー2レベルでデータメッセージをリダイレクトするデバイスです。この場合、メッセージの送信先を調べるには、あて先のMAC (Media Access Control) アドレスを使います。

## レイヤー3

マルチレイヤーの通信モデルであるOSI (Open Systems Interconnection) のネットワーク層を指します。ネットワーク層は、ネットワーク内の隣接ノードアドレスの認識、ルートとサービス品質の選択、ローカルホストドメインへの受信メッセージの認識と転送を処理します。ルーターとスイッチルーターは、データメッセージをレイヤー3レベルでリダイレクトするデバイスです。サブネットの接続はすべてレイヤー3 (IP) レベルで行われます。

ループ] アイコン間の太線です (太線のいずれかの終端に [インタフェース] アイコンまたは [IPアドレス] アイコンがありません)。この太線は、マップのスペース確保と簡素化のために結合された複数の接続のセットを表します。NNMi管理者は、NNMiが各接続を複数接続の線にまとめる最低単位となる接続数を指定します ([ユーザーインタフェースの設定] の [複数接続しきい値] 属性)。太線をダブルクリックすると、元の一連の接続に変換され、[インタフェース] アイコンまたは [IPアドレス] アイコンが線のいずれかの終端に表示されます。

## 管

### 管理対象外

管理モードが「非管理対象」または「サービス停止中」であることを意味します。

## 自

### 自律システム

自律システム (AS) は、接続されたインターネットプロトコル (IP) ルーティングプレフィックスの集合で、公式に登録された自律システム番号 (ASN) を持つことによって、明確に定義された共通のボーダーゲートウェイプロトコル (BGP) ルーティングポリシーをインターネットに提示します。

## 重

### 重要なインシデント

次の両方を満たすインシデント: (1) 重要度が正常域以外。 (2) 相関特性が根本原因、サービスインパクト、ストリームの相関処理、レートストリームの相関処理、情報または「なし」。

## 複

### 複数接続

複数接続は、マップビューにある2つの [ノード] アイコン、2つの [ノードグループ] アイコン、または [ノード] アイコンと [ノードグ

# お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チームまでご連絡](#)ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

**フィードバック: オンラインヘルプ: コンソールの使用 (Network Node Manager iソフトウェア 10.00)**

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、Ovdoc-nsm@hp.com 宛にお送りください。